

目 次

I 座間市の概要

沿革	1～4
位置・地勢	5
市章・シンボル(花木、マーク、鳥、カラー)・国際姉妹都市・友好交流都市	6
人口・世帯・児童生徒数の推移・学校別児童生徒数の推移	7

II 座間市教育大綱

8～14

III 教育委員会

教育委員	15
歴代教育委員	16～19
沿革	20～24
教育委員会事務局機構と事務分掌	25～28
教育費	29～30

IV 学校教育

豊かな心を育むひまわりプラン	31～36
地域連携による学校づくり	36
児童生徒に適した指導・支援	36
情報化・国際化教育の推進	37
学校教育の目標	37
指導係主要事業計画	38～45
市立学校一覧	46～47
学校施設	48～52
市立小・中学校の沿革	53～87
中学校卒業者の進路状況	88
特別支援教育	89～92
国際教室	92～93
学校保健	
児童・生徒の発育状況	94～95
学校給食	
沿革・目標・運営・内容	96～99

V 教育研究所事業概要

設置目的・運営方針・機構・事業内容	100～103
-------------------	---------

VI 生涯学習

生涯学習施設・設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104～108

VII 令和元年度 事業計画

令和元年度生涯学習関係主要施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109～112

生涯学習プランと各課事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113～114

生涯学習事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115～116

文化事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117

市史・文化財事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118

座間市公民館事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119～120

北地区文化センター事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121～122

東地区文化センター事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123～124

青少年健全育成事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125～126

スポーツ・レクリエーション事業計画・・・・・・・・・・ 127～128

図書館事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129～131

VIII 平成30年度 事業実績

生涯学習課

社会教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132～134

成人・家庭教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135～147

小学校学習施設開放事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148

ざま生涯学習宅配便（出前講座）事業・・・・・・・・・・ 148

人権教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 149

学習情報提供刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 149

座間市民活動サポートセンターとの連携・・・・・・・・・・ 150

文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151～160

文化財保護委員会・文化財調査員の活動状況・・・・・・・・ 161

文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161～170

市史編さん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 171

座間市立公民館運営審議会の活動状況・・・・・・・・・・ 172

座間市公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 173～189

北地区文化センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190～207

東地区文化センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 208～230

青少年課

青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 231～241

青少年センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 242～250

青少年相談室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 251～259

スポーツ課

社会体育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 260～263

社会体育関係団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 264

社会体育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 264

市立スポーツ施設開放・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 265～267

学校体育施設開放	268
図書館	
図書館事業	269～275
視聴覚ライブラリー	275

IX 参考資料

生涯学習関係委員名簿	276～280
------------	---------

I 座間市の概要

1 沿革

奈良時代	続日本書紀宝亀2年の頃に旧東海道の「相模国夷参駅」として記載。
平安時代	倭名抄高座郡郷名の中に伊参郷として記載。星谷観音堂を創建。
鎌倉時代	渋谷庄座間郷と称せられ渋谷内膳重国が所領。星谷寺梵鐘佐々木信綱より寄進。
室町時代	応永3年足利氏満寄進状に「座間郷」として記載。 上杉定正座間郷が所領。
戦国時代	天文年間北条高家が所領。
安土・桃山時代	北条氏照星谷寺観音堂造作料を寄進。天正年間徳川領。
江戸時代	幕府の天領（旗本支配地）。元和3年家康の柩を日光に移す行列が宗仲寺に休息。 万治年間座間村が座間宿村と座間入谷村に分離。 宝永4年富士山が大噴火。寛延2年星谷寺観音堂が現在地に移転。 天保12年頃勝田帯刀、大久保教文（座間宿村）、酒井弥間（入谷村）、太田資統、山田立長、増田寿春（栗原村）、岡部長玄（新田宿村）、戸田靱負、森川鎌三郎、高木富太郎（四ツ谷村）がそれぞれ所領。芝原の開拓開始。
	戸数 座間宿村 175 座間入谷村 159 栗原村 170 新田宿村 73 四ツ谷村 40 計 617
	文久2年栗原に郷学校「誠志館」が大矢弥市、大矢弥七兄弟によって設立される。
明治6年	高座郡が第20大区に管轄。学制発布により、入谷村竜源院に風牛学舎、栗原村に協同学舎が発足。
明治10年	人口3,786人（1月1日現在）
明治22年	町村制実施により、新戸村（現相模原市）の飛地と五か村を合併して「座間村」が発足。
明治28年	日新、真誠、湘川の三学校を統合して尋常高等座間小学校を開設（6月）。
明治33年	鈴木利貞が「幼年会」組織。
明治34年	新田宿が大火。
大正12年	関東大震災が発生。（市域のほとんどの家屋が損傷、道路、庭等の地割れ甚だし） （9月）
大正15年	神中線（現相模鉄道）、相模鉄道（現JR相模線）が一部開通。
昭和2年	小田急小田原線が全線開通（4月）。
昭和6年	相模鉄道（現JR相模線）が全線開通。
昭和12年	陸軍士官学校市ヶ谷より移設（9月）。座間村が座間町に町制施行（12月）。
昭和16年	座間・上溝の二町、相原・麻溝・新磯・大沢・大野・田名の六ヶ村が合併して相模原町として町制施行。
昭和20年	終戦により陸軍士官学校が閉鎖され、引き続き駐留軍が使用し、現在、在日米陸軍司令部が設置（9月）。
昭和22年	新制座間中学校が開校（5月）。
昭和23年	相模原町から分町し、座間町が発足。人口12,032人（9月）。
昭和25年	座間第二小学校（現栗原小学校）が開校（5月）。
昭和27年	市章を一般公募し、町議会全員協議会で決定（8月）。
昭和29年	座間町公民館が開館（11月）。

- 昭和30年 町営水道給水を開始（1月）。
- 昭和37年 座間第三小学校（現相模野小学校）が開校（4月）。立野台プールが開設（8月）。
- 昭和39年 座間公園プールが開設（7月）。
- 昭和41年 座間町青少年問題協議会が発足（4月）。
- 昭和42年 西中学校が開校（4月）。広野プールが開設（7月）。
- 昭和43年 座間町文化福社会館が開館。
- 昭和44年 町の花「ひまわり」と決定（1月）。東原プールが開設（8月）。
町の人口5万人を突破（9月）。
- 昭和45年 「梨の木坂古墳」を発掘（1月）。相武台東小学校が開校（4月）。
- 昭和46年 ひばりが丘小学校が開校（4月）。
市制を施行し座間市誕生（11月）。人口62,740人。
- 昭和47年 東中学校が開校（4月）。県立座間高校が開校（4月）。
- 昭和48年 公共下水道事業を開始（3月）。東原小学校が開校（4月）。
- 昭和49年 県道相武台入谷バイパスが全線開通・市民福祉憲章を制定（9月）。
- 昭和50年 県立座間青少年会館が開館（1月）。鳩川プールが開設（8月）。
- 昭和51年 相模が丘小学校が開校（4月）。歴史民族資料館が開館（5月）。
相武台プール・ひばりが丘プールが開設（8月）。座間警察署が開署（11月）。
- 昭和52年 富士山公園に子どもの森が開設（3月）。立野台小学校・栗原中学校が開校（4月）。
北地区文化センターが開館（4月）。
- 昭和53年 入谷小学校が開校（4月）。市立図書館が開館（6月）。
- 昭和54年 総合通園センターサンホープが開園（1月）。相模中学校が開校（4月）。
栗原プールが開設（7月）。国際児童年記念タイムカプセル埋設（11月）。
- 昭和55年 旭小学校が開校（4月）。市の木モクセイと決定・新田宿グラウンドが開設（4月）。
国勢調査実施（人口93,503人）（10月）。
市民球場が相模が丘に開設（11月）。
- 昭和56年 東地区文化センターが開館（4月）。県立栗原高校が開校（4月）。
市民憲章を制定・市制施行10周年記念式典を実施（10月）。
- 昭和57年 相模が丘プールが開設（7月）。
- 昭和58年 心身障害者訓練施設「もくせい園」が開設（4月）。図書館新館が開館（4月）。
入谷プールが開設（4月）。
- 昭和59年 中原小学校が開校（4月）。第1回座間市民健康マラソンを開催（11月）。
- 昭和60年 旭プールが開設（3月）。相模川グラウンドが開設（4月）。
国勢調査実施（人口100,000人）（10月）。
- 昭和61年 南中学校が開校（4月）。かみが沢公園開園（4月）。市制15周年（11月）。
第1回市民ふるさとまつりを開催（11月）。
- 昭和62年 核づくり事業がスタート（1月）。県立ひばりが丘高校が開校（4月）。
市内初ドーム付全天候型プールとして中原プールが開設（4月）。
特別養護老人ホーム「栗原ホーム」が開所（5月）。
- 昭和63年 東原さくら公園が開園（4月）。中学校にパソコン教室を設置（6月）。
市民球場に夜間照明を設置（8月）。
原水爆禁止協議会が平和祈念のモニュメントを設置（9月）。

- 平成元年 「生きがいセンター」がオープン（4月）。芹沢公園が開園（4月）。
栗原中学校校庭に夜間照明を設置（11月）。
- 平成2年 立野台コミュニティセンターが開館（4月）。
東中学校校庭に夜間照明を設置（10月）。
- 平成3年 第三次座間市総合計画がスタート（4月）。清川自然の村がオープン（8月）。
アメリカ合衆国テネシー州スマーナ市と姉妹都市を提携（11月）。
- 平成4年 小学校で生涯学習施設として教室を開放（4月）。
小松原コミュニティセンターが開館（4月）。学校週五日制月1回スタート（9月）。
- 平成5年 東原コミュニティセンターが開館（9月）。
- 平成6年 学校週五日制月2回実施を開始（4月）。市民体育館が竣工（10月）。
- 平成7年 学習検査から学習状況調査の改変実施（3月）。市庁舎・市民文化会館竣工（8月）。
- 平成8年 市民健康センターが竣工（8月）。相模が丘コミュニティセンター開館（11月）。
- 平成9年 青少年センターが開館（県立座間青少年会館が県より市に移譲）（4月）。
相武台コミュニティセンターが開館（10月）。
- 平成10年 第53回国民体育大会かながわゆめ国体秋期大会（バレーボール青年男女2部9人制）開催（10月）。
- 平成11年 座間中学校新体育館が竣工（3月）。
特別養護老人ホーム「ベルホーム」が開所（5月）。
県道藤沢・座間・厚木線「栗原巡礼大橋」が開通（8月）。
- 平成12年 「座間市情報公開条例」、「座間市個人情報保護条例」が施行（2月）。
- 平成13年 戸籍事務にコンピュータ導入（2月）。
市制施行30周年記念事業「春巡業大相撲座間場所」を開催（4月）。
総合福祉センター（サニープレイス座間）がオープン（4月）。
市制施行30周年記念事業「ざま子ども市議会21」を開催（8月）。
市制施行30周年記念式典を開催、市民の歌「WE LOVE ZAMA!」が誕生（10月）。
ISO14001（環境マネジメントシステム）の認証取得（11月）。
- 平成14年 座間市総合防災情報システムを導入（1月）。
座間市行政評価システムを導入（4月）。
「住民基本台帳ネットワークシステム」がスタート（8月）。
ファミリーサポート事業を開始（10月）。
「ざま生涯学習宅配便」がスタート（11月）。
- 平成15年 座間市地下水保全基本計画を策定（4月）。
県道藤沢・座間・厚木線座間跨線橋が開通（6月）。
谷戸山公園パークセンターが開設（6月）。図書館蔵書検索システム導入（7月）。
ひばりが丘コミュニティセンターが開館（11月）。
- 平成16年 リサイクルプラザ（東原）がオープン（6月）。
ISO14001（環境マネジメントシステム）認証を更新、公的機関にも拡大
摘要（11月）。市水道事業50周年記念式典を実施（11月）。
コミュニティバス運行を開始（11月）。
- 平成17年 生涯学習活動サポートセンターがオープン（10月）。
座間市子ども読書活動推進計画を策定（11月）。

- 平成 18 年 土曜開庁実施（4月）。「ざま生涯学習宅配便」新メニュー集を刊行（7月）。
- 平成 19 年 座間市協働まちづくり条例を制定（3月）。
全国学力・学習状況調査を実施（4月）。座間市障害福祉計画を策定（4月）。
座間市緊急情報メール配信サービスを開始（9月）。
座間市民オペラ「けやき姫」を上演（11月）。座間市観光協会を設立（11月）。
- 平成 20 年 後期高齢者医療制度スタート（4月）。座間市景観条例を制定（4月）。
市民生活サポートセンターを開設（9月）。
- 平成 21 年 栗原コミュニティセンターが開館（12月）。
- 平成 22 年 座間中学校新1号棟改築工事完了（3月）。子育て情報誌「ざまっぷ」発行（8月）。
神奈川県・座間市合同総合防災訓練実施（8月）。
- 平成 23 年 住民票の写し・印鑑登録証明書のコンビニ交付サービス開始（3月）。
第四次座間市総合計画がスタート（4月）。
市制施行40周年記念式典を開催（11月）。
座間市マスコットキャラクター「ざまりん」誕生（11月）。
- 平成 24 年 市こころの相談支援センター「noued(ヌー)」を新設（4月）。
こころの体温計（メンタルヘルスチェックシステム）のサービス開始（6月）。
座間市原水爆禁止協議会設立55周年・座間市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念事業を開催（8月）。
市民健康センター休日急患センターにて庵政三胸像除幕式実施（8月）。
市総合防災訓練における在日米陸軍との連携訓練の実施（9月）。
市消防と陸上自衛隊が合同野営施設訓練を実施（11月）。
- 平成 25 年 座間市いっせい防災行動訓練「ShakeOut 2013 in ZAMA」実施（1月）。
福島県須賀川市と友好交流都市協定を締結（11月）。
- 平成 26 年 本市初の市民栄誉賞をボクシングWBC世界ライトフライ級王座、井上尚弥氏に授与（5月）。座間総合病院着工（11月）。
市消防団第3分団が第24回全国消防操法大会準優勝（11月）。
- 平成 27 年 秋田県大仙市と友好交流都市協定締結（3月）。
ご当地ナンバープレート交付開始（4月）。
「チャレンジデーZAMA2015」開催（5月）。
子育て支援センター「ざまりんのおうち かがやき」開所（6月）。
第20回国勢調査を実施（10月）。
- 平成 28 年 座間総合病院開院（4月）。中原児童ホーム開設（4月）。
- 平成 30 年 座間市新消防庁舎落成（2月）。上下水道局庁舎開庁（4月）。
「ネウボラざまりん」開所（8月）。
芹沢公園に台湾少年工顕彰碑を建立（10月）。
鳩川プール廃止（3月）
- 平成 31 年 「高座クリーンセンター」開設（4月）。
子育て支援センター「ざまりんのおうち ひまわり」移転（4月）。

2 位置・地勢

座間市は、東京から南西へ約40キロメートル、横浜から西へ約20キロメートルで、神奈川県のおぼ中央に位置しています。

市の面積は17.57平方キロメートルで、東西に約5.3キロメートル、南北に約4.0キロメートルの広がりを持ち、中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として東部が相模野台地、西部が相模川沖積低地と大きく地形が分かれ、中央部を目久尻川、西部を相模川が流れており、起伏に富んだ地形を構成しており、このため坂や段丘が多く、地域ごとに特色のある街なみが広がっています。

【面積および広がり】

面積 (K m ²)	広がり (km)		海 抜 (m)		
	東 西	南 北	市役所	最 高	最 低
17.57	5.3	4.0	78.5	88.74	24.29



【位 置】

地 名	東 経	北 緯
市役所 (緑ヶ丘一丁目1番1号)	139° 24' 38"	35° 29' 07"

3 市章・シンボル・国際姉妹都市・友好交流都市



市章（制定 昭和27年8月13日）

座間市の「ザマ」を図案化したもので、円形は市の融和と団結を表し、翼は市政の飛躍、発展を象徴したものです。



市の花 ひまわり（制定 昭和44年1月16日）

ひまわりの枝葉の深緑は、たくましく発展を続ける市を、また大輪の花は、市民みんなが手を結び合い、明るく健康なまちづくりを目指す姿を象徴しています。



市の木 もくせい（制定 昭和55年4月1日）

みんなで樹木を守り育て、緑があふれた街づくりをさらに進めようと、市民のみなさんが選んだ木です。



市のシンボルマーク（制定 平成3年4月1日）

座間の頭文字「Z」をモチーフに中央に市内を流れる三つの川（相模川・鳩川・目久尻川）を太陽と豊かな自然を楕円で表し、21世紀に向けたまちづくりのシンボルとして制定したものです。



市の鳥 シジュウカラ（制定 平成3年4月1日）

みんなで自然を大切に、鳥獣保護思想の普及・啓発に、自然保護のシンボルとして市民のみなさんが選んだものです。

市のカラー みどり（ビビットグリーン）

（制定 平成3年4月1日）

生き生きとした緑は、心にやすらぎと希望を与えてくれることから、郷土座間市を象徴する色として、市民のみなさんが選んだものです。

姉妹都市

アメリカ合衆国テネシー州スマーナ市

（平成3年11月1日提携調印）

友好交流都市

福島県須賀川市

（平成25年11月10日締結）

秋田県大仙市

（平成27年3月21日締結）

4 人口、世帯、児童生徒数の推移

(各年5月1日現在)

年次	人口	世帯数	児童数	生徒数	児童生徒数合計
H 12	125,892	49,306	7,294	3,270	10,564
H 13	125,586	49,707	7,270	3,268	10,538
H 14	126,784	51,105	7,322	3,331	10,653
H 15	128,427	52,435	7,375	3,317	10,692
H 16	129,245	53,316	7,471	3,316	10,787
H 17	129,025	53,662	7,378	3,301	10,679
H 18	127,886	51,934	7,298	3,371	10,669
H 19	127,617	52,138	7,218	3,386	10,604
H 20	127,704	52,576	7,016	3,437	10,453
H 21	128,550	53,346	6,890	3,384	10,274
H 22	129,208	54,070	6,716	3,413	10,129
H 23	129,219	54,315	6,577	3,365	9,942
H 24	129,483	54,841	6,440	3,409	9,849
H 25	129,844	54,444	6,373	3,335	9,708
H 26	129,066	55,515	6,376	3,207	9,583
H 27	128,892	55,910	6,386	3,099	9,485
H 28	128,781	56,311	6,330	3,057	9,387
H 29	129,354	57,134	6,365	3,072	9,437
H 30	129,430	57,770	6,323	3,040	9,363
R 1	130,263	58,951	6,285	3,033	9,318

学校別児童生徒数の推移

(各年5月1日現在)

校名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1
座間小	782	770	757	742	734	725	726	720	754	758	752
栗原小	567	556	528	521	551	564	594	603	635	654	661
相野小	777	768	752	737	704	660	657	634	618	578	551
相東小	701	694	665	648	652	634	643	635	619	602	615
ひばり小	631	613	604	574	538	498	462	423	405	374	373
東原小	617	598	589	577	597	595	593	605	606	613	585
相丘小	627	584	568	548	523	567	564	557	560	569	593
立台小	600	602	630	618	620	665	682	702	718	750	725
入谷小	482	473	479	470	489	500	492	496	505	501	475
旭小	581	558	526	539	528	519	520	514	517	486	504
中原小	525	500	479	466	437	449	453	441	428	438	451
小計	6,890	6,716	6,577	6,440	6,373	6,376	6,386	6,330	6,365	6,323	6,285
座間中	462	472	480	513	518	484	461	456	468	502	523
西中	583	599	615	598	568	529	537	549	579	570	569
東中	692	709	674	693	686	697	666	656	625	611	586
栗原中	609	575	556	540	514	482	467	453	469	447	431
相模中	667	677	658	673	668	634	602	583	589	568	560
南中	371	381	382	392	381	381	366	360	342	342	364
小計	3,384	3,413	3,365	3,409	3,335	3,207	3,099	3,057	3,072	3,040	3,033
合計	10,274	10,129	9,942	9,849	9,708	9,583	9,485	9,387	9,437	9,363	9,318

Ⅱ 座間市教育大綱

1. はじめに

最近では情報化やグローバル化が進展するとともに、人口減少・少子高齢化・地域コミュニティの希薄化などによって、子どもから高齢者までのライフスタイルが刻々と変化していく中、新たな視点、柔軟な発想、変化への対応力をもったまちづくりが求められています。

このような時代にあって、本市は「第四次座間市総合計画（以下「総合計画」という。）」の実現に、8年間、取り組んできました。この構想で掲げる将来のまちの姿、「ともに織りなす 活力と個性 きらめくまち」を目指し、本市では、学校、家庭、地域、行政が一体となって連携・協働を図りながら、新しい時代に対応した教育施策の推進に努めています。

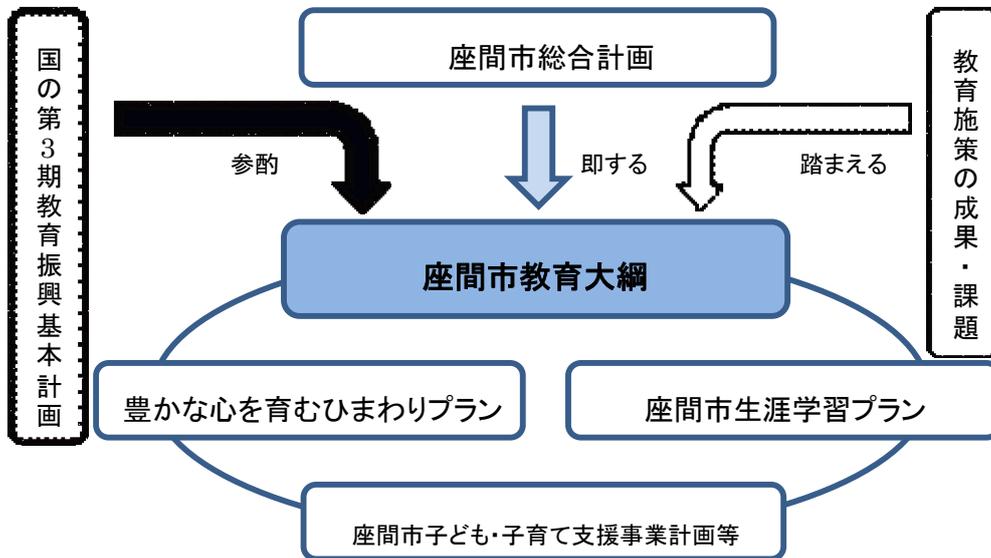
平成27年度の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることになり、本市では「座間市総合教育会議」において協議、調整し「座間市教育大綱（以下「大綱」という。）」を策定しました。

今回、平成27年度に策定した大綱の計画期間が終了することから、新たな視点や課題などへ対応すべく平成31年度～平成34年度を計画期間とした、第2期の大綱を策定するものです。

2. 大綱の位置付け

この大綱は、本市の教育行政を推進するための基本指針となるもので、本市の最上位計画である総合計画の基本構想に定める将来目標の達成に向け、教育分野の基本理念、基本目標及び今後取り組むべき施策の方向を示すものです。

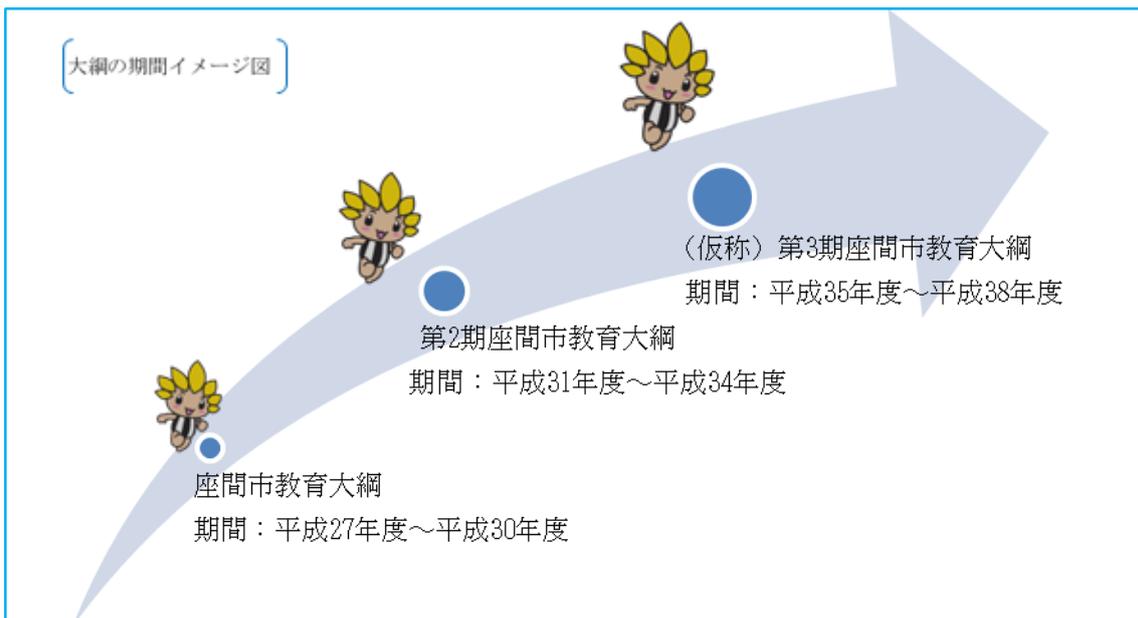
〔大綱の位置付けイメージ図〕



3. 大綱の期間

第2期の大綱の期間は、平成31（2019）年度から平成34（2022）年度までの4年間とします。ただし、今後の社会情勢等の変化を踏まえて、必要に応じて見直しを行います。

〔大綱の期間イメージ図〕



4. 基本理念

座間市で育ち座間市を愛する人づくり

- 本市では、安全で安心できる居住環境の中で市民が集い、憩うことのできるまちづくりを進めています。
その「まちづくり」には「人づくり」が欠かせないことから、学校、家庭、地域での生涯にわたる教育が果たす役割は極めて大きいものがあります。
- 本市には、東部に相模原台地、西部に相模川の沖積低地が広がり、さらに、中央に目久尻川が流れ、坂や段丘が多く、地域ごとに特色のある景観や長年にわたって培われてきた伝統文化があります。
その中で、地域ごとに、子どもから大人までみんなが協力しあって子どもを育てる習慣があります。
- このような特性を生かし、学校教育や生涯学習において「豊かな心」と「生きる力」を育み、大きく変化しつつある社会に対応できる「人づくり」を、市全体で連携して進めていくことが必要です。
- 座間市で学び育つ「ざまっ子」が、ふるさと座間に愛と誇りをもち、心身ともに自立した大人に成長し、国や社会の発展に尽くすことができる「人づくり」を目指していきます。
- そして、様々な災害に対応可能な危機管理体制を高めることにより、市民（住民、団体、企業など）が、生涯にわたって座間市に住み続けたいと思う安全・安心なまちづくりを目指していきます。

5. 基本目標

基本理念を実現するため、二つの基本目標を掲げて教育と文化の振興を図ります。

(1) 未来を拓くざまっ子づくり

- 学校、家庭、地域、行政など、社会全体が連携して、豊かな心、確かな学力、健やかな体を育み、座間の子どもたち（ざまっ子）一人ひとりが個性を生かして自己実現を達成できるような「人づくり」に努めます。
- これからの情報化・グローバル化社会に対応し、学校における情報教育、外国語教育、国際理解教育を充実し、グローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力を高めます。
- ざまっ子を育てる学校においては特に安全・防災教育の充実を図り、行政においても市民の生涯にわたる危機管理及び緊急時の対応力を高めます。

(2) 生涯にわたり健やかで活気あふれる人づくり

- 市は、市民一人ひとりが、生涯にわたって健康で豊かな生活が送れるよう、学習、スポーツ、読書及び芸術鑑賞の機会と場を提供し、同時に、その経験を生かした文化を創造・発信する環境を整えます。
- 子育て家庭のニーズに応じた幼児期の教育・保育環境の充実を図るとともに、放課後児童対策の充実などにより、子育てを社会全体で支える取組を進めます。

6. 施策の方向

市は、基本目標を達成するため、保育・幼稚園から小・中・高等学校あるいは大学を経て社会で暮らしていく各ライフステージに応じた「縦の糸」と、学校、家庭、地域、行政など、市全体で取り組む「横の糸」との連携に留意しつつ、特に九つの施策を推進します。

(1) 思いやりと規範意識を育む豊かな心の育成

- 学校では、家庭や地域と連携した道徳教育、読書活動、郷土学習などをおして、発達段階に応じたルールや正義を尊ぶ心、郷土を愛し国や社会に尽くそうとする心を育みます。
- 相手を思いやる心、平和を愛する心、人の役に立つ奉仕の心、「いのち」を大切に作る心など、豊かな心を育成します。
- 個々の子どもの実態に応じた丁寧な指導を行うとともに、いじめや不登校などの教育課題の改善に努めます。

(2) 書く力の向上を中心とする確かな学力の育成

- 学校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、指導方法の工夫や内容の改善に取り組み、わかる授業の充実を推進し、同時に主体的に学ぶ態度を育て、学習の基礎・基本を定着させます。
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な、柔軟性のある思考力、的確な判断力、豊かな表現力を育てます。
- 特に、社会生活に必要な、論理的に正しく、明解で、説得力のある文章を書く力の向上に努めます。

(3) 健やかな体の育成

- 学校では、安全・防災教育、健康教育、及び食育を推進します。
- 中学校部活動を奨励するとともに、適切な管理を行い、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣や態度の向上を図ります。

(4) 情報化・グローバル化社会に対応できる資質・能力の育成

- 学校では、情報教育をととして子どもたちの情報活用能力の育成を図るとともに、情報モラル教育を推進し、情報化社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度が身につくように努めます。
- 外国語教育や国際理解教育をととして外国の言語や文化に触れるとともに、姉妹都市交流などの機会を活用して外国語によるコミュニケーション力やグローバルな視野を身につけ、世界で活躍できる人を育てます。

(5) 体験をととして生き方を学ぶ教育の推進

- 学校では、小・中学校をととして、生き方を学ぶキャリア教育を推進し、進路指導の充実を図ります。
- 保護者や企業などと連携し、発達段階に応じた体験学習に取り組み、変化の激しい社会で適性を生かして職業を選択できるよう実効性のあるキャリア教育の推進に努めます。

(6) 地域とともに取り組む教育活動の推進

- 学校では、先人の知恵や体験の伝承、地域社会活動への子どもの参加、開かれた学校づくりなど、地域とともに取り組む教育活動の推進に努めます。
- 学校運営の安全・安心を確保するため、迅速かつ適切な対応が取れるよう危機管理能力を向上させ、日頃から情報提供などによる家庭や地域との連携に努めます。

(7) 生活を彩る生涯学習・スポーツ・文化の振興

- 市は、子どもから高齢者までの自主的・自発的な生涯学習活動を支援するため、学習、スポーツ、読書、芸術などの活動に参加できる機会と場の確保を図ります。
- 独創性のある新たな文化の創造・発信に努め、市公民館、各地区文化センター、図書館における地域のコミュニティ形成やまちづくり活動に生かす取組を促進します。

(8) すべての人が楽しく子育てできる環境の整備

- 市は、幼稚園や保育園などの環境整備、相談体制の充実、地域による子育て支援、放課後児童対策などを一体的に行い、すべての人が安心して子育てのできる環境を整備します。

(9) 教育の出発点である家庭教育への支援

- 「生きる力」の基礎的な資質や能力は、多くの場合、家庭を基盤として、親子の絆が形成され、家庭が触れ合うことにより育まれます。
市は、家庭教育がすべての教育の出発点であると認識し、学校や地域と連携しながら、家庭の教育力の充実に必要な取組について支援します。

Ⅲ 教育委員会

1. 教育委員

(令和元年5月現在)

職名	氏名	住所
教育長	木島 弘	座間市入谷1丁目
教育長職務代理者	馬場 悠男	座間市入谷東四丁目
委員	鈴木 義範	座間市座間2丁目
委員	小井田 由美子	厚木市下荻野
委員	天野 久美	座間市小松原一丁目

2. 歴代教育委員

昭和	委員長	副委員長	委員	委員	委員	教育長
27/11	平野 諒栄	中田 邦三	中戸川 操	本多 愛男	小泉 繁	小泉 豊治
28/ 3	平野 諒栄	中田 邦三	石井 昌国	本多 愛男	小泉 繁	小泉 豊治
28/ 4	平野 諒栄	中田 邦三	石井 昌国	本多 愛男	小泉 繁	大矢 喜三郎
28/11	中田 邦三	小泉 繁	平野 諒栄	石井 昌国	石井 昌国	大矢 喜三郎
29/11	小泉 繁	本多 愛男	平野 諒栄	石井 昌国	中田 邦三	大矢 喜三郎
30/ 4	平野 諒栄	本多 愛男	石井 昌国	中田 邦三	小泉 繁	大矢 喜三郎

* 昭和31年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行により、委員1名減となる。

昭和	委員長	委員長職務代理	委員	委員	委員	教育長
31/10	稲垣 光晴	本多 愛男	山本 亀三	波多野 修		大矢 雄次
32/10	稲垣 光晴	山本 亀三	斉藤 隆寿	波多野 修		大矢 雄次
33/10	稲垣 光晴	山本 亀三	斉藤 隆寿	本多 愛男		大矢 雄次
33/11	山本 亀三	稲垣 光晴	斉藤 隆寿	本多 愛男		大矢 雄次
35/ 9	斉藤 隆寿	稲垣 光晴	山本 亀三	本多 愛男		大矢 雄次
35/10	斉藤 隆寿	本多 愛男	鈴木 英夫	大矢 雄次		
35/11	斉藤 隆寿	本多 愛男	鈴木 英夫	大矢 雄次		小泉 豊治
36/ 9	本多 愛男	大矢 雄次	鈴木 英夫	斉藤 隆寿		小泉 豊治
36/10	本多 愛男	大矢 雄次	鈴木 英夫	平野 仁司		小泉 豊治
37/10	大矢 雄次	本多 愛男	鈴木 英夫	平野 仁司		小泉 豊治
38/10	鈴木 英夫	本多 愛男	平野 仁司	大矢 雄次		小泉 豊治
39/ 8	鈴木 英夫	平野 仁司	長谷川 泰雄	大矢 雄次		小泉 豊治
40/10	鈴木 英夫	大矢 雄次	平野 仁司	長谷川 泰雄		小泉 豊治
42/ 3	鈴木 英夫	長谷川 泰雄	平野 仁司			小泉 豊治
42/ 5	鈴木 英夫	長谷川 泰雄	平野 仁司	大木 進		小泉 豊治
43/10		長谷川 泰雄	平野 仁司	大木 進		小泉 豊治
43/11		大木 進	青木 久二	平野 仁司	馬場 菊江	長谷川 泰雄
43/11	大木 進	平野 仁司	青木 久二	馬場 菊江		長谷川 泰雄
44/11	大木 進	若林 則	青木 久二	馬場 菊江		長谷川 泰雄
46/10	若林 則	大木 進	青木 久二	馬場 菊江		長谷川 泰雄

昭 和	委 員 長	委員長職務代理	委 員	委 員	委 員	教 育 長
47/ 8	若 林 則		青 木 久 二	馬 場 菊 江		長 谷 川 泰 雄
47/10	若 林 則		青 木 久 二	馬 場 菊 江	大 澤 清	長 谷 川 泰 雄
47/11	若 林 則		山 本 次 郎	馬 場 菊 江	大 澤 清	長 谷 川 泰 雄
47/11	若 林 則	大 澤 清	山 本 次 郎	遠 藤 仙 三		長 谷 川 泰 雄
49/11	若 林 則	大 澤 清	山 本 次 郎	遠 藤 仙 三	加 藤 武 勇	
49/12	若 林 則	大 澤 清	山 本 次 郎	遠 藤 仙 三		加 藤 武 勇
50/10	若 林 則	遠 藤 仙 三	山 本 次 郎	大 澤 清		加 藤 武 勇
51/ 7	若 林 則	遠 藤 仙 三	山 本 次 郎	大 澤 清		
51/10	若 林 則	遠 藤 仙 三	山 本 次 郎	大 澤 清		曾 根 幸 雄
51/11	若 林 則	遠 藤 仙 三	井 上 治 夫	大 澤 清		曾 根 幸 雄
53/11	大 澤 清	遠 藤 仙 三	井 上 治 夫	若 林 則		曾 根 幸 雄
54/11	遠 藤 仙 三	井 上 治 夫	若 林 則	大 澤 清		曾 根 幸 雄
54/12	遠 藤 仙 三	井 上 治 夫	若 林 則	大 矢 妙 子		曾 根 幸 雄
55/ 7	遠 藤 仙 三	井 上 治 夫	若 林 則	大 矢 妙 子		
55/ 8	遠 藤 仙 三	井 上 治 夫	若 林 則	大 矢 妙 子		野 島 正
55/11	若 林 則	大 矢 妙 子	井 上 治 夫	遠 藤 仙 三		野 島 正
55/11	若 林 則	大 矢 妙 子	井 上 治 夫	武 田 幸 造		野 島 正
56/ 7	若 林 則	大 矢 妙 子	井 上 治 夫	草 薙 雄 一		野 島 正
56/11	井 上 治 夫	草 薙 雄 一	矢 作 庄 次 郎	大 矢 妙 子		野 島 正
58/ 7	井 上 治 夫	草 薙 雄 一	矢 作 庄 次 郎			野 島 正
59/ 4	井 上 治 夫	草 薙 雄 一	矢 作 庄 次 郎	石 川 重 利		野 島 正
59/ 8	井 上 治 夫	草 薙 雄 一	矢 作 庄 次 郎	石 川 重 利		
59/ 9	井 上 治 夫	草 薙 雄 一	矢 作 庄 次 郎	石 川 重 利		井 上 忍
59/11	草 薙 雄 一	矢 作 庄 次 郎	金 子 恵 子	石 川 重 利		井 上 忍
61/11	石 川 重 利	矢 作 庄 次 郎	金 子 恵 子	草 薙 雄 一		井 上 忍
61/12	石 川 重 利	矢 作 庄 次 郎	金 子 恵 子	草 薙 雄 一		小 坂 昭 三
63/ 4	矢 作 庄 次 郎	金 子 恵 子	草 薙 雄 一	石 川 重 利		小 坂 昭 三
63/11	矢 作 庄 次 郎	金 子 恵 子	大 川 英 夫	石 川 重 利		小 坂 昭 三
元/11		金 子 恵 子	矢 作 庄 次 郎	大 川 英 夫	石 川 重 利	小 坂 昭 三
元/12	石 川 重 利	金 子 恵 子	矢 作 庄 次 郎	大 川 英 夫		小 坂 昭 三
2/12	金 子 恵 子	矢 作 庄 次 郎	大 川 英 夫	石 川 重 利		佐 野 淳 一
4/ 4	金 子 恵 子	矢 作 庄 次 郎	大 川 英 夫	菊 田 哲 夫		佐 野 淳 一

平成	委員長	委員長職務代理	委員	委員	委員	教育長
4/11	矢作 庄次郎	大川 英夫	金子 恵子	菊田 哲夫		佐野 淳一
5/11	大川 英夫	菊田 哲夫	金子 恵子	村川 俊彦		佐野 淳一
6/11	菊田 哲夫	金子 恵子	村川 俊彦	大川 英夫		佐野 淳一
7/11	金子 恵子	村川 俊彦	大川 英夫	菊田 哲夫		佐野 淳一
8/ 8	金子 恵子	村川 俊彦	菊田 哲夫			佐野 淳一
8/11	菊田 哲夫	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子		佐野 淳一
9/ 4	菊田 哲夫	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子		金子 功雄
9/11	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子	菊田 哲夫		金子 功雄
10/11	酒井 繁	佐藤 節子	村川 俊彦	菊田 哲夫		金子 功雄
11/11	佐藤 節子	菊田 哲夫	酒井 繁	村川 俊彦		金子 功雄
12/ 4	佐藤 節子	村川 俊彦	酒井 繁	大塚 知子		金子 功雄
12/11	村川 俊彦	酒井 繁	佐藤 節子	大塚 知子		金子 功雄
13/11	酒井 繁	大塚 知子	片野 一二	佐藤 節子		金子 功雄
14/11	大塚 知子	佐藤 節子	酒井 繁	片野 一二		金子 功雄
15/11	佐藤 節子	片野 一二	酒井 繁	大塚 知子		金子 功雄
16/11	片野 一二	大塚 知子	馬場 悠男	伊藤 恵		金子 功雄
17/11	大塚 知子	片野 一二	馬場 悠男	伊藤 恵		金子 功雄
18/11	片野 一二	伊藤 恵	大塚 知子	馬場 悠男		金子 功雄
18/12	片野 一二	伊藤 恵	大塚 知子	馬場 悠男		金子 槇之輔
19/11	伊藤 恵	片野 一二	大塚 知子	馬場 悠男		金子 槇之輔
20/ 4	伊藤 恵	片野 一二	馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
20/11	片野 一二	馬場 悠男	伊藤 恵	小野田 順子		金子 槇之輔
21/11	馬場 悠男	小野田 順子	片野 一二	伊藤 恵		金子 槇之輔
22/11	小野田 順子	伊藤 恵	馬場 悠男	片野 一二		金子 槇之輔
23/11	伊藤 恵	片野 一二	馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
23/12	伊藤 恵		馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
23/ 1	伊藤 恵	馬場 悠男	小野田 順子			金子 槇之輔
24/ 4	伊藤 恵	馬場 悠男	小野田 順子	滝 久美子		金子 槇之輔
24/11	馬場 悠男	小野田 順子	滝 久美子	鈴木 義範		金子 槇之輔
25/11	小野田 順子	鈴木 義範	馬場 悠男	滝 久美子		金子 槇之輔
26/11	鈴木 義範	滝 久美子	馬場 悠男	小野田 順子		金子 槇之輔
27/11	滝 久美子	馬場 悠男	小野田 順子	鈴木 義範		金子 槇之輔

平成	委員長	委員長職務代理	委員	委員	委員	教育長
28/4	滝久美子	馬場悠男	鈴木義範	小井田由美子		金子槇之輔
29/4	馬場悠男	小井田由美子	滝久美子	鈴木義範		金子槇之輔
29/11	小井田由美子	鈴木義範	天野久美	馬場悠男		金子槇之輔

* 平成27年4月施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、平成30年10月1日から教育委員長職が廃止となる。

平成	教育長	教育長職務代理	委員	委員	委員
30/10	木島弘	馬場悠男	鈴木義範	小井田由美子	天野久美

3. 沿 革

昭和27年	11月	座間町教育委員会発足
29年	11月	児童文化展発足 座間町公民館開館
32年	4月	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」施行 (教育委員会の公選制を廃止し、任命制になる)
37年	4月	座間第三小学校(現相模野小学校)開校
	4月	町営グラウンド竣工
	8月	立野台プール竣工
38年	4月	教科書無償制度発足(学年進行による)
	8月	「少年少女球技大会」加わる(少年野球大会発足 27年8月)
39年	7月	座間公園プール竣工
41年	6月	移動図書館ひまわり号巡回
42年	4月	西中学校開校
	7月	広野プール竣工
44年	8月	東原プール竣工
45年	4月	相武台東小学校開校
46年	4月	ひばりが丘小学校開校
	11月	市制施行 座間市教育委員会と改称
47年	4月	東中学校開校
	4月	県立座間高等学校開校
48年	4月	東原小学校開校
	4月	座間第1、第2、第3小学校名変更
	4月	重度心身障がいひまわり園開園
49年	4月	社会科副読本「私たちの座間」初版発刊
50年	1月	県立座間青少年会館開館
	8月	鳩川プール竣工
51年	4月	相模が丘小学校開校
	4月	言語障害児「ことばの教室」開設
	5月	歴史民族資料館開館
	7月	ひばりが丘プール竣工
	8月	相武台プール竣工
52年	4月	立野台小学校開校
	4月	栗原中学校開校

- | | | |
|-----|-----|---------------------|
| | 4月 | 北地区文化センター開館 |
| 52年 | 4月 | 市図書館開館（公民館内に開設） |
| 53年 | 4月 | 青少年相談室開設 |
| | 4月 | 入谷小学校開校 |
| 54年 | 4月 | 相模中学校開校 |
| | 4月 | 教育課程推進校制度発足 |
| | 4月 | 養護学校設置義務化 |
| | 4月 | 座間養護学校開校 |
| | 7月 | 栗原プール竣工 |
| | 11月 | 国際児童年式典 |
| 55年 | 4月 | 旭小学校開校 |
| | 4月 | 新田宿グラウンド開設 |
| | 11月 | 市民球場開設 |
| | 11月 | 青少年芸術祭発足 |
| 56年 | 4月 | 体育課、教育研究所開設 |
| | 4月 | 教育相談員制度発足 |
| | 4月 | 県立栗原高等学校開校 |
| | 4月 | 東地区文化センター開館 |
| | 7月 | 中学生の主張コンクール発足 |
| 57年 | 4月 | 相模が丘プール竣工 |
| 58年 | 4月 | 入谷プール竣工 |
| | 4月 | 市図書館新築移転 |
| | 4月 | 学校災害見舞金制度発足 |
| 59年 | 4月 | 中原小学校開校 |
| | 9月 | 会計検査院定数監査 |
| 60年 | 1月 | 郷土カルタ発刊 |
| | 3月 | 旭プール竣工 |
| | 4月 | 相模川グラウンド開設 |
| | 4月 | 青少年課開設 |
| 61年 | 4月 | 南中学校開校 |
| | 4月 | 小学校40人学級発足（学年進行による） |
| 62年 | 4月 | 県立ひばりが丘高等学校開校 |
| | 4月 | 中原プール竣工 |
| 63年 | 8月 | 市民球場に夜間照明設置 |

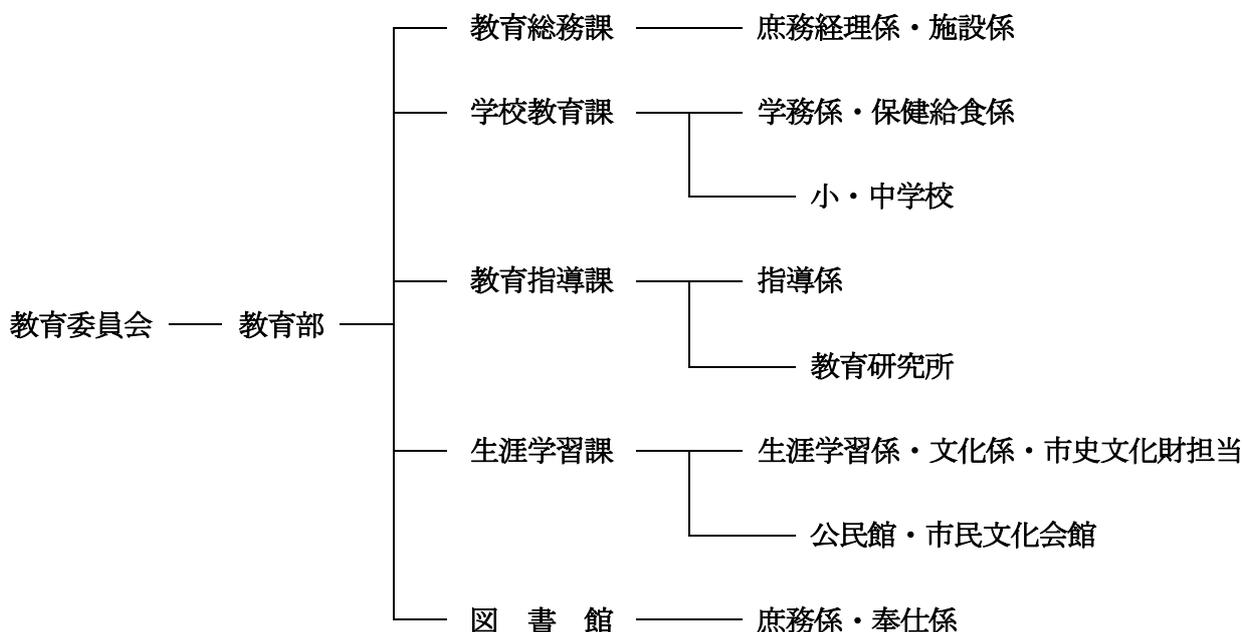
平成	元年	4月	中学校40人学級発足（学年進行による）
	1	1月	栗原中学校校庭に夜間照明設置
	2年	10月	東中学校校庭に夜間照明設置
	3年	8月	清川自然の村オープン
	4年	4月	小学校学習施設（教室）開放
		4月	障害児介助員制度発足
		9月	学校週五日制月1回スタート
		10月	相模中学校校庭に夜間照明設置
	6年	4月	学校週五日制月2回実施の開始
		10月	市民体育館オープン
	7年	4月	座間中学校「みのり学級」開設
		8月	市教育委員会事務局新庁舎に移転
		8月	市民文化会館オープン
	8年	3月	学習状況調査開始（学習検査を改める）
	9年	4月	市青少年センター開館
		4月	教育研究所が青少年センターに移転
		4月	適応指導教室「つばさ」が教育研究所内に開設
		9月	西、東、栗原中学校に教育用コンピュータ導入（1校21台）
	10年	9月	座間、相模、南中学校に教育用コンピュータ導入（1校21台）
	11年	3月	座間中学校新体育館竣工
	13年	4月	小・中学校の教科書採択が座間市独自で実施
		11月	市内小学校全校に教育用コンピュータ導入（1校22台）
	14年	4月	市立小・中学校で学校週5日制を完全実施
	15年	5月	学校評議員制度実施
		10月	中学校教育用コンピュータ導入更新（1校55台）
	16年	4月	言語通級指導教室「入谷小学校ことばの教室」開設
	17年	5月	立野台小学校に「児童ホーム」開所
		10月	生涯学習活動サポートセンター開設
	18年	4月	特別支援教育補助員制度発足
		7月	特別支援教育基本計画策定
		12月	小学校教育用コンピュータ導入更新（1校43台）
	19年	4月	栗原小学校に「国際教室」を開設
		5月	小・中学校で「レッツトライひまわり環境ISO」認定
		6月	市内全中学校と図書館にAED（自動体外式除細動器）を配備

- 20年 4月 東原小学校に「国際教室」を開設
- 11月 中学校教育用コンピュータ導入更新（1校41台）
- 21年 4月 立野台小学校通級指導教室開設
- 22年 3月 国庫補助金による小・中学校情報通信技術環境整備事業を実施
- 23年 3月 座間中学校新1号棟改築工事完成
- 3月 豊かな心を育むひまわりプラン策定
- 3月 座間市生涯学習プラン策定
- 4月 スポーツ課 組織改正により市長部局へ移管
- 4月 旭小学校通級指導教室開設
- 5月 小学校全校に学校図書館司書配置
- 24年 4月 旭小学校、ひばりが丘小学校に「国際教室」を開設
- 5月 中学校全校に学校図書館司書配置
- 11月 「椿」（ヤブツバキ）を座間市重要文化財に指定
- 3月 清川自然の村 廃止
- 25年 4月 座間小学校肢体不自由学級「つばめ」、通級指導教室設置
- 4月 相武台東小学校弱視級「なのはな」級開設
- 8月 小学校3校（座間小学校、相武台小学校、ひばりが丘小学校）及び中学校3校（西中学校、相模中学校、南中学校）にエアコンを賃貸借にて設置
- 26年 4月 中原小学校、東中学校に「国際教室」を開設
- 7月 副読本「郷土の先人に学ぶ」発行
- 8月 小学校6校（東原小学校、相模が丘小学校、立野台小学校、入谷小学校、旭小校、中原小学校）及び中学校3校（座間中学校、東中学校、栗原中学校）にエアコンを賃貸借にて設置
- 27年 6月 座間市総合教育会議設置
- 9月 中学校給食（選択式）試行実施（東中学校、栗原中学校）
- 12月 座間市いじめ防止基本方針策定
- 1月 座間市教育大綱策定
- 28年 4月 青少年課 組織改正により市長部局へ移管
- 4月 座間小学校に「国際教室」を開設
- 4月 相武台東小学校肢体不自由学級「れんげ」級開設
- 4月 中原小学校に「児童ホーム」開所
- 29年 4月 旭小学校肢体不自由学級「あさひ級4組」開設
- 4月 中原小学校知的級「なかはら2級」開設
- 9月 中学校給食（選択式）本格実施（全校）

- 30年 4月 栗原小学校肢体不自由学級「どんぐり級」開設
4月 立野台小学校に「国際教室」を開設
4月 旭小学校病弱・身体虚弱級「あさひ級5組」開設
10月 平成27年4月施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により新教育委員会制度がスタート
3月 鳩川プール廃止
31年 4月 相模が丘小学校に情緒通級指導教室開設
4月 座間中学校病弱・身体虚弱級「いぶき級」開設
4月 第2期座間市教育大綱策定
4月 入谷小学校に難聴児学級開設

4 教育委員会事務局機構と事務分掌

平成31年4月1日現在



教育部

教育総務課

庶務経理係

- (1) 公印の管理に関すること。
- (2) 規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- (3) 市費負担職員の人事等に関すること。
- (4) 学校その他教育機関の設置、変更及び廃止の届出に関すること。
- (5) 教育委員会の会議及び総合教育会議の連絡調整に関すること。
- (6) 人権教育行政の連絡調整に関すること。
- (7) 学校関係予算の執行管理（学校給食関係は除く。）に関すること。
- (8) 学校教育統計に関すること。
- (9) 教育行政に関する相談に関すること。
- (10) 学校教材その他校具の整備に関すること。
- (11) 奨学金に関すること。
- (12) 座間市教育施設整備基金に関すること。
- (13) 座間市奨学金基金に関すること。
- (14) 課内の予算調整及び執行管理（学校給食関係は除く。）に関すること。
- (15) 部内及び課内の庶務並びに課内の他の係に属さないこと。

施設係

- (1) 学校施設（学校給食施設関係は除く。）の管理及び目的外使用に関すること。
- (2) 学校施設に係る国庫補助（学校給食施設関係は除く。）申請等に関すること。

- (3) 学校施設の建設計画並びに施設台帳の整備及び調査に関すること。
- (4) 学校施設のエコ化の推進に関すること。

学校教育課

学務係

- (1) 県費負担教職員の任免、服務その他人事に関すること。
- (2) 学校の組織及び学級編成に関すること。
- (3) 学齢簿の編成及び整理保管に関すること。
- (4) 児童生徒の就学に関すること。
- (5) 通学区域の設定及び変更に関すること。
- (6) 教職員互助会に関すること。
- (7) 就学援助費（特別支援教育就学奨励費を含む）に関すること。
- (8) 課内の予算調整及び執行管理に関すること。
- (9) 課内庶務及び課内の他の係に属さないこと。

保健給食係

- (1) 学校の環境衛生に関すること。
- (2) 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。
- (3) 学校医、歯科医、薬剤師及び学校保健団体に関すること。
- (4) 学校給食施設の整備計画及び管理に関すること。
- (5) 学校給食の運営指導助言に関すること。
- (6) 学校給食関係予算の執行管理に関すること。
- (7) 通学路に関すること。
- (8) 学校災害見舞金に関すること。
- (9) 学校給食施設に係る国庫補助申請等に関すること。

教育指導課

指導係

- (1) 教科用図書の採択の事務に関すること。
- (2) 準教科書の採択に関すること。
- (3) 各教科、道徳、特別活動等の指導助言に関すること。
- (4) 教科用図書その他教材等の取扱い、研究及び指導に関すること。
- (5) 児童及び生徒指導、学校保健安全指導、食に関する指導並びに進路指導に関すること。
- (6) 特別支援教育の研究及び指導に関すること。
- (7) 教員の研修に関すること。
- (8) 座間市教育支援委員会に関すること。
- (9) 就学相談その他学校教育に関する専門的事項の指導に関すること。
- (10) 課内の予算調整及び執行管理に関すること。
- (11) 課内庶務に関すること。

教育研究所

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 教育に関する調査及び研究に関する事。
- (3) 教育関係職員の研修に関する事。
- (4) 教育相談に関する事。
- (5) 教育に関する図書及び資料の収集並びに整備に関する事。
- (6) 教育史の編さんに関する事。
- (7) 教材の開発及び研究に関する事。
- (8) 教育支援教室の運営に関する事。
- (9) その他教育研究所の目的達成に必要な事。
- (10) 所内庶務に関する事。

生涯学習課

生涯学習係

- (1) 座間市社会教育委員に関する事。
- (2) 生涯学習の推進に関する事。
- (3) 社会教育関係団体の育成に関する事。
- (4) 市立公民館の支援及び連絡調整に関する事。
- (5) 社会教育施設の建設計画及び管理に関する事。
- (6) 社会教育施設に係る国庫補助等の申請に関する事。
- (7) 課内の予算調整及び執行管理に関する事。
- (8) 課内の庶務及び課内の他の係に属さない事。

文化係

- (1) 文化行政の企画、調整及び推進に関する事。
- (2) 市民文化等の振興の推進に関する事。
- (3) 余暇対策の調査研究に関する事。
- (4) 財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の統括に関する事。
- (5) 市民文化会館の管理運営に関する事。

市史文化財担当

- (1) 市史の編さんに関する事。
- (2) 市史資料の収集及び保管に関する事。
- (3) 座間市市史編さん審議会に関する事。
- (4) 文化財保護に関する事。
- (5) 座間市文化財保護委員会に関する事。
- (6) 開発事業に伴う文化財保護等に係る協議及び指導に関する事。

公民館

- (1) 座間市立公民館運営審議会に関する事。

- (2) 成人学級を開設すること。
- (3) 定期講座を開設すること。
- (4) 討論会、講習会、実習会、展示会等を開催すること。
- (5) 図書、記録、模型及び資料を備え、その利用を図ること。
- (6) 社会教育関係団体、機関等の連絡を図ること。
- (7) その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

図 書 館

庶務係

- (1) 図書館運営の企画及び調査に関すること。
- (2) 図書館施設等の維持管理に関すること。
- (3) 公印の管理に関すること。
- (4) 文書の收受、編集及び保存に関すること。
- (5) 座間市立図書館協議会に関すること。
- (6) 図書館の予算編成及び執行管理に関すること。
- (7) 館内庶務その他館内の他の係に属さないこと。

奉仕係

- (1) 図書館資料の選択及び収集に関すること。
- (2) 図書館資料の整備及び保管に関すること。
- (3) 図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。
- (4) 参考資料の紹介及び提供に関すること。
- (5) 講演会、読書会等の主催及び奨励に関すること。
- (6) 移動図書館の運営及び団体貸出に関すること。
- (7) 他の図書館等の連絡及び協力に関すること。
- (8) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (9) 図書館関係団体の育成に関すること。
- (10) その他図書館奉仕活動に関すること。
- (11) 視聴覚ライブラリーに関すること。

5. 教 育 費

令和元年度 教育費等予算(歳入)

(単位:千円)

款	項	目	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率 (%)
使用料及び手数料	使用料	教育使用料	38,398	40,420	Δ2,022	-5.0%
		(節) 小学校使用料	7,903	7,718	185	2.4%
		(節) 中学校使用料	3,919	3,877	42	1.1%
		(節) 社会教育使用料	26,576	28,825	Δ2,249	-7.8%
国庫支出金	国庫補助金	教育費国庫補助金	10,992	11,614	Δ622	-5.4%
		(節) 教育総務費補助金	2,512	2,366	146	6.2%
		(節) 小学校費補助金	5,960	6,742	Δ782	-11.6%
		(節) 中学校費補助金	2,520	2,506	14	-0.6%
		(節) 小学校学校施設環境改善交付金	0	0	0	—
		(節) 中学校学校施設環境改善交付金	0	0	0	—
財産収入	財産運用収入	利子及び配当金	2	2	0	0%
繰入金	基金繰入金	奨学金基金繰入金	100	100	0	0%
諸収入	貸付金元利収入	高校進学資金貸付金元利収入	238	389	Δ151	-38.8%
		雑入	12,816	12,656	160	1.3%
	雑入	(節) 教育費雑入	1,504	1,478	26	1.8%
		(節) 雑入	11,312	11,178	134	1.2%
	小計			13,054	13,045	9
市債	市債	教育債	46,900	0	46,900	皆増
		(節) 小学校債	46,900	0	46,900	皆増
		(節) 中学校債	0	0	0	0%
教育費歳入合計			109,446	65,181	44,265	67.9%

令和元年度 教育費等予算（歳出）

※人件費を含む （単位：千円）

項	目	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率（%）
教育総務費	教育委員会費	4,376	4,560	△ 184	-4.0
	事務局費	380,959	366,427	14,532	4.0%
	教育研究所費	33,029	33,806	△ 777	-2.3%
	教育指導費	108,071	103,237	4,834	4.7%
	小 計	526,435	508,030	18,405	3.6%
小学校費	学校管理費	649,805	643,832	5,973	0.9%
	給食費	201,120	189,200	11,920	6.3%
	教育振興費	297,720	244,937	52,783	21.5%
	小 計	1,148,645	1,077,969	70,676	6.6%
中学校費	学校管理費	232,154	220,793	11,361	5.1%
	教育振興費	182,156	170,304	11,852	7.0%
	給食費	65,400	72,926	△ 7,526	-10.3%
	小 計	479,710	464,023	15,687	3.4%
合 計(学校教育等)		2,154,790	2,050,022	104,768	5.1%
社会教育費	社会教育総務費	364,368	355,312	9,056	2.5%
	公民館費	62,730	85,105	△ 22,375	-26.3%
	資料館費	96	96	0	0%
	図書館費	89,939	99,220	△ 9,281	-9.4%
	視聴覚教育費	1,167	1,198	△ 31	-2.6%
	市史編さん費	4,439	5,363	△ 924	-17.3%
	市民文化会館費	378,804	346,355	32,449	9.4%
合 計(社会教育)		901,543	892,649	8,894	1.0%
教育費等歳出合計		3,056,333	2,942,671	113,662	3.9%

IV 学校教育

第1 豊かな心を育むひまわりプラン

I 豊かな心を育むひまわりプラン策定の趣旨

教育の基本理念は、人格の形成にあります。そして、その理念を達成するために、学校教育は知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒の育成をめざすことが求められます。これには、学校教育の目標をふまえ、一層充実した教育効果をあげられるよう、積極的な教育の向上を図ることが重要です。

これからの社会において、児童生徒が心豊かに主体的・創造的に生きることができる資質や能力（「生きる力」）を育成するために、学校教育においては基礎基本の徹底を図り、一人ひとりの個性を生かす教育を推進するとともに、生涯にわたる学習の基礎となる健やかでたくましい心身が育つよう、家庭・地域と連携し豊かな人間性を育む教育の一層の深化・浸透に努めることが肝要です。特に近年では、児童生徒の倫理観や社会性の不足、規範意識の低下、自立の遅れなどの問題が見られることから、学校・家庭・地域の密接なつながりの中で、豊かな心の育成の充実を一層図る必要があります。

教師には、児童生徒の良さや可能性を生かすことを指導の中心に据えた上で、児童生徒が自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力その他の能力を育むことができるように、また児童生徒が力強い意志と自主・自律の精神を持ち、自然愛・人間愛にも優れ、心情豊かに心身ともに健康で、自ら考え正しい判断のもとに行動できるように指導することが求められます。教師は、正しい教育観や豊かな人間性を基盤として、一人ひとりの児童生徒の個性を把握し、その能力等の伸長を図るよう努める必要があります。教師は、特に児童生徒の学習意欲・興味・関心等が、教師の熱意と指導力により一層高まることを自覚し、広い視野と教養を身につけ、常に創造性を発揮し、市民の信頼に応える教育を進めることが大切です。これらのことを一人ひとりの教師が認識し、共通理解のもとに、学校教育における諸活動の中で、学校教育の目標の具現化に向けて意図的・計画的に教育を実践する必要があります。

本市では、座間市らしさを大切にした学校教育を展開する第一歩として、「豊かな心の育成」を平成16年度から学校教育の重点主題として定め、各学校ではそれぞれの特色を生かした取組を展開し、児童生徒の心を豊かに育んできました。平成21年度に「豊かな心を育むひまわりプラン」の策定委員会を設置し、これまでの学校教育における重点主題である「豊かな心の育成」についての取組を見直すとともに、今後の10年間を見据え、新しい時代の本市の教育行政の確立をめざして、座間市学校教育指導計画の中核である「豊かな心を育むひまわりプラン」を策定し、取り組んでいます。

全国学力・学習状況調査の結果を見ても、小学校では「思いやりの心が育っている」また、中学校では、「あいさつがよくできる」「きまりを守る態度が育まれている」など豊かな心が着実に育成されてきた成果が表れています。

II 期間

「豊かな心を育むひまわりプラン」の計画期間は、平成23年度から令和2年度までの10年間とします。



III 「豊かな心を育むひまわりプラン」の位置づけ

1 「学校教育指導計画」との関係

「豊かな心を育むひまわりプラン」は、教育指導課が所管する10年間のすべての事業の根幹をなすものであり、座間市教育委員会の学校教育の方向性を示すものとして位置づけます。

「学校教育指導計画」は、「豊かな心を育むひまわりプラン」に基づいて、毎年改訂します。

2 「第四次座間市総合計画」との関係

第四次座間市総合計画は、令和2（2020）年度を目標年次とする10年でめざすべき将来目標を設定し、実現に向けて基本構想を策定しています。教育における将来目標は、「のびやかに 豊かな心 育むまち」と決めました。

そして、「豊かな心を育むひまわりプラン」は、座間市教育委員会教育指導課が、この第四次座間市総合計画と整合性を図りながら定める実施計画であり、実施計画事業として位置づけられています。

IV めざす大人像

これからの社会は極めて不透明で、長期的な予測は難しい状況です。だからこそ、教育の果たす役割は大きいと言えます。一人ひとりが人間として自立し、それぞれの個性を伸ばしその可能性を开花させることが重要です。そのためには、その基礎を培うことが義務教育に求められます。

これまで座間市では、学校教育指導計画にある「学校教育の目標」に沿って豊かな心の育成を図ってきました。この「学校教育の目標」を達成できた姿が、豊かな心の育った、めざす子ども像となるわけです。

当初、策定委員会では、「具体的にイメージできるめざす子ども像」、「めざす姿に近づくための日々の行動」の2つを記述する方向で議論が進みました。しかし、何度も話し合いを重ねる中で、めざす子ども像は、「こんな大人になってほしい」という姿にたどり着く過程の姿であると捉え、「めざす大人像」を明らかにすることとしました。

座間の教育を受けながら、やがてその子たちが大人になったときには、こうなっていてほしいというめざす姿に向けて、学校教育の目標を大事にしながら、豊かな心を育成していこうという結論になりました。

「こんな大人になってほしい」

- 自分のよさを大切にし、健康で自立した生活を送る。
- 正義を尊び、自らを律し、責任ある行動をとる。
- 目標に向かって学び続け、新たな価値を創造する。
- 温かな心で人とかわり合い、奉仕の心で人の役に立つ。
- 郷土への愛と誇りをもち、国や社会の発展に尽くす。



なお、「学校教育の目標」は「豊かな心を育むひまわりプラン」では、保護者や地域の方にも親しみやすいように、「学校がめざしていること」としています。

V 豊かな心とは

「豊かな心」とは、実り多い豊かな自己実現が果たせる心であり、子どもたちが、前ページの「こんな大人」になりたいと願い、それを目標として自発的に行動する「心」、また仲間と共に努力する「心」と捉えています。

心は見えませんが、行動に表れます。子どもたちの日々の行動の中には、「豊かな心」の小さなつぼみが芽生えています。興味をもって学ぼうとする心、歌や絵を愛する心、自然の不思議に感動する心、あやまちを正そうとする心、困った人を助ける心、行いを反省する心、など。私たち大人は、それらのつぼみを見つけ、育て、個性豊かな花を咲かせてあげたいと思います。

「豊かな心を育むひまわりプラン」が最終的にめざすのは、より高く、大きく、たくさんの自己実現を果たすとともに、周りの人と一緒に前向きに幸せに生きることです。

例えば、

・ある児童は、体育の時間にどうしても鉄棒で逆上がりができず、休み時間も放課後も手にまめを作りながら何度も繰り返し練習をしていました。その子を励ましながら一緒に練習を見守った友人は、その子が初めて逆上がりできたとき、まるで自分のことのように喜びました。

目標に向かってあきらめずにがんばり続ける児童にも、それを見守る友人にも心の豊かさを感じます。

・突然転校することになったある小学生は、下校時に毎日優しく声をかけて自分たちの安全を見守ってくれた地域の方に、感謝のお手紙を渡しました。

毎日見守ってくれていた地域の方への思いを心の中にしまっていたのでは、相手に伝わりません。自分の思いを手紙に託したことで、心が目に見える形となってあらわれたのです。

・以前、ある中学校から駅までの通りは空き缶やペットボトルなどが散乱し、生徒達が一斉にゴミ拾いをしても、次の週には再びゴミでいっぱいになってしまうような状態でした。このような中、中学生でも何か役に立てることはないだろうかという生徒会で話し合い、地域の方々とともに通りに花壇を作る取組が始まりました。やがて、春は菜の花、夏はひまわり、秋には赤やピンクのコスモスの群生が道行く人の目を楽しませるようになると、いつの間にかゴミのポイ捨てがなくなったそうです。

地域を大切に思う生徒達の心が美しい環境を作り出し、本来人の持つ心の優しさや感性を引き出したのではないのでしょうか。

・地域のいっぺい窪のホタルを見に行った姉弟は、ホタルを守る活動をしている方々の存在を知りました。その後二人は、その方たちと一緒に、湧水付近および通学路の清掃活動を平成19年から続けています。

まちの環境美化活動を続ける姉弟の行動は、座間の宝物である湧水を守りたいという強い思いが、行動となって奉仕の心や感謝の心となって表れた姿であり、豊かな心が育っている姿と捉えられます。



このように、人間としてこうやっていきたい、こうなりたいという心の動きや高まりが表出されたときに、ああこの子は育ってきたなあと感じられるのです。つまり、座間市教育委員会としては、行動に表れているということを、豊かな心が育っていると捉えたいと考えています。

VI 豊かな心を育むために

座間市教育委員会では、めざす大人像として「こんな大人になってほしい」という目標を定めました。その実現に向けて、児童生徒期に特に重点をおいて取り組むべきことを検討しました。

豊かな心を育成していく上で、それを支えるのは学校と家庭と地域に他なりません。その三者が、「豊かな心を育成する」という同じ方向を向いて、共に連携・協力していくことが何よりも大切なことです。それとともに、学校、家庭、地域の三者がしっかりと役割分担をして、それぞれの場でできることを絞って、特に意識して取り組む視点を明確にしていくことが重要です。具体的な例として、学校、家庭、地域のそれぞれにおいて、座間市のめざす「豊かな心」の育成につながると思われることを、次のようにあげてみました。

1 学校では

- ・一人ひとりの心を大切にした学級経営を通して、温かな人間関係を育てます。
- ・様々な体験活動を通して、本物に触れさせ感動する心を育てます。
- ・道徳の時間を要とし、学校生活全体を通して、心に響く道徳教育を行います。
- ・異学年交流活動や部活動を通して、思いやりの心を育てます。
- ・教育活動全体を通して、健康への意識やたくましい心と体を育てます。
- ・子どもたちの心をゆり動かす授業を行い、自ら学ぶ意欲を育てます。
- ・学び合いや言語活動の充実を通して、考える力や表現する力を育てます。
- ・読書活動を通して、幅広い知識を身につけ豊かな心を育てます。
- ・係活動や委員会活動を通して、働く喜びや責任感を育てます。
- ・地域の方々との交流を通して、地域を大切にすることを育てます。



2 家庭では

- ・みんなで、笑顔であいさつをしましょう。
- ・みんなで、「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に言いましょう。
- ・子どもに愛情を注ぎ、一緒に過ごす時間をつくりましょう。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」を合言葉に、生活習慣を整えましょう。
- ・家族の一員として、子どもにも家事を分担させましょう。
- ・みんなで、きまりや約束を守りましょう。
- ・善悪のけじめ、区別をきちんと教えましょう。
- ・善いことをした時は褒め、悪いことをした時は諭し、改めさせましょう。

3 地域では

- ・名前を呼んで声をかけ、明るく挨拶をしましょう。
- ・優しい心と笑顔で、どの子どもも分け隔てなく育みましょう。
- ・大人が手本となり、子どもたちに社会のルールを教えましょう。
- ・心安らぐ町になるように、地域の環境に目を配りましょう。
- ・子どもたちが地域の一員として、様々な体験をする機会を増やしましょう。

Ⅶ 「豊かな心を育むひまわりプラン」のイメージ図

「豊かな心を育むひまわりプラン」の全体像が、一目でつかめるような図を作ることで、座間市に住む子どもも保護者も地域の方々も、このプランの実現に向けて一緒に取り組んでいただきたいと考えました。



- ・全体として、本市のシンボルマークの構図を基にしています。
- ・中央の水色は、座間市を流れる相模川、鳩川、目久尻川を表しています。
- ・左上の緑の山は、座間市民に親しみ深い大山を表しています。
- ・右下の群生するひまわりは共に育つ姿を表しています。
- ・学校、家庭、地域は、ひまわりが大きく育つ土壌の役割を示し、そこから養分を受け取っている様子を表しています。
- ・中心のひまわりの花は豊かな心が育っている姿で、5つの葉はめざす姿を表しています。
- ・「根から養分を吸収し、葉で行動目標を実践し、豊かな心という花が咲く」というイメージです。

Ⅷ ざまっ子 八つの誓い

- 1 毎日明るく元気にあいさつをします
- 2 家族を大切にします
- 3 友だちを大切にします
- 4 困っている人に手をさしのべ、優しく接します
- 5 人の役に立つことを進んで行います
- 6 何事にも積極的にチャレンジし、粘り強く取り組みます
- 7 約束や決まりは、いつでもしっかり守ります
- 8 自然を大切にし、地球に優しい生活をします

第2 地域連携による学校づくり

こころときめきスクール推進委託事業

市内小中学校が、座間市の特色ある教育である「豊かな心の育成」に積極的に取り組むとともに、児童生徒一人ひとりの「生きる力」の育成を目指して外部教育力を活かした教育活動等を展開し、創意に富んだ特色ある学校づくりを推進できるよう、各小中学校の研究及び実践活動を推進する。

第3 児童生徒に適した指導・支援

1 学校安全対策事業

- ・学校への不審者侵入、登下校時の不審者、変質者との遭遇等に備え、学校安全対策嘱託員を1人配置して学校の安全管理体制の充実と安全意識の向上を図る。
- ・防犯ブザーを小学校の児童（1年生）に支給することで、安全意識を高揚するとともに、事故を未然に防ぐことに役立てる。

項目 \ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安全対策嘱託員勤務日数	242	242	242	240
防犯ブザー購入配付個数	1,100	1,100	1,100	1,100

2 中学校部活動指導者派遣事業

部活動の専門的技術を補うために、学校の実情にあわせ、顧問教員の協力者として学校の教育方針にあった指導者を派遣する。

項目 \ 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
中学校部活動指導者派遣回数	1,250 回	1,250 回	1,260 回	1,290 回	1,290 回

3 特別支援教育事業

- ・市内の小中学校の特別支援学級には、障がい児の学校生活における身辺処理の介助や移動時の安全確保のために障がい児介助員を29名派遣。介助員は担任教諭の指示により職務に従事することで、担任教諭は集団全体に目を向けた指導に専念できるなど、特別支援教育の充実を図る。
- ・通常級に在籍する、LD、ADHD、高機能自閉症等配慮を要する児童生徒に対し、きめ細かな支援を行うために特別支援教育補助員を17名派遣。担任と協力して学習に困難をきたしている児童生徒の学習支援を中心に支援し、人間関係づくりに困難さを感じている児童生徒に対しでは、社会性が身につくようサポートする。

第4 情報化・国際化教育の推進

1 小中学校外国語教育推進事業

・外国語指導助手（ALT）派遣の実施

国際社会の一員として世界の人々と心を開いて交流することができるよう、小・中学校とも外国語指導助手（ALT）を外国語活動及び外国語の授業に派遣する。

（小学校）目的：国際理解とコミュニケーション能力を養う。

派遣日数：年間565日 全小学校3、4年生：各クラス年間平均15時間

5、6年生：各クラス年間平均25時間

（中学校）目的：英語教育の充実と国際理解を深める。

派遣日数：年間395日 全中学校1～3年生：年間平均20時間

注1 ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、外国語指導助手のことをさしています。

2 外国人子女日本語指導等協力者派遣事業

・日本語指導を必要とする児童・生徒のために、学校の要請に応じて日本語指導等協力者を派遣し、学習、生活の両面から円滑な学校生活が送れるよう支援する。

・個人面談の折には通訳者を派遣し、保護者の教育相談にも対応する。

〔日本語指導等協力者派遣回数〕

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日本語指導（回）	500	535	555	555	616
通訳（回）	15				

第5 学校教育の目標

1 心豊かな児童生徒の育成

- （1）まわりの人たちと協力しながら、より高い目標に向かって努力する心を育てる。
- （2）礼儀や思いやり、感謝の心、感動する心など豊かな心を育てる。

2 心身ともに健康な児童生徒の育成

- （1）健康的で望ましい生活習慣を身につけようとする態度を育てる。
- （2）自らの人生をたくましく切りひらく強い心とからだを育てる。

3 強い意志を持って、自ら意欲的に学ぶ児童生徒の育成

- （1）自ら課題をもち、忍耐強く解決しようとする学習態度を養う。
- （2）問題解決のために必要な知識や技能を、進んで身につけようとする態度を養う。

4 進んで働き、よりよい社会をめざす児童生徒の育成

- （1）社会のために進んで働こうとする強い意志と責任感を育てる。
- （2）真理を愛し、正義を尊び、互いの人格を尊重する態度を養う。

5 わが国の文化や伝統を尊重するとともに世界の人々と共生できる児童生徒の育成

- （1）座間市の文化や風土を愛し、よりよい郷土づくりに努力する態度を養う。
- （2）わが国の文化や伝統を愛し、世界の平和と人類の幸福の実現に役立つ人を育てる。

第6 指導係主要事業計画

1 学校訪問

(1) A訪問

趣旨	学校教育目標の具現化をめざし、日常の教育活動の進め方や学校・学年・学級経営上の問題点について、指導主事と学校が相互に協議し合い、より高い教育の実践を図る。特に授業研究による教員の授業力向上を図ることを主たる目的とする。		
訪問者	教育長、教育指導課長、教育研究所長、指導係長、指導主事、(教育委員)		
訪問校 期 日	座間小学校	令和元年10月23日	(水)
	栗原小学校	令和2年1月20日	(月)
	相模が丘小学校	令和元年10月10日	(木)
	中原小学校	令和元年11月22日	(金)・・・研究発表会
	西中学校	令和元年10月1日	(火)
	栗原中学校	令和元年11月12日	(火)

(2) B訪問

趣旨	教育委員が参加し、学校教育全般に関して学校と協議を行い、学校教育の向上を図る。		
訪問者	教育長、教育長職務代理者、教育委員、教育部長、教育部次長、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課保健給食担当課長、教育指導課長、教育研究所長、指導係長、指導主事		
訪問校 期 日	東原小学校	令和元年11月18日	(月)
	旭小学校	令和元年10月15日	(火)
	東中学校	令和元年10月21日	(月)

(3) C訪問

趣旨	教育委員が参加し、学校経営及び運営等に関して学校と相互に協議を行い、学校教育の向上を図る。		
訪問者	教育長、教育長職務代理者、教育委員、教育部長、教育部次長、学校教育課長、教育指導課長、指導係長		
訪問校 期 日	相模野小学校	令和元年6月27日	(木)
	相武台東小学校	令和元年12月16日	(月)
	ひばりが丘小学校	令和2年1月23日	(木)・・・研究発表会
	立野台小学校	令和2年2月7日	(金)
	入谷小学校	令和元年7月3日	(水)
	座間中学校	令和元年7月9日	(火)
	相模中学校	令和元年9月26日	(木)
	南中学校	令和元年11月15日	(金)・・・研究発表会

(4) 視点

- ア 各教科・道徳・特別活動の授業に関すること
- イ 校内研究に関すること
- ウ 児童生徒指導、進路指導に関すること
- エ 学校・学年・学級経営に関すること
- オ 教育環境に関すること

(5) 配慮事項

- ア 訪問日の日程や運営については、市教育委員会と学校で調整する。
なお、研究発表を行う学校については、これを学校訪問に代えるものとする。
- イ 学習指導案(A訪問のみ)、配付資料を訪問日の10日前までに、A訪問は13部、B訪問は22部、C訪問は11部指導係まで提出する。
- ウ 実施1か月前に学校と指導係で事前打ち合わせを行う。

2 各種研究委託等

(1) 座間市教育課程等研究推進委託校

学 校 名	研究領域	研 究 主 題 等	年 度	スーパーバイザー等
座間小学校	体 育	運動する楽しさや喜びを感じられる児童の育成を目指して ～みんながわかる・できる・わかちあえる体育学習～	R 1 R 2	東京学芸大 鈴木 聡
ひばりが丘小学校	全領域	自分を表現し、お互いに学び合う子の育成 ～聴いて、考えて、つなげる授業を生かして～	H30 R 1	東京学芸大 中村 和弘 横浜国大 高木 展郎
旭小学校	国 語	豊かな心をもつ子の育成 ～一人ひとりが達成感を感じる国語の授業を目指して～	R 1 R 2	筑波大学 小島 道生
中原小学校	体 育	自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成 ～ゲーム・ボール運動領域を通して～	H30 R 1	東京学芸大 鈴木 聡
西中学校	全領域	自立・共生に向けて豊かな心を持つ生徒の育成 ～防災教育を含めた自己有用感を育む教育活動～	H30 R 1	横浜国大 有元 典文
相模中学校	全教科	知識をつなぎ、思考を広げ表現できる生徒の育成	R 1 R 2	横浜国大 加藤 圭司
南中学校	道 徳	考える道徳授業の創造 ～よりよく生きる道徳性を養うために～	H30 R 1	帝京大学大学院 赤堀 博行

(2) 研究発表会

学 校 名	研究領域	期 日	スーパーバイザー等
ひばりが丘小学校	全領域	令和2年 1月23日 (木)	東京学芸大 中村 和弘
中原小学校	体 育	令和元年11月22日 (金)	東京学芸大 鈴木 聡
南中学校	道 徳	令和元年11月15日 (金)	帝京大学大学院 赤堀 博行

(3) 座間市ころ・ときめきスクール推進委託

市内17校のころ・ときめきスクール推進研究会

(4) 座間市立小学校教育評価研究委託

座間市立小学校教育評価研究会

(5) 座間市特別支援教育研究委託

座間市特別支援教育研究会

3 令和元年度 指導者等派遣

(1) 中学校部活動指導者 (6校 1, 290回)

座間中学校 (215回) 西 中学校 (215回) 東 中学校 (215回)
栗原中学校 (215回) 相模中学校 (215回) 南 中学校 (215回)

- (2) 障がい児童・生徒介助員 (29人)
1人当たり：1日5.75時間
- (3) 特別支援教育補助員 (17人)
1人当たり：1日5.75時間
- (4) 外国語指導助手
小学校 (11校)：4人 (うち1名中学校兼務) 年間565日
中学校 (6校)：3人 年間395日
- (5) 外国人子女日本語指導協力者
日本語指導(含む通訳) 616回分 市内小・中学校

4 学校農園実施校 (2校)

- 相武台東小学校 ○入谷小学校

5 令和元年度 会議計画

	会議名	期 日	会場	趣旨・内容
1	定例校長会議	① 4/8 PM ② 6/26 AM ③10/2 AM ④ 1/ 9 PM ⑤ 3/4 PM	①~④ 全員協議会室 ⑤4-2,3 (HH 会議)	校長と教育委員会事務局とが学校教育の望ましい在り方を協議するとともに、両者の連携を図る。
2	定例教頭会議 (①は委託補助金会議も含める)	① 4/11AM ② 1/10 AM	5-1	当面する教育上の課題の協議と情報交換を行い、学校と教育委員会との連携を深める。
3	教務担当者会議	4/12 PM	5-1	教育課程編成の説明及び課題協議と情報交換を行い事務等の円滑化を図る。
4	教育支援委員会	① 5/23 ② 9/12 ③10/ 3 ④11/ 7 ⑤12/ 5 ⑥ 2/ 6 (すべてPM)	①5-2,3 ②5-2,4 ③5-3,5 ④5-4,7 ⑤5-3,5 ⑥5-3,7	障がいの状態に応じた適正就学について協議する。
5	支援教育担当者会議	4/19 PM	5-1	特別支援や就学の連絡・調整を図る。
6	通級指導教室担当者会議	4/18 PM	5-2	通級指導教室(情緒・言語)について連絡・調整を図る。
7	児童生徒指導担当者会議	6/21 PM	5-1	小・中学校間での連携や望ましい指導の在り方について協議し、児童生徒指導上の諸問題の解決を図る。
8	教科書事務担当者会議	3/27 PM	5-1	教科書関係の事務が適正に行われるように協議する。
9	英語教育推進会議	小・中 4/11 PM 小・中 2/14 PM	5-2 5-3	外国語活動及び英語教育に関する協議と情報交換を行い、円滑な実施を図る。
10	子どもの健康・体力についての連絡会	5/17 PM	5-1	小中学校の担当で、子どもの健康・体力についての情報交換・意見交換等を行う。
11	食育推進担当者会議	5/14 PM 1/16 PM	5-1 5-2	小中学校における食育推進のあり方について協議し、推進を図る。
12	薬物乱用・いじめ防止等対策連絡協議会	5/ 7 PM 1/27 PM	5-1 5-2	青少年の薬物乱用・いじめ防止などについて関係機関で協議する。
13	国際教室及び日本語指導担当者会議	4/25 PM	5-1	外国にかかわる児童・生徒の指導について情報交換や協議を行う。

*会場欄 HH：ハーモニーホール

6 令和元年度 研修計画

	事業名	趣旨・内容	対象
1 学校経営研修	(1) 校長研修会	学校教育目標の具現化に向けて学校経営の充実と円滑化を図る。	校長
	(2) 教頭研修会	教頭としての指導力の向上と管理面の充実を図る。	教頭
	(3) 総括教諭研修会	学校運営推進者として学校の諸課題についての理解を深め、学校運営の改善・充実に向けて総括教諭の力量の向上を図る。	総括教諭
	(4) ミドルリーダー研修会	学校のミドルリーダーとして、学校運営の中核を担っていく教諭の意識の向上を図る。	中堅教諭
2 教育指導研修	(5) 学級経営研修会	学級経営の意義と役割について理解を深め、望ましい学級経営の在り方について研修し、資質の向上を図る。	1年経験者全員 1年経験者不在校は学級担任 ※各校複数人数可 (2～4年経験者の未受講者)
	(6) 校内研究担当者研修会	校内研究の意義や推進の在り方について理解を深め、担当者としての指導力の向上を図る。	校内研究部 教諭
	(7) 道徳教育研修会	道徳教育を充実するために、道徳の授業力向上を図る。	1年経験者全員 道徳教育推進教諭
	(8) 初任者研修会 (別掲参照)	教職員の服務及び学習指導上の基本的事項について研修を深め、教職員としての資質と指導力の向上を図る。	初任者 他
3 課題研修	(9) 児童生徒指導研修会	望ましい指導の在り方について研修し、指導力の向上や小中連携・指導体制の充実を図る。	学級担任 (未受講者)
	(10) 人権教育研修会	人権教育について正しい理解と認識を深め、校内における人権教育の推進を図る。	教諭
	(11) 今日の課題研修会 (携帯・スマホ)	教育における今日の課題等について研修を深め、その解決に資する。	教諭 (未受講者)
	(12) 今日の課題研修会 (いじめ)		

	期 日	テーマ・内容 等	会 場	形式	講 師
(1)	7/5(金)	新学習指導要領実施に向けて、これからの時代に必要な学校経営や授業改善などについてリーダーの視点から学びを深める。	5-2, 3	講義	國學院大學 田村 学
(2)	7/26(金)	研修・育成を専門にしているキューブルーツの石井ふじみ氏による「クレーム対応の基礎」について、個人・チームでの手立てについて学ぶ。	5-1	講義	キューブルーツ 石井 ふじみ
(3)	8/7(水)	総括教諭に求められるリーダーシップについての理解を深める。	サニプレイス (5-1)	講義	東京学芸大学 末松 裕基
(4)	8/6(火)	新学習指導要領実施に向けて、これからの時代に必要な教師力や授業改善の視点などについて学びを深める。	5-1	講義	國學院大學 田村 学
(5)	6/26(水)	体験学習による人間関係トレーニング	5-1	講義・ 演習	早稲田大学 高橋 あつ子
(6)	4/25(木)	校内研究の進め方とその具体例、実践例	HH 中会議	講義	横浜国立大学 梅澤 秋久
(7)	① 4/23(火) ②11/ 8(金)	小中学校における道徳の授業の進め方 研究授業及び協議	①5-1 ②中学校	講義・ 演習	文教大学 赤坂 雅裕
(8)	4/9(火) 他	・座間市の教育の概要 ・教員としての服務、児童・生徒理解、 教育支援教室見学 ・授業の進め方、学級経営	5-1	講義・ 協議・ 実技等	行政関係者等
(9)	① 5/31(金) ②11/11(月) ③ 1/29(水)	・問題を抱える児童・生徒への対応 ・保護者への対応	①5-1 ②5-1 ③5-1	講義・ 演習	横浜国立大学 大草 正信
(10)	① 5/30(木) ②11/ 5(火)	人権教育の推進	①5-1 ②5-5	講義・ 演習	人権教育担当 指導主事
(11)	6/13(木)	携帯電話・スマホの危険性について、具体的な今の事例をもとに考える。	5-7	講義・ 演習	神奈川県警察本部 生活安全部サイバー 犯罪対策課
(12)	5/24(金)	いじめ防止基本方針の理解その他について	5-3	講義・ 演習	生徒指導担当 指導主事

7 県央教育事務所管内教育課程研究会会場

※ 今年度は、全県提案はありません。

	部 会	会 場	期 日
小 学 校	社会、体育、外国語活動・外国語、 図画工作、家庭、特別活動 国語、生活 総則、算数 理科、総合的な学習の時間 音楽、道徳	厚木市・愛甲地区 大 和 市 海 老 名 市 座 間 市 綾 瀬 市	7月31日（水） ※特別支援は 8月2日（金）
	総則、社会、数学、家庭、道徳 保健体育、外国語、総合的な学習の時間 理科、音楽 美術、技術 国語、特別活動	厚木市・愛甲地区 大 和 市 海 老 名 市 座 間 市 綾 瀬 市	8月1日（木） ※特別支援は 8月2日（金）

8 キャンプ・修学旅行

小学校名	キャンプ		修学旅行	中学校名	修学旅行
座間小学校	7/ 2～ 3	②	10/17～18	座間中学校	5/22～24
栗原小学校	9/ 3～ 4	①	10/25～26	西中学校	5/22～24
相模野小学校	7/ 1～ 2	①	11/ 7～ 8	東中学校	6/ 1～ 3
相武台東小学校	7/24～25	③	10/31～11/1	栗原中学校	5/24～26
ひばりが丘小学校	7/21～22	④	10/20～21	相模中学校	5/28～30
東原小学校	12/ 3～ 4	①	10/18～19	南中学校	5/27～29
相模が丘小学校	12/ 5～ 6	②	10/25～26	京都・奈良方面	
立野台小学校	7/ 4～ 5	②	11/ 1～ 2		
入谷小学校	6/18～19	①	10/18～19		
旭小学校	12/ 5～ 6	①	10/17～18		
中原小学校	9/ 5～ 6	①	10/11～12		
行き先 宿泊施設	①ふじの体験の森やませみ ②相模川ビレッジわかあゆ ③愛川ふれあいの村 ④足柄ふれあいの村		日光方面		

9 令和元年度初任者研修計画

校外研修		令和元年度初任者研修(校外研修18日)年間予定									
月日	曜日	実施主体	区分(内容)	加外 日数	区分		会場	対象			
					区 分	必 修		小学校		中学校	
								C	D	C	D
4月9日	火	座間市教委①	人格的資質向上(モラールアップ)	0.5	資質	必	座間市庁舎	△	△	△	△
4月15日	月	総合教育センター	人格的資質向上① 小中C	1	資質	必	総合教育センター	○		○	
4月18日	木	総合教育センター	人格的資質向上① 小中D	1	資質	必	総合教育センター		○		○
5月14日	火	県央教育事務所①	1 授業力向上 小中C	1	授業力	必	海老名市役所	○		○	
5月21日	火	県央教育事務所①	1 授業力向上 小中D	1	授業力	必	海老名市役所		○		○
6月4日	火	総合教育センター	授業力向上① 中学 国・理・保体・技家	1	授業力	必	横国大附属鎌倉中				国・理・保体・技家
6月4日	火	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 外国語	1	授業力	必	総合教育センター				外国語
6月11日	火	総合教育センター	人格的資質向上② 小C	1	資質	必	総合教育センター	○			
6月11日	火	総合教育センター	授業力向上① 中学 社・数・音・美・外	1	授業力	必	横国大附属鎌倉中				社・数・音・美・外
6月18日	火	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 国語	1	授業力	必	総合教育センター				国語
6月25日	火	総合教育センター	人格的資質向上② 小D 中CD	1	資質	必	総合教育センター		○	○	○
7月2日	火	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 理科	1	授業力	必	総合教育センター				理 科
7月22日	月	総合教育センター	授業力向上① 小CD	1	授業力	必	総合教育センター	○	○		
7月22日	月	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 社会・技術	1	授業力	必	総合教育センター				社会・技術
7月23日	火	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 保体	1	授業力	必	総合教育センター				保体
7月23日	火	県央教育事務所②	2 授業力向上 小	1	授業力	必	大和市立光丘中学校	○	○		
7月24日	水	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 音・美・家	1	授業力	必	総合教育センター				音・美・家
7月25日	木	総合教育センター	授業力向上③(ICT) 中学 数学	1	授業力	必	総合教育センター				数学
7月29日	月	座間市教委②	課題解決力向上(児童・生徒理解)	1	課題	必	座間市庁舎	○	○	○	○
8月5日	月	総合教育センター	課題解決力向上① 小中D	1	課題	必	総合教育センター		○		○
8月6日	火	総合教育センター	課題解決力向上① 小C	1	課題	必	総合教育センター	○			
8月6日	火	県央教育事務所②	2 授業力向上 中	1	授業力	必	厚木市立厚木第二小学校			○	○
8月7日	水	総合教育センター	課題解決力向上① 中C	1	課題	必	総合教育センター			○	
8月20日	火	座間市教委(選択)	【選択研修】(座間市郷土学習)	1	授業力	必	座間市内各所	○	○	○	○
8月22日	木	座間市教委③	人格的資質向上(宿泊研修)	2	資質	必	相模原市立 ふじの体験の森やませみ	◎	◎	◎	◎
8月23日	金										
9月3日	火	総合教育センター	授業力向上② 中	1	授業力	必	総合教育センター			○	○
9月17日	火	総合教育センター	授業力向上②(ICT) 小C	1	授業力	必	総合教育センター	○			
9月24日	火	総合教育センター	授業力向上②(ICT) 小D	1	授業力	必	総合教育センター		○		
10月29日	火	総合教育センター	人格的資質向上③ 中	1	資質	必	総合教育センター			○	○
11月5日	火	総合教育センター	人格的資質向上③ 小C	0.5	資質	必	総合教育センター	△			
		総合教育センター	授業力向上③ 小C	0.5	授業力	必	総合教育センター	△			
11月12日	火	総合教育センター	人格的資質向上③ 小D	0.5	資質	必	総合教育センター		△		
		総合教育センター	授業力向上③ 小D	0.5	授業力	必	総合教育センター		△		
12月3日	火	総合教育センター	授業力向上④ 小C	0.5	授業力	必	総合教育センター	△			
		総合教育センター	人格的資質向上④ 小C	0.5	資質	必	総合教育センター	△			
12月10日	火	総合教育センター	授業力向上④ 小D	0.5	授業力	必	総合教育センター		△		
		総合教育センター	人格的資質向上④ 小D	0.5	資質	必	総合教育センター		△		
1月14日	火	座間市教委④	課題解決力向上(学級経営)	0.5	課題	必	座間市立相模が丘小学校	△	△	△	△
2月4日	火	県央教育事務所③	3 授業力向上 中	1	授業力	必	大和市渋谷学習センター			○	○
		県央教育事務所③	3 授業力向上 小	1	授業力	必		○	○		
各校設定		他校へ	授業力向上(他校訪問)	1	授業力	必	自校以外の学校へ	○	○	○	○
後日調整		勤務校	授業力向上(研究授業)9月~12月	1	授業力	必	勤務校	○	○	○	○
各校設定		勤務校	授業力向上(校内授業研究)	1	授業力	必	勤務校	○	○	○	○

◆ 原則として、Cグループの初任者はC日程の研修に、Dグループの初任者はD日程の研修に、年間通じて参加する。

◆ 「他校訪問」は他校に出かけ、「授業参観」+「研究協議」+「他校訪問レポート」で1日のカウントとする。

【表右に記載されている記号の説明】
◎は2日カウント ○は1日カウント △は0.5日カウント

10 令和元年度校内研究計画

学校名	領域等	研究主題
座間小学校	体育	運動する楽しさや喜びを感じられる児童の育成を目指して ～みんながわかる・できる・わかちあえる体育学習～
栗原小学校	道徳	自ら考え、心豊かによりよく生きる子 ～学び合う道徳教育を通して～
相模野小学校	算数	心豊かな子どもをめざして ～「つながる・つなげる」算数の授業から～
相武台東小学校	全領域	心豊かに生き生きと活動する子を目指して ～学びあいを通して、みんなとわかる～
ひばりが丘小学校	全領域	自分を表現し互いに学び合う子の育成 ～聴いて、考えて、つなげる授業を生かして～
東原小学校	道徳	たくましく心豊かに生きる子の育成 ～考え、学び合う道徳の授業を目指して～
相模が丘小学校	道徳	豊かな心を持ち、よりよく生きる子を育む道徳教育
立野台小学校	国語	共に考え、学びを豊かにする子の育成 ～自信をもって、表現できる子をめざして～
入谷小学校	全領域	自ら学ぶ児童の育成 ～「分かる」「できる」「学び合う」「深める」活動を通して～
旭小学校	国語	豊かな心をもつ子の育成 ～一人ひとりが、達成感を感じる国語の授業を目指して～
中原小学校	体育	自ら学び、自ら考え、豊かな心を持つ子の育成 ～ゲーム・ボール運動領域を通して～
座間中学校	全領域	深い学びのある授業づくりを目指して ～たたき台の価値を生かす授業づくりを中心に～
西中学校	全領域	自立・共生・創造に向けて豊かな心を持つ生徒の育成 ～防災教育を含めた自己有用感を育む教育活動～
東中学校	道徳	「特別の教科 道徳」における東中スタンダードづくり ～「考え、議論する道徳」の授業づくりと評価～
栗原中学校	全教科	「深い学びの創造」 ～考えたい発問と考える時間の確保～
相模中学校	全教科	知識をつなぎ、思考を広げ、表現できる生徒の育成
南中学校	道徳	考える道徳授業の創造 ～よりよく生きる道徳性を養うために～

第7 市立学校一覧

(平成31年4月1日現在)

	創立年	校 長 名			所 在 地	電 話
		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
座間小	明治28	日向野 亨	日向野 亨	小宮 美紀	座間2-3133	251-0009
栗原小	昭和25	直井 恵子	直井 恵子	直井 恵子	栗原中央6-8-1	251-0074
相模野小	昭和37	橋本 武	橋本 武	山手 温子	広野台1-41-1	251-0625
相武台東小	昭和45	金子 憲勝	金子 憲勝	金子 憲勝	栗原1302	251-6446
ひばりが丘小	昭和46	有川 正則	有川 正則	鍛代 哲也	ひばりが丘4-4-1	252-1124
東原小	昭和48	有山 周一	有山 周一	大谷 一	東原2-6-1	253-3145
相模が丘小	昭和51	宮下 美江子	宮下 美江子	宮下 美江子	相模が丘3-1-1	254-8202
立野台小	昭和52	山近 佐知子	山近 佐知子	山近 佐知子	立野台1-1-3	254-8100
入谷小	昭和53	唐木田 正富	西川 麻里子	西川 麻里子	入谷2-345	253-7211
旭小	昭和55	泉田 裕	泉田 裕	泉田 裕	ひばりが丘5-43-1	253-2255
中原小	昭和59	倉田 敦子	倉田 敦子	倉田 敦子	西栗原2-16-1	251-3882
座間中	昭和22	小西 秀人	田附 裕治	田附 裕治	緑ヶ丘4-6-10	251-0135
西中	昭和42	鈴木 直人	鈴木 直人	鈴木 直人	座間2-1230	251-2277
東中	昭和47	日極 忠	日極 忠	日極 忠	ひばりが丘5-57-1	253-3357
栗原中	昭和52	中木原 利一	梶 弘之	梶 弘之	栗原中央6-4-1	254-9977
相模中	昭和54	大沢 奈緒美	大沢 奈緒美	大沢 奈緒美	相模が丘6-35-1	253-2183
南中	昭和61	押田 典明	押田 典明	押田 典明	南栗原3-8-1	256-0700

	学級数 (特別支援学級数)			教 員 数			職 員 数		
	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
座間小	30 (6)	29 (5)	29 (5)	42	44	48	11	7	6
栗原小	22 (2)	23 (3)	24 (3)	33	33	36	10	6	6
相模野小	23 (3)	22 (3)	22 (3)	32	31	32	10	6	5
相武台東小	24 (3)	22 (3)	21 (2)	32	29	29	11	6	6
ひばりが丘小	16 (2)	15 (2)	15 (3)	22	21	22	9	6	5
東原小	21 (2)	21 (2)	21 (2)	27	28	29	10	6	6
相模が丘小	21 (2)	20 (2)	21 (2)	29	28	32	11	6	6
立野台小	25 (3)	27 (4)	28 (5)	36	37	38	10	6	6
入谷小	20 (3)	20 (3)	21 (4)	29	29	30	9	6	6
旭小	22 (4)	22 (5)	21 (4)	37	35	33	11	5	6
中原小	18 (4)	18 (4)	19 (4)	26	26	28	9	6	6
計	242 (34)	239 (36)	242 (37)	345	341	357	111	66	64
座間中	15 (3)	18 (4)	19 (4)	30	30	31	4	1	1
西中	19 (4)	19 (4)	18 (3)	39	37	39	4	1	1
東中	18 (2)	19 (3)	18 (3)	36	35	34	5	1	1
栗原中	15 (3)	14 (2)	14 (2)	29	29	28	4	1	1
相模中	18 (2)	17 (2)	17 (2)	35	34	34	4	1	1
南中	13 (2)	11 (2)	12 (2)	24	22	24	3	1	1
計	98 (16)	98 (17)	98 (16)	193	187	190	24	6	6

※ 特別支援学級数は学級数の内数

(数値は学校基本調査による)

教員数＝校長＋教頭＋教諭＋養護教諭＋栄養教諭

職員数＝栄養士＋事務＋給食調理員

第8 学校施設

1 学校施設の状況

令和元年5月1日現在

区分 学校名	校地面積 (単位：㎡)	建物面積 (単位： ㎡)	内 訳			体育館	教室数(単位：室)	
			鉄 筋 コンクリート造	鉄骨造	木造		普通	特 別
座 間 小	15,981.00	6,090	5,964	118	8	892	29	8
栗 原 小	16,545.00	5,860	5,788	72		979	25	12
相 模 野 小	17,651.00	5,721	5,634	87		967	22	10
相 武 台 東 小	16,534.40	6,217	6,121	96		874	21	11
ひばりが丘小	19,602.00	6,412	6,284	128		892	15	13
東 原 小	20,581.00	7,141	7,070	71		878	22	14
相 模 が 丘 小	14,375.00	6,100	6,036	64		853	21	13
立 野 台 小	14,934.00	6,319	6,299	10	10	886	28	11
入 谷 小	18,865.00	7,430	7,347	83		886	21	11
旭 小	14,943.00	6,680	6,596	84		886	20	12
中 原 小	15,564.00	6,531	6,531			902	18	10
小 計	185,575.40	70,501	69,670	813	18	9,895	242	125
座 間 中	35,185.00	5,970	5,471	499		1,326	19	21
西 中	21,919.00	6,141	5,619	522		1,247	19	18
東 中	24,958.08	6,623	6,521	102		1,203	18	24
栗 原 中	22,020.00	7,186	7,098	88		1,203	13	22
相 模 中	23,623.74	6,355	6,260	95		1,203	19	21
南 中	16,643.31	6,488	6,488			1,361	12	17
小 計	144,349.13	38,763	37,457	1,306	0	7,543	100	123
合 計	329,924.53	109,264	107,127	2,119	18	17,438	342	248

2 学校施設の整備状況

(1) 小学校施設整備状況

年 度	事 業 名	学 校	事 業 費
28	外壁改修工事	座間小学校 1号棟、2号棟、屋内運動場	110,559,600
	外壁改修工事	旭小学校	79,587,360
	屋上防水改修工事	相武台東小学校 2号棟	22,087,080
	屋上防水及び手摺改修工事	東原小学校 1号棟	39,435,120
	便所改修工事	入谷小学校南棟	116,380,800
	便所改修工事	中原小学校南棟	79,769,880
	外壁改修工事監理委託	座間小学校 1号棟、2号棟、屋内運動場	1,782,000
	法面保護工事設計委託	相武台東小学校	5,622,480
	法面保護工事積算負担金	相武台東小学校	2,289,600
	便所改修工事監理委託	入谷小学校南棟	2,440,800
	便所改修工事監理委託	中原小学校南棟	2,592,000
	小規模工事		6,193,929
	合 計	468,740,649	
29	法面保護工事	相武台東小学校	90,073,080
	便所改修工事	入谷小学校北棟	65,963,160
	便所改修工事	中原小学校北棟	63,504,000
	給水管更生工事	ひばりが丘小学校 1号棟	11,270,880
	屋上防水改修工事	ひばりが丘小学校 2号棟	24,173,640
	法面保護工事監理委託	相武台東小学校	5,972,400
	便所改修工事監理委託	入谷小学校北棟	1,782,000
	便所改修工事監理委託	中原小学校北棟	2,019,600
	外壁改修工事設計委託	相武台東小学校	5,450,760
	小規模工事		1,213,920
		合 計	271,423,440
30	家庭科室改修工事	立野台小学校	13,739,760
	外壁改修工事	相武台東小学校 2号棟	43,650,360
	給水管改修工事	ひばりが丘小学校 1号棟	27,539,784
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	中原小学校	6,328,800
	小規模工事		1,296,000
	合 計	92,554,704	

(2) 中学校施設整備状況

年 度	事 業 名	学 校	事 業 費
28	屋根改修工事	座間中学校技術科室	20,381,760
	屋根改修工事	南中学校屋内運動場	31,086,720
	改修工事	西中学校屋内運動場	136,243,080
	外壁及び屋上防水改修工事	栗原中学校金工室、木工室	19,195,920
	外壁改修工事設計委託	座間中学校 2・3号棟	3,078,000
	改修工事監理委託	西中学校屋内運動場	3,564,000
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	東中学校金工室、木工室	2,700,000
	便所改修工事設計委託	南中学校	5,108,400
	小規模改修工事		3,445,200
	合 計	224,803,080	
29	外壁改修工事	座間中学校 3号棟	40,884,480
	外壁及び屋上防水改修工事	東中学校金工室、木工室	44,017,560
	便所改修工事	南中学校	106,700,760
	屋上防水改修工事	栗原中学校北棟、昇降口棟	28,964,520
	便所改修工事監理委託	南中学校	2,019,600
	外壁及び屋上防水改修工事設計委託	東中学校	6,242,400
	小規模改修工事		1,279,800
	合 計	230,109,120	
30	外壁改修工事	座間中学校 2号棟	35,719,920
	外壁及び屋上防水改修工事	東中学校 1号棟	67,273,200
	便所改修工事	南中学校屋内運動場	45,701,280
	便所改修工事監理委託	南中学校屋内運動場	3,348,000
	小規模改修工事		1,155,600
	合 計	153,198,000	

第9 市立小・中学校の沿革

座間小学校

- 明治 6年 明治5年8月3日学制が發布されたことに伴い座間入谷村に風牛学舎を設け、座間入谷村、座間村、新田宿村、四ツ谷村を通学区とした（7月）
- 明治 9年 学舎を学校と改称した。風牛学舎を分離して、座間学校と座間村学校の二つとした。座間学校は座間入谷村（入谷・新田・四ツ谷）に、座間村学校は座間村に置いた（9月）
- 明治18年 村内3小学校を廃して座間に至誠学校を栗原に馴養学校を設置した（8月）
- 明治19年 新たに小学校令が制定されたのを機に、至誠学校を廃し座間入谷村に日新小学校、座間村に真誠小学校、新田宿村に湘川小学校、栗原村に馴養小学校を置いた（4月9日）
- 明治28年 尋常馴養小学校のみを存し、他の3校を廃して尋常高等座間小学校を創立、新田宿に分教場を置いた（6月7日）。初代校長山口光太郎氏就任（12月18日）
- 明治33年 2代校長井上連作氏就任（11月19日）
- 明治45年 3代校長小島常吉氏就任（2月29日）
- 大正 5年 4代校長篠崎太一氏就任（3月31日）
- 大正 7年 5代校長笠間義治氏就任（8月31日）
- 大正10年 6代校長安西義一氏就任（3月31日）
- 大正11年 尋常栗原小学校を合併し、旧栗原小学校を分教場とした（3月31日）
- 大正12年 尋常高等座間小学校を座間尋常高等小学校と改称、栗原分教場の5年以上本校に通学校舎狭隘のため2・3学年は2部教授を実施（4月1日）
- 大正13年 7代校長杉崎正義氏就任（3月31日）
- 大正15年 8代校長仙波乗正氏就任（6月30日）
- 昭和13年 9代校長池田初蔵氏就任（8月31日）
- 昭和15年 10代校長杉崎正義氏就任（3月31日）
- 昭和16年 国民学校令が公布され座間国民学校となる（4月1日）。町制施行により相模原座間国民学校と改称（4月29日）
- 昭和18年 11代校長小方仙太郎氏就任（9月10日）
- 昭和23年 相模原町からの分町に伴い座間町立座間小学校と改称（9月1日）
- 昭和24年 12代校長加藤昌栄氏就任（6月10日）
- 昭和25年 栗原分教場の独立に伴い座間町立座間第一小学校と改称（4月25日）
- 昭和30年 創立60周年記念事業として校歌が制定された（11月23日）
- 昭和34年 13代校長押田福蔵氏就任（8月1日）
- 昭和35年 学校給食開始
- 昭和37年 座間第一小学校の分身校として座間第三小学校が新設された（4月1日）
- 昭和38年 14代校長関弥一氏就任（9月1日）
学校給食優良校として文部省、神奈川県教育委員会より表彰を受ける（9月26日）
- 昭和39年 第一校舎建設落成（12月）
- 昭和40年 健康優良校として神奈川県教育委員会、神奈川県学校保健連合会、朝日新聞社より表

- 彰を受ける（10月17日）
- 昭和41年 15代校長山田嘉茂氏就任（9月1日）
- 昭和42年 学校放送研究委嘱校として日本放送協会より感謝状を受ける（3月31日）
- 昭和43年 環境美化優良校として神奈川県教育委員会より表彰を受ける（2月24日）
- 昭和45年 16代校長飯島和治氏就任（9月1日）
- 昭和46年 市制施行により座間町立座間第一小学校を座間市立座間第一小学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 17代校長塩脇文氏就任（9月1日）
- 昭和48年 座間市立座間第一小学校を座間市立座間小学校と改称（4月1日）
- 昭和50年 創立80周年記念事業として教育史料館が建設された
- 昭和51年 18代校長石井輝男氏就任（9月1日）
- 昭和53年 座間市立座間小学校の分身校として、座間市立入谷小学校が新設された（4月4日）
- 19代校長萩原達夫氏就任（9月1日）
- 昭和55年 20代校長佐藤利孝氏就任（9月1日）
- 昭和58年 21代校長伊東行雄氏就任（9月1日）
- 昭和60年 創立90周年記念事業として飼育小屋が建設された
- 昭和61年 22代校長小畑玄功氏就任（4月1日）
- 運動場の改修（盛土・排水工事）が行われた（7月～8月）
- 平成 元年 23代校長嶋村與四松氏就任（4月1日）
- 第一校舎外装工事施工（8月）
- 平成 2年 第一校舎屋上改修工事施工（4月）
- 給食室周囲工事施工（7月）
- 平成 4年 24代校長大谷之彦氏就任（4月1日）
- 学校施設開放教室設置（第一校舎）（7月）
- 市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）となる。
- 平成 5年 第一校舎外壁改修工事（7月～8月）
- テレビ取替え工事。市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）として研究発表会開催（11月30日）
- 平成 7年 25代校長金子功雄氏就任（4月1日）
- 創立100周年記念式典挙行。記念事業として、記念碑建立・記念音楽会開催・記念誌発行（10月28日）
- 平成 8年 給食室屋根改修工事（7月）
- 体育館外壁及び屋根改修工事（7月～8月）
- 消火栓・警報機改修工事（7月～8月）
- 第三校舎屋上防水工事（8月～9月）
- 平成 9年 26代校長河合寛行氏就任（4月1日）
- 平成10年 「PTA発足50周年を語る会」開催。歴代PTA会長・校長参加（5月16日）
- 1号棟耐震工事並びにトイレ改修工事（7・8月）
- 平成11年 米軍厚木基地に勤務されている米国人の保護者を中心とした人たちのボランティア活

- 動により、タイヤ跳び・回旋塔・防玉ネット・渡り廊下の壁面等の修理・設置等が行われた（２月～４月）
- ２号棟耐震工事並びにトイレ・理科室改修工事（７月～９月）
- 「座間幼年会に学ぼう」をテーマにＰＴＡとの共催で懇話会を開催。出席者は、初代ＰＴＡ会長井上治夫氏始め、パネラー６名（１０月１９日）
- 平成１２年 ボランティア活動により鶏小屋の金網張替え（６月１７日）
- ２７代校長印牧勲氏就任（４月１日）
- 平成１３年 ボランティア活動により鶏小屋のトタンの張替え（６月３０日）
- １号棟１階２教室及び２階３教室の改修工事、２号棟２階パソコン設置工事（７～８月）
- 校内研究発表会「２１世紀に生きる心豊かな人間の育成～地域に根ざした総合的な学習の実践～」（１１月２２日）
- 平成１４年 ３号棟耐震工事並びにトイレ改修工事（６月～１０月）
- 平成１５年 ２８代校長石附富美夫氏就任（４月１日）
- 平成１６年 ＰＴＡの協力により第１校舎３階教室の後方掲示板の整備（７月２５日）
- 平成１７年 座間市小学校教育研究会主催の研究発表会で、「総合的な学習の時間」の研究発表（２月１６日）
- ２９代校長日野孝一氏就任（４月１日）
- ＰＴＡの協力により第２校舎３階教室の後方掲示板の設置（７月１７日）
- 第１回「ざまっ子まつり」開催（１１月２０日）
- 平成１８年 体育館耐震工事、第２校舎屋上雨漏り防止工事、第一校舎教室・屋上で入り口天井アスベスト除去の３工事施工
- 平成１９年 ＰＴＡ成人講座「座間の宝物・幼年会を知っていますか」を開催（２月２２日）
- 座間市教育課程研究推進校として、総合的な学習の時間の研究発表（１１月２日）
- 平成２０年 安心・安全掲示板の設置（５月）
- ＰＴＡ総会にて米作り３１年目、指導者 鈴木彰氏表彰
- 平成２１年 ３０代校長島田克己氏就任（４月１日）
- 平成２２年 座間小学校教育研究会主催の研究発表会で、研究テーマ「２１世紀に生きる心豊かな人間の育成」で研究発表（２月１０日）
- 平成２３年 学校銘板書き換え（８月）
- 座間市教育課程等研究推進校として国語科の研究発表（１１月２２日）
- 平成２４年 ３１代校長唐木田正富氏就任（４月１日）
- 第１校舎、消火管漏水修繕のための工事が行われる
- 平成２５年 肢体不自由学級（つばめ）設置（４月）
- 通級指導教室設置（４月）
- 普通教室等空調整備工事（６月～８月）
- 平成２６年 第３校舎外壁改修工事及び屋上防水工事が行われる
- 平成２７年 ＰＴＡベルマークセメダインキャンペーン全国第１位（３月３日）
- 病弱虚弱学級「ふたば」設置（９月２６日）

創立120周年記念式典を挙行し記念誌を発行（10月31日）
 平成28年 32代校長日向野亨氏就任（4月1日）
 国際級設置（4月1日）
 第2校舎、第3校舎、体育館の外壁改修工事開始（7月）
 第2校舎、第3校舎、体育館の外壁改修工事完了（9月）
 平成31年 33代校長小宮美紀氏就任（4月1日）

栗原小学校

昭和25年 座間小学校より独立し、座間第二小学校として開校
 児童数430名、学級数11
 栗原学校の校舎を移築し講堂として使用（5月）
 初代校長古矢哲太郎氏就任（8月31日）
 昭和33年 2代校長清水正之氏就任（7月1日）
 昭和34年 県教育委員会の研究委嘱校として理科教育の研究発表会開催（2月6日）
 昭和35年 創立10周年記念事業として校旗を作成し校歌を制定（5月1日）
 昭和36年 鼓笛隊創立（9月30日）
 昭和37年 座間第三小学校の開校に伴い、学区の一部を分離（4月1日）。
 3代校長青木金弥氏就任（9月1日）
 栗原学校創立100周年記念事業として「栗原の歴史を語る」を発刊（11月15日）
 昭和38年 学校給食開始
 昭和42年 南校舎竣工（3月）
 4代校長塩脇文氏就任（9月2日）
 体育館竣工（11月）
 昭和45年 北校舎竣工（3月）
 学区の一部が相武台東小学校として開校（4月）
 昭和46年 市制施行により座間市立座間第二小学校となる（4月1日）
 昭和47年 5代校長石井輝男氏就任（9月1日）
 昭和48年 県教育委員会より交通安全優良校として表彰される（4月1日）
 座間市立栗原小学校と改称。学区の一部が東原小学校として開校（4月1日）
 昭和51年 6代校長山崎蕃氏就任（9月1日）
 昭和52年 学区の一部が座間市立立野台小学校として開校（4月1日）
 昭和54年 7代校長大塚昇氏就任（9月1日）
 昭和55年 創立30周年記念事業として、史料室設置。「栗原の歴史を語る」再刊（5月1日）
 昭和59年 県社会福祉研究普及校として研究発表会開催（2月22日）
 給食調理室新築完成（3月1日）
 8代校長嶋津豊氏就任（4月1日）
 学区の一部が座間市立中原小学校として開校（4月1日）
 北校舎屋上改修工事完了（9月）
 昭和61年 南校舎屋上工事完了（9月）

- 昭和62年 9代校長諸節秀夫氏就任（4月1日）
- 昭和63年 南校舎外装工事完了（8月）
- 平成元年 北校舎外装工事完了（8月）
- 平成2年 10代校長西野達雄氏就任（4月1日）
- 平成4年 県学校運営のありかた等研究実践校として研究発表会開催（2月21日）
- 平成5年 県学校運営のありかた等研究実践校として研究発表会開催（2月16日）
11代校長宇佐正昭氏就任（4月1日）
- 平成6年 学校運営のありかた等研究実践校3年目として「社会の変化に対応し得る新たな教育活動をめざして」をテーマに研究発表会を開催（2月4日）
- 平成7年 「児童が意欲的に学び基礎的な力をつける算数指導～教材・教具の工夫～」をテーマに研究に着手（4月17日）
- 平成8年 国際交流教育実践研究校の委託を受け1年目の研究に着手
- 平成9年 第1号棟1階西側トイレ改修、併せて昇降口に車椅子の通路を整備（3月4日）
12代校長大谷徹氏就任（4月1日）。第2棟1・2階のトイレの改修（10月20日）
- 平成11年 国際交流教育については継続して「ふれあい教育」で推進。算数科の研究（校内研究）5年目に着手
体育館床の一部張替え（8月25日）
保健室空調設備完備（9月24日）
第1号棟耐震工事完了
- 平成12年 市小学校教育研究会で校内研究発表（2月）
「人間性豊かで自立できる子の育成ー生活科・総合的な学習の実践を通してー」を研究テーマとして生活科・総合的な学習の研究に着手（～13年度の2年間）
第2号棟耐震工事完了（8月29日）
創立50周年記念式典開催（10月28日）
- 平成13年 生活科・総合的な学習の校内研究2年目に着手
南校舎屋上防水工事完了（9月28日）
PC教室開設（11月1日）
- 平成14年 門扉改修工事（4箇所）完了（3月1日）
13代校長宅間二郎氏就任（4月1日）
座間市教育課程等研究推進校に指定される（14、15年度）
生活科・総合的な学習の時間研究（テーマ：人間性豊かで自立できる子の育成）（4月）
屋外便所及び体育器具庫改修工事着手（5月）
公共下水道接続工事（第1期）着手（6月）
- 平成15年 バリアフリー工事（玄関）、公共下水道接続工事（第2期）、温度保持除湿防音工事着手（7月）
座間市教育課程等研究推進校としてテーマ「人間性豊かで自立できる子の育成」の研究発表会を開催（11月28日）
- 平成16年 14代校長亀岡初雄氏就任（4月1日）
バリアフリー工事（体育館への渡り廊下）（8月）

	温度保持除湿防音工事完成（9月）
平成17年	15代校長三浦博昭氏就任（4月1日） 座間市小学校教育研究発表会にて「生活科・総合的な学習の時間の研究：人間性豊かで自立のできる子の育成」の研究発表 国語科校内研究に着手
平成18年	1号棟西側トイレ改修工事（7月～8月）
平成19年	16代校長平野昭雄氏就任（4月1日） 体育館耐震補強工事（6月～8月） 1号棟西側トイレ改修工事（7月～8月） 特別支援学級・情緒障害級（わかば級）開設 国際教室開設
平成20年	座間市教育課程等研究推進委託校（1年目） 2号棟に栗原児童ホーム開設（4月） 1号棟東側トイレ改修工事（7～8月）
平成21年	国語科校内研究（5年目） 座間市教育課程等研究推進委託校（2年目） 座間市教育課程等研究推進委託校研究発表会（11月）
平成22年	17代校長平本岳男氏就任（4月1日） 創立60周年記念航空写真（5月）
平成23年	座間市小学校教育研究会にて研究発表会（2月） 2号棟外壁工事及び屋上防水工事（7～8月）
平成24年	1号棟屋上防水工事（7～9月）
平成25年	体育館床工事（7月～9月）
平成26年	18代校長山近佐知子氏就任（4月1日）
平成27年	教室ロッカー清掃用具入れ改修工事（7月～8月）
平成28年	座間市教育課程等研究推進委託校研究発表会（11月）
平成29年	19代校長直井恵子氏就任（4月1日）
平成30年	特別支援学級・肢体不自由級（どんぐり級）開設
令和元年	座間市姉妹都市アメリカテネシー州スマーナ市 市長他派遣団来校（5月）

< 参 考 >

文久 2年	栗原小学校の前身である郷学校「誠志館」が大矢弥市氏、弥七氏兄弟の尽力により大矢弥市氏の南屋敷内に開設
明治 2年	「誠志館」を廃し「協同学舎」と改称
明治 6年	学制発布にともない公立学校として「協同学舎」として発足
明治 7年	「協同学舎」を「栗原学校」と改称
明治12年	5間×8間垂鉛引き鉄板葺二階建洋風校舎竣工（現専福寺境内）
明治20年	教育令の改正により尋常訓養小学校と改称
明治40年	小学校令改正により栗原小学校と改称
大正11年	座間小学校に統合され栗原分教場となる。

相模野小学校

- 昭和37年 座間第一小学校、座間第二小学校より独立、座間中学校体育館を間仕切りし仮校舎とし、座間第三小学校として開校
児童数340名、学級数8
初代校長飯島和治氏就任（4月1日）
新校舎竣工、現在地に移転、校旗作成、校歌制定（11月25日）
- 昭和38年 学校給食開始（2月25日）
- 昭和39年 県交通安全協会より交通安全指導優良校として感謝状を受ける（9月21日）
県教育委員会より交通安全優良校として表彰される（12月25日）
- 昭和40年 新館（第2棟）竣工（12月23日）
- 昭和42年 体育館竣工
- 昭和43年 県教育委員会の指定による算数研究発表会開催（2月）
- 昭和45年 相武台東小学校分離独立（4月1日）
2代校長山崎蕃氏就任（9月1日）
- 昭和46年 交通安全教育校として研究発表会開催（10月）
市制施行に伴い座間市立座間第三小学校と改称（11月1日）
- 昭和48年 座間市立相模野小学校と改称（4月1日）
3代校長石川重利氏就任（4月1日）
- 昭和51年 相模が丘小学校分離独立
4代校長萩原達夫氏就任
言語学級を設置（4月1日）
- 昭和53年 5代校長波多野良子氏就任（9月1日）
- 昭和55年 旭小学校分離独立（4月1日）
- 昭和56年 6代校長斎藤憲一氏就任（9月1日）
創立20周年記念式典を挙げる（11月25日）
- 昭和59年 7代校長澤田安夫氏就任（4月1日）
- 昭和61年 8代校長麻生恂氏就任（4月1日）
創立25周年記念事業として、航空写真撮影（11月11日）
市教育委員会指定国語科研究発表会開催（12月2日）
- 平成 元年 9代校長外山勉氏就任（4月1日）
- 平成 3年 創立30周年記念式典を挙げる（10月19日）
- 平成 4年 10代校長小野優氏就任（4月1日）
- 平成 5年 市教育委員会より理科の研究指定を受ける（4月1日）
- 平成 6年 理科・生活科研究発表会（11月16日）
- 平成 7年 11代校長片寄勝恵氏就任（4月1日）
- 平成 8年 県ボランティア協力校（～3年間）（4月1日）
- 平成 9年 県教育委員会より、いじめ問題研究推進校の指定を受ける（4月1日）
- 平成10年 12代校長宮地春雄氏就任（4月1日）
- 平成11年 市教育委員会より国際交流教育実践研究の委託を受ける（4月1日）

- 平成12年 市教育委員会より教育課程等研究推進校（生活科・総合的な学習）として委託を受ける（～12年度）
- 平成12年 校舎温度保持除湿防音工事（～13年）
- 平成13年 13代校長青木千津子氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等推進校として、生活科・総合的な学習研究発表会の開催（10月31日）
- 平成15年 座間市情報教育推進事業の委託を受ける。
- 平成16年 テディベアプロジェクトに参加
- 平成17年 14代校長福田耕児氏就任（4月1日）
- 平成18年 市教育委員会より教育課程等研究推進校（生活科・総合的な学習）として委託を受ける（～19年）
- 平成19年 屋内運動場耐震補強及び改修工事（6月～12月）
- 平成20年 下水道接続工事及び外トイレ改修工事（6月～10月）
- 平成21年 15代校長吉川俊彦氏就任（4月1日）
学校名札書き換え（金子教育長書）（8月）
本館トイレ改修工事（6月～8月）
50インチテレビ全教室に配置（12月）
- 平成22年 新館児童昇降口改修工事（2月）
本館東側階段手すり増設工事（8月）
池の改修工事（8月）
- 平成23年 市教育委員会より教育課程等研究推進校（ICTの活用）として受託（24年まで）
創立50周年記念式典（10月29日）
- 平成24年 市教育委員会教育課程等研究推進校として、研究発表会の開催（11月22日）
- 平成25年 16代校長木島弘氏就任（4月1日）
- 平成27年 17代校長橋本武氏就任（4月1日）
- 平成28年 市教育委員会より教育課程等研究推進校として受託（29年まで）
- 平成29年 市教育委員会教育課程等研究推進校として、研究発表会の開催（1月18日）
- 平成31年 18代校長山手温子氏就任（4月1日）

相武台東小学校

- 昭和45年 座間第三小学校より独立
座間第三小学校の校舎の一部を仮校舎とし、座間町立相武台東小学校として開校
児童数620名、学級数18
初代校長和田泰比古氏就任（4月1日）
- 昭和46年 校舎竣工、校旗作成、校歌制定（3月4日）
現在地に移転（3月6～7日）
市制施行に伴い座間市立相武台東小学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 第二校舎竣工（3月15日）
2代校長大館鎮夫氏就任（4月1日）

昭和48年	体育館竣工（2月28日）
昭和49年	県教育委員会指定交通安全教育研究発表会開催（2月18日）
昭和50年	交通安全子ども自転車大会にて優勝（6月22日）
昭和51年	第18回交通安全国民運動大会にて全日本交通安全協会より表彰（1月20日） 第2号棟増築工事竣工（3月25日） 3代校長頼住権平氏就任（9月1日）
昭和54年	4代校長伊東行雄氏就任（9月1日）
昭和55年	開校10周年記念式典（3月5日）
昭和58年	5代校長三矢智光氏就任（9月1日） 算数科「数と計算」の領域を通して市の推進校として発表会開催（11月14日）
昭和61年	6代校長嶋村與四松氏就任（4月1日）
昭和62年	体育科「基本の運動・器械運動」の領域を通して市の推進校として発表会開催（11月25日）
平成 元年	7代校長石川稔氏就任（4月1日） アスベスト完全撤去工事、第2棟暖房機交換（8月）
平成 2年	開校20周年記念式典を挙行、記念事業として和室を設置（3月5日） 第1号棟出入口鋼製建具・屋上防水・外壁・屋上手摺及び屋内運動場照明改修工事（8月）
平成 3年	8代校長石村恭子氏就任（4月1日）
平成 4年	第2号棟出入口鋼製建具・屋上防水及び手摺・外壁改修工事（8月）
平成 7年	9代校長若林重一氏就任（4月1日）。体育館屋根塗装工事（8月）
平成 8年	第1・2号棟上水道配管更生（8月）
平成10年	10代校長牧野征太郎氏就任（4月1日） 市教育委員会教育課程等研究推進校（国語）の委託を受ける（～11年度）
平成11年	市教育委員会教育課程等研究推進校として国語科研究発表会の開催（12月3日）
平成12年	第1号棟耐震補強工事及び便所改修工事（8月）
平成13年	第2号棟耐震補強工事及び便所改修工事（8月） 耐震性貯水槽（飲料水兼用）設置工事（11月～3月） 国際交流教育実践研究の委託を受ける（～14年度）
平成14年	11代校長小林義幸氏就任（4月1日） 1号棟昇降口嵩上げ工事（8月）
平成16年	市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける。 心の通い合う学びを求めて、生活科・総合的な学習の時間を中心に、テーマ「心情豊かに生き生きと活動する子の育成」 2号棟昇降口嵩上げ工事（8月）
平成17年	体育館ライン引き作業（7月） 第1号棟配膳室他改修工事（8月） 市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表会（生活科・総合的な学習の時間）の開催（11月22日）

- 平成18年 12代校長砂田有三氏就任（4月1日）
- 平成20年 特別支援学級（情緒級）を新設（4月1日）
- 平成21年 13代校長黒川裕行氏就任（4月1日）
屋外便所改築及び公共下水道接続工事（5月～12月）
- 平成22年 学校IT化事業により校内LAN、電子黒板、教員用PC、大型テレビ等整備（3月）
市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける（4月）
家庭科室改修工事（2月～5月）
- 平成23年 用務員室改修工事（8月）
市教育課程等推進校として研究発表会の開催（11月11日）
- 平成24年 14代校長小井田由美子氏就任（4月1日）
- 平成25年 弱視級「なのはな」級開設（4月）
情緒級名称変更 「たんぼぼ③」級→「つくし」級（4月）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 体育館外壁工事・職員トイレ改修工事（7月）
- 平成27年 1号棟国情防水工事 校庭東側法面地盤調査
- 平成28年 第15代校長金子憲勝氏就任（4月1日）
肢体不自由級「れんげ級」開設（4月）
国際級開設（4月）
- 平成29年 市教育委員会教育課程等研究推進校の指定を受ける（4月）
「心豊かに生き生きと活動する子を目指して」～学び合うことを中心に～
東側法面保護工事
- 平成30年 市教育委員会教育課程研究推進校として研究発表会（全領域）の開催（2月1日）
第2号棟外壁工事

ひばりが丘小学校

- 昭和46年 座間第二小学校より独立、座間第二小学校の校舎の一部を仮校舎とし、座間町立ひばりが丘小学校として開校
初代校長萩原達夫氏就任（4月1日）
児童数419名、学級数13（4月10日）
新校舎竣工落成、現在地に移転（8月31日）
市制施行に伴い座間市立ひばりが丘小学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 校歌制定（1月26日）。校旗作成（10月28日）
- 昭和48年 県教育委員会より環境美化優良校として表彰（12月1日）
- 昭和49年 北校舎及び体育館竣工（3月25日）
- 昭和51年 県教育委員会指定学校保健研究発表会開催（2月19日）
北校舎増築竣工（3月25日）
2代校長佐藤利孝氏就任（4月1日）
県学校保健・健康優良校として表彰（12月1日）
- 昭和52年 良い歯の学校として県表彰（10月19日）

- 昭和学校保健・健康優良校として表彰（11月22日）
- 昭和53年 ひばり学級（特殊学級）を新設（4月1日）
- 昭和学校保健・県健康優良校として表彰（11月21日）
- 昭和54年 全日本健康優良校県代表として、朝日新聞、文部省、厚生省より表彰（11月3日）
- 昭和55年 3代校長藤野建造氏就任（9月1日）
- 創立10周年記念式典
- 昭和57年 県健康教育研究発表会（11月12日）
- 昭和59年 県学校給食優良校表彰（1月24日）
- 4代校長福田範子氏就任（4月1日）
- 昭和60年 県教育委員会教育課程研究推進校並びに市教育課程等研究推進校・道徳教育研究発表会（11月22日）
- 昭和63年 5代校長和田重雄氏就任（4月1日）
- 平成2年 市教育委員会教育課程等研究推進校・道徳教育研究中間発表会（3月2日）
- 市教育委員会教育課程研究推進校・道徳教育研究発表会（11月20日）
- 平成3年 6代校長日高悦夫氏就任（4月1日）
- 平成5年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（一次）
- 平成6年 7代校長庄子正彦氏就任（4月1日）
- 平成7年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（二次）
- 平成8年 市教育委員会教育課程等研究推進校・全領域を受ける。
- 平成9年 市教育委員会教育課程等研究推進校・研究発表会「全領域」（11月28日）
- 平成10年 8代校長片寄勝恵氏就任（4月1日）
- 東中学校区道徳実践活動推進事業に参加（～12年度）
- 平成12年 創立30周年記念こども音楽会を開催（11月10日）
- 平成13年 市教育委員会教育課程等研究推進校として「自ら学び行動する子の育成～総合的な学習の研究を通して～」を研究（～14年度）
- 耐震補強工事（南棟）
- 平成14年 9代校長大谷徹氏就任（4月1日）
- 市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表会「総合的な学習の時間」（2月7日）
- 耐震補強及び便所改修工事（北棟）
- 平成15年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（一次）
- 平成16年 市教育委員会より国際交流教育実践研究校の委託を受ける（二次）
- 平成17年 10代校長若山正治氏就任（4月1日）
- 平成18年 子ども読書活動推進モデル地区校の指定を受ける。
- 学校コンサルテーション事業に参加
- 平成19年 市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（～20年度）
- 学校コンサルテーション事業に参加
- 平成20年 ひばり憩いの広場完成（7月）
- 市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表会「国語科」（11月21日）
- 平成21年 11代校長尾崎幸利氏就任（4月1日）

- 屋内体育館耐震補強工事（7月～）
- 平成22年 北棟家庭科室改修工事（2月～6月）
屋内体育館耐震補強工事（～8月）
南棟外壁改修工事（7月～9月）
創立40周年記念航空写真撮影（10月）
- 平成24年 市小研研究発表会において研究実践発表（2月8日）
12代校長八木正純氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校として「自ら学び行動する子の育成～聴いて、考えて、つなげる授業づくり～」を研究（～25年度）
国際教室新設（4月）
- 平成25年 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 日産財団理科教育助成を受け「自ら学び行動する子の育成～理科・生活科を通して～」を研究（1月～平成27年12月）
市教育委員会教育課程等研究推進校研究発表（2月14日）
- 平成27年 南棟屋上防水改修工事（6月～9月）
- 平成28年 13代校長有川正則氏就任（4月1日）
- 平成29年 南棟給水管修理工事中断（8月）
北棟屋上防水改修工事（3月工事終了）
- 平成30年 座間市小学校教育研究会発表（2月）
職員玄関ドア改修工事（3月工事終了）
- 平成30年 平成30・31年度市教育委員会教育課程等研究推進校「全領域」の研究委託を受ける。（4月1日）
南棟給水管修理工事（8月工事終了）
- 平成31年 14代校長鍛代哲也氏就任（4月1日）

東原小学校

- 昭和48年 栗原小学校より独立、座間市立東原小学校として開校
児童数548名、学級数16
初代校長山崎蕃氏就任（4月1日）
校旗作成（10月7日）
座間市より東原児童会表彰（11月3日）
- 昭和49年 県教育委員会の学校放送モニター校となる（4月1日）
- 昭和51年 体育館竣工（2月13日）。校歌制定（3月10日）
県教育委員会より特別活動研究指定校（4月1日）
2代校長大館鎮夫氏就任（9月1日）
- 昭和53年 座間地区交通安全優良校として表彰（1月23日）
- 昭和54年 県学校給食優良校として表彰（1月23日）
県交通安全優良校として表彰（2月6日）
3代校長斎藤憲一氏就任（9月1日）

昭和55年 第2号棟校舎竣工（4月1日）

昭和56年 4代校長嶋津豊氏就任（9月1日）

昭和57年 県・市社会福祉研究普及校となる（4月1日）
開校10周年記念式典（11月9日）

昭和59年 5代校長加藤一夫氏就任（4月1日）

平成元年 6代校長大谷之彦氏就任（4月1日）

平成2年 県社会福祉協議会のボランティア協力校となる（4月1日）

平成4年 7代校長外山勉氏就任（4月1日）
開校20周年記念式典（10月31日）

平成8年 8代校長笠井武彦氏就任（4月1日）

平成10年 平成10・11年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）
校地外周フェンス改修工事（8月）

平成11年 体育館床面の改修工事、第1棟外壁改修工事（8月）
市教育課程等推進校として「児童指導」に関する研究を発表（11月26日）

平成12年 9代校長宇佐正昭氏就任（4月1日）

平成13年 第1号棟耐震補強工事（7～8月）

平成14年 創立30周年記念祭（10月26日）

平成15年 10代校長浅田マリ子氏就任（4月1日）

平成16年 県教育委員会「子どもキラキラタイム」実践研究拠点校指定（4月）
「子どもと親の相談員」配置（7月1日）

平成18年 11代校長石原朗宏氏就任（4月1日）

平成19年 平成19・20年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）

平成20年 市教育委員会教育課程等研究推進校「生活科総合的な学習の時間」研究発表会（11月28日）

平成22年 12代校長西山正成氏就任（4月1日）
体育館耐震工事・第2棟トイレ改修工事・第1棟事務室・相談室新設工事（8月）
地上波デジタル工事（8月）

平成24年 13代校長黒川裕行氏就任（4月1日）
平成24・25年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）

平成25年 市小学校教育研究所にて、研究発表（2月13日）

平成26年 市教育委員会教育課程等研究推進校「表現する力を育てる国語科の指導」研究発表会（1月24日）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）

平成27年 14代校長有山周一氏就任（4月1日）
第2号棟外壁補修・塗装工事（7月～9月）

平成28年 第1号棟屋上防水工事（7～8月）

平成29年 平成29・30年度市教育委員会教育課程等研究推進校となる（4月1日）

平成30年 市教育委員会教育課程等研究推進校「たくましく 心豊かに生きる子の育成」
～考え、学び合う道徳の授業を目指して～研究発表会（11月15日）

平成31年 座間市小学校教育研究会発表（2月）
15代校長大谷一氏就任（4月1日）

相模が丘小学校

昭和51年 設置
初代校長石川重利氏就任、校旗作成（4月1日）
開校式 鹿野市長宣言、児童数1,078名、学級数28、職員数45名（4月2日）
開校記念日を10月19日と制定（7月20日）
校歌制定（12月6日）

昭和52年 鼓笛隊編成（9月1日）

昭和53年 体育館竣工（2月25日）

昭和54年 県教育委員会実験校及び市教育委員会研究指定校として「児童指導」の中間研究発表
（2月28日）
児童指導の研究により学研教育賞受賞（11月17日）

昭和55年 県教育委員会より学校給食優良校として表彰（1月24日）
県教育委員会実験校及び市教育委員会研究指定校として「児童指導」の研究を発表（2
月5日）
学校給食優良校として文部大臣より表彰（10月30日）

昭和56年 2代校長波多野良子氏就任（9月1日）

昭和59年 市教育委員会研究推進校として「児童指導」による研究の中間発表（2月27日）
3代校長川口博氏就任（4月1日）

昭和60年 市教育委員会研究推進校として「児童指導」の研究を発表（2月14日）

昭和61年 開校10周年記念式典挙行（10月19日）

昭和63年 4代校長藤野建造氏就任（4月1日）

平成 元年 県視聴覚・放送教育合同研究大会の授業公開（11月17日）

平成 3年 県教育委員会推薦校及び市教育委員会研究推進校として研究を発表（11月14日）

平成 5年 5代校長中島七海雄氏就任（4月1日）

平成 8年 6代校長牧野征太郎氏就任（4月1日）

平成10年 7代校長庄子正彦氏就任（4月1日）

平成11年 市教育委員会教育課程等研究推進校（～12年度の2年間）

平成12年 ミレニアム2000年記念全校児童教職員集合写真航空写真の撮影（2月23日）
市教育委員会教育課程等研究推進校「生活科・総合的な学習の時間」研究発表会（1
1月22日）

平成13年 8代校長藤井正巳氏就任（4月1日）
C棟1階教材室、PC教室改造工事（7～8月）

平成14年 「生活科・総合的な学習の時間」の保護者・地域への公开发表（11月9日）

平成15年 全校舎耐震補強工事及びC棟トイレ改修工事（7～8月）
「生活科・総合的な学習の時間」の保護者・地域への公開授業（10月25日）
（神奈川県教育委員会各種教育課題研究委託校）

- 平成16年 9代校長進士隆行氏就任（4月1日）
B棟「トイレ改修工事」（9月末日まで）
座間市教育委員会教育課程等研究推進校受託（平成16・17年度）
「生活科・総合的な学習の時間」の公開授業（平成16・17年度）地域への発信
- 平成17年 開校30周年記念航空写真「かがやけ」撮影（5月10日）
A棟並びに職員「トイレ改修工事」（7月末～8月末）。開校30周年記念式典・記念音楽会（10月18日）
「生活科・総合的な学習の時間」の公開授業（11月5日）
- 平成18年 座間市教育課程等研究推進校「生活科・総合的な学習の時間」研究発表（2月10日）
座間市教育課程等研究推進校委託校終了（3月31日）
プラネタリウム内機器修繕（10月5日）
- 平成19年 10代校長三浦博昭氏就任（4月1日）
- 平成20年 座間市小学校教育研究会発表「豊かに感じ自ら学ぶ子の育成をめざして」～一人ひとりの児童に寄り添う活動を通して～（全域）
神奈川県公立学校学力向上研究委託（平成20年度）（4月1日）
体育館耐震改修工事（7月から12月）
- 平成22年 体育館床改修工事（7月から8月）
- 平成24年 11代校長齋藤征志氏就任（4月1日）
- 平成25年 座間市小学校教育研究会発表「豊かに感じ自ら学ぶ子の育成をめざして」～一人ひとりの児童に寄り添うことを通して～（全域）（2月13日）
家庭科室ガス配管改修工事（11月～12月）
- 平成26年 防災用地下貯水槽遮断弁取換工事（2～3月）
12代校長有川正則氏就任（4月1日）
市教育課程等研究推進委託校（1年目）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
A棟屋上防水工事（12月～3月）
- 平成27年 市教育課程等研究委託校（2年目）
- 平成28年 座間市教育課程等研究推進校「豊かに感じ、自ら学ぶ子の育成をめざして」～子どもたちの言葉と心をつなぐ授業作りを通して～研究発表（1月29日）
駐車場改修工事（3月末まで）
- 平成28年 13代校長宮下美江子氏就任（4月1日）
- 平成29年 平成29年度道徳実践研究協力校（国立教育政策研究所事業）
プラネタリウム機械修繕
うさぎ小屋改修工事
- 平成30年 平成30年度道徳実践研究協力校（国立教育政策研究所事業）
- 平成31年 情緒通級指導教室開設（4月）
平成31年度実践研究協力校（国立教育政策研究所事業）
平成31年度道徳教育抜本的改善・充実に係る支援事業
平成31年度インクルーシブ教育校内支援体制整備事業

立野台小学校

- 昭和52年 栗原小学校より独立し、座間市立立野台小学校として開校、学級数24
初代校長嶋津豊氏就任（4月1日）
開校式（4月4日）
- 昭和53年 校旗作成・校歌制定（3月1日）
開校記念日を5月4日と制定（3月3日）
- 昭和54年 屋内運動場落成（1月31日）
昭和54年度学園緑化の指定校となる。
- 昭和55年 昭和55・56年度県教育委員会教育課程研究推進校及び同市教育委員会教育課程等
研究推進校（国語科教育）となる（4月5日）
- 昭和56年 県・市教育課程研究推進校として国語科教育の中間発表（2月10日）
2代校長石川重利氏就任（9月1日）
- 昭和57年 県・市教育課程研究推進校として国語科教育の研究発表（1月28日）
- 昭和59年 3代校長和田重雄氏就任
学区の一部が中原小学校として開校、児童240名移籍（4月1日）
- 昭和61年 開校10周年記念式典（11月1日）
- 昭和63年 4代校長川口博氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程研究推進校図画工作科教育の指定（4月5日）
- 平成2年 市教育委員会教育課程研究推進校図画工作科教育の研究発表（2月8日）
5代校長井上收一氏就任（4月1日）
- 平成4年 6代校長柴田豊氏就任（4月1日）
平成4・5年度市国際交流教育実践研究校の指定（4月5日）
開校記念日を6月1日に変更（12月15日）
- 平成5年 市小学校教育研究会において図画工作の研究発表（2月12日）
7代校長金子功雄氏就任（4月1日）
- 平成7年 8代校長宮地春雄氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程研究推進校として図画工作科教育の指定（4月5日）
- 平成8年 市教育委員会教育課程研究推進校として図画工作科教育の研究発表（11月28日）
- 平成9年 市小学校教育研究会において図画工作科の研究発表（2月12日）
指定緑化事業による植栽（10種・60本）（11月）
- 平成10年 9代校長藤井正巳氏就任（4月1日）
- 平成13年 10代校長庄子正彦氏就任（4月1日）
- 平成14年 平成13・14年度市教育課程等研究推進校として総合的な学習の時間・生活科の研究
発表（11月22日）
- 平成15年 市小学校教育研究会において総合生活科の研究発表（2月19日）
平成15・16年度市国際交流教育実践研究委託校（4月5日）
校舎東側耐震補強工事（8月）
- 平成16年 11代校長宅間二郎氏就任（4月1日）

	校舎西側耐震補強工事及び便所改修工事（8月）
平成17年	1Fに児童ホーム開所（5月） 主要地方道路県道42号藤沢座間厚木線拡幅工事に伴う2F玄関扉改修工事（8月）
平成18年	北門改修工事（8月）
平成19年	12代校長八木正純氏就任（4月1日）
平成21年	平成21・22年度市教育委員会教育課程研究推進校として理科・生活科教育の指定 （4月5日）
平成23年	平成21・22年度教育課程研究推進校研究発表（理科・生活科）（2月4日） 体育館耐震工事（7月～2月） 第33回神奈川県小学校理科教育研究大会川東地区座間大会（12月2日）
平成24年	13代校長赤井諭氏就任（4月1日）
平成25年	市小学校教育研究会において理科・生活科の発表（2月19日）
平成26年	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	14代校長鈴木直人氏就任（4月1日） 校舎外壁工事（6月～10月）
平成28年	平成28・29年度市教育委員会教育課程研究推進校の指定
平成29年	15代校長山近佐知子氏就任（4月1日） 放課後子ども教室「たちの教室」開設（5月8日）
平成30年	平成28・29年度教育委員会教育課程研究発表（2月2日） 国際級開設（4月1日）

入谷小学校

昭和53年	座間小学校より独立し、座間市立入谷小学校として開校 児童数906名、学級数24 初代校長小畑玄功氏就任（4月1日） 校歌制定（12月21日）
昭和54年	校旗作成（3月22日） 体育館竣工（12月18日）
昭和56年	文部省、県教育委員会、市教育委員会推進校として、体力づくり研究発表会を開催（1 1月27日）
昭和57年	増築校舎完成（6教室、第2理科室）（2月16日）
昭和58年	2代校長佐藤利孝氏就任（9月1日）
昭和61年	3代校長熊谷省自氏就任（4月1日）
昭和62年	開校10周年記念式典（10月31日）
昭和63年	4代校長福田範子氏就任（4月1日）
平成元年	福祉教育研究発表会（11月28日）
平成3年	5代校長石川稔氏就任（4月1日）
平成4年	県教育委員会ふれあい教育実践推進校に委嘱される。
平成5年	県ボランティア協力校に委嘱される。

- 平成 6年 6代校長住谷繁氏就任（4月1日）
- 平成 9年 文部省及び市教育委員会の教育課程等研究推進校として、道徳教育研究発表会を開催（2月21日）
開校20周年を祝う会（6月6日）
- 平成11年 7代校長宇佐正昭氏就任（4月1日）
市教育委員会国際交流教育実践研究校の指定（～12年度）
- 平成12年 8代校長石附富美夫氏就任（4月1日）
- 平成13年 市教育委員会情報教育推進委託事業研究校の指定（～14年度）
- 平成15年 9代校長河野香代子氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校（～16年度）
- 平成16年 言語通級教室設置（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校として生活科・総合的な学習研究発表会開催（1月26日）
- 平成17年 特別支援教育推進研究協力校（県）
学校給食を生かした食育の推進事業協力校（県）（17・18年度）
- 平成19年 10代校長赤羽孝秀氏就任（4月1日）
学校給食を生かした地産地消推進事業協力校（県）
開校30周年記念式典（10月27日）
- 平成21年 情緒障害児学級設置（4月1日）
小学校外国語活動研究委託校（21年度）
市教育課程等研究推進委託校・外国語活動（22年度）
座間市善行章受章（環境委員会）
- 平成22年 11代校長平野昭雄氏就任（4月1日）
昇降口棟及び北棟外壁改修工事
- 平成23年 市教育委員会教育課程等研究推進校として、外国語活動研究発表会開催（1月28日）
肢体不自由児学級設置（4月1日）
学力把握実践研究協力校（文部科学省）（～2年間）
- 平成24年 体育館耐震補強工事完了
ざま学びづくり推進事業委託校
- 平成25年 学力把握実践研究協力校（文部科学省）（1年間）
- 平成26年 12代校長中木原利一氏就任（4月1日）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
かながわ子どもスマイルウェーブ地域フォーラム開催（11月）
校舎屋上防水改修工事（11月～3月）
- 平成27年 南棟外壁改修工事
- 平成28年 13代校長唐木田正富氏就任（4月1日）
市教育課程等研究推進委託校・防災教育（28～29年度）
南棟トイレ改修工事（7月～9月）
- 平成29年 開校40周年記念行事（5月16日）

北棟トイレ改修工事（7・8月）
平成30年 14代校長西川麻里子氏就任（4月1日）
平成31年 難聴児学級設置（4月1日）

旭小学校

昭和55年 ひばりが丘小学校の児童数増加のため、その分身校として座間市立旭小学校が設置された。
児童数817名（ひばりが丘小学校から524名、相模野小学校から157名が編入学）、学級数22
初代校長三矢智光氏就任（4月1日）
校旗作成（11月21日）

昭和56年 体育館竣工（1月30日）、校歌制定（3月16日）

昭和58年 2代校長小畑玄功氏就任（4月1日）

昭和59年 特殊学級（情緒障害）新設（4月1日）

昭和60年 市教育委員会教育課程等研究推進校、国語科（作文指導）研究発表会開催（1月31日）

昭和61年 3代校長飯塚若男氏就任（4月1日）

平成 元年 市教育委員会教育課程等研究推進校、図画工作科（絵画指導）研究発表会開催（2月2日）
創立10周年記念式典、正門脇に校歌石碑設置（11月11日）
4代校長大矢かつ氏就任（4月1日）

平成 2年 5代校長稲井由紀子氏就任（4月1日）

平成 4年 市教育委員会教育課程等研究推進校、図画工作科（絵画指導）研究発表会開催（12月1日）

平成 6年 6代校長大谷徹氏就任（4月1日）
平成6・7年度市教育委員会国際交流教育実践研究校の委託研究

平成 8年 市教育委員会教育課程等研究推進校（算数科）の委託研究（4月5日）

平成 9年 市教育課程等研究推進校、算数科「児童が意欲的に学習できる指導法の工夫」研究発表会開催（2月）
7代校長住谷繁氏就任（4月1日）

平成10年 算数科「児童が意欲的に学習できる指導法の工夫」市小学校教育研究会にて研究発表
文部省 座間市東中学校区道徳的实践活動推進事業委託協力校（～12年）

平成11年 特殊学級 あさひ級1組（知的）・あさひ級2組（情緒）となる。（4月1日）

平成12年 8代校長河合寛行氏就任（4月1日）

平成13年 国際交流教育実践研究委託校（4月1日）

平成14年 国際交流教育実践研究委託校（4月1日）
市教育課程等研究推進校～総合的な学習～（4月1日）

平成15年 9代校長印牧勲氏就任（4月1日）
座間市教育課程等研究推進校（総合的な学習）2年目

- 平成16年 総合的な学習「心豊かに生き生きと活動する生活科・総合的な学習の時間の創造」研究報告会（2月13日）
座間市小学校教育研究発表（2月18日）
10代校長藤井正巳氏就任（4月1日）
- 平成17年 平成17年度神奈川県食育推進事業受託校（4月）
平成17年度旭小学校耐震補強工事（7月）
- 平成18年 11代校長島田克己氏就任（4月1日）
平成18年度神奈川県食育推進事業受託校（4月）
- 平成19年 平成19年度神奈川県食育推進事業受託校（4月 最終年度）
- 平成20年 市教育委員会教育課程等研究推進校（道徳教育2年間）委託研究（4月）
- 平成21年 12代校長砂田有三氏就任（4月1日）
座間市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表
研究テーマ「豊かな心をもつ子の育成」
サブテーマ〈子どもとともに学び高め合う道徳の授業をめざして〉（11月）
- 平成22年 創立30周年記念航空写真撮影（6月）
- 平成23年 学校教育目標の改定（4月）
通級指導教室新設（4月）
- 平成24年 国際教室新設（4月）
- 平成25年 13代校長日向野亨氏就任（4月1日）
- 平成26年 特別支援学級あさひ級3組（知的）を増設（4月）
座間市教育課程等研究推進委託校（体育2年間）委託研究（4月）
普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成27年 特別支援学級あさひ級4組（情緒）を増設（4月）
座間市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表
体育科「豊かな心を持つ子の育成」
～運動の楽しさを大切にしながら豊かな心を育む体育指導～（11月）
- 平成28年 14代校長泉田裕氏就任（4月1日）
外壁塗装工事（8月）
- 平成29年 特別支援学級あさひ級4組（肢体不自由）を増設（4月）
- 平成30年 特別支援学級あさひ級5組（病弱・身体虚弱）を増設（4月）

中原小学校

- 昭和59年 座間市立中原小学校開校
学級数19（うち特学1）、児童数648名
初代校長藤野建造氏就任（4月1日）
開校祝賀運動会（5月1日）
- 昭和60年 県学園緑化指定校となり、藤棚及び庭園の造園（2月1日）
校歌制定及び発表、並びに校旗作成（3月2日）
開校記念日を5月7日に制定（3月25日）

- 昭和61年 神奈川新聞「わたしたちの学校」欄掲載（3月4日）
昭和61・62年度県教育委員会学校安全推進校及び昭和61・62年度市教育課程等研究推進校となる（4月1日）
昭和61年度二宮記念交通安全教育研究委嘱校となる（4月17日）
第23回全国花いっぱいコンクール優良賞受賞（11月8日）
昭和61年度県交通安全優良校として表彰される（11月21日）
- 昭和62年 アスレチック施設（綱登り、綱の目登り、タイヤ登り、タイヤの4基）完成（3月31日）
安全教育発表会開催（11月9日）
第24回全国花いっぱいコンクール優良賞受賞（11月24日）
- 昭和63年 2代校長井上收一氏就任（4月1日）
PTA開校5周年記念植樹（12月19・20日）
- 平成 元年 県視聴覚教育・放送教育研究合同大会公開授業（11月17日）
- 平成 2年 3代校長大矢かつ氏就任（4月1日）
- 平成 3年 神奈川新聞「わたしたちの学校」欄掲載（2月12日）
野外学習施設みどりの広場完成（7月1日）
- 平成 4年 造形砂場完成（3月1日）
4代校長飯塚文男氏就任（4月1日）
ドラムを利用した野外テーブル完成（4月12日）
学級園完成（8月20日）
- 平成 5年 飼育観察池完成（3月20日）
平成5・6年度座間市教育課程推進校となる（4月1日）
創立10周年記念式典・祝賀会（5月1日）
- 平成 7年 5代校長印牧勲氏就任（4月1日）
- 平成 9年 平成9・10年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
- 平成12年 6代校長住谷繁氏就任（4月1日）
市教育委員会国際交流実践研究校となる（～13年度）
- 平成15年 7代校長大石壽雄氏就任（4月1日）
「創立20周年を祝う会」（7月14日）
- 平成16年 「子どもキラキラタイム実践研究」健康・体力づくり校平成16年度普及校となる（4月1日）
平成16・17年度児童・生徒の心に響く道徳教育推進事業協力校となる（4月1日）
- 平成17年 平成17・18年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
- 平成18年 市教育委員会教育課程等推進校研究発表（11月17日）
- 平成19年 神奈川県公立小学校英語活動研究委託校となる。
- 平成20年 8代校長齋藤征志氏就任（4月1日）
- 平成21年 市小学校教育研究会発表会で「楽しく伝え合う外国語（英語）」について発表
- 平成24年 9代校長尾崎幸利氏就任（4月1日）
- 平成25年 平成25・26年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）

	創立30周年記念式典（5月11日）
平成26年	国際教室新設（4月） 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	すこやか級（肢体不自由）開設
平成28年	10代校長倉田敦子氏就任（4月1日） 校舎内に「中原児童ホーム」開設 南棟トイレ改修工事（6月～10月）
平成29年	なかはら2級（知的障害）開設 北棟校舎内トイレ改修工事（4月～11月）
平成30年	平成30・31年度市教育委員会教育課程等推進校となる（4月1日）
令和元年	放課後子ども教室「かちくぼ教室」開設（5月13日） 平成30・31年度市教育委員会教育課程研究発表（11月22日）

座間中学校

昭和22年	学制改革に伴い、相模原町立座間中学校として、座間小学校の校舎の一部を仮校舎として開校 生徒数424名、学級数9（5月5日） 初代校長榎本西之輔氏就任（4月30日） 校歌制定（9月23日）
昭和23年	座間が相模原町より分町独立したため、座間町立座間中学校と改称（9月1日） 相模原町上鶴間旧陸軍東部第88部隊跡に移転（10月12日） 県知事内山岩太郎氏教育視察のため来校（10月27日）
昭和25年	本校舎米軍ハウス建設指定地となったため、座間第一小学校へ一部借用移転
昭和26年	現在地に新校舎竣工移転
昭和30年	体育館竣工（12月10日）
昭和33年	2代校長羽田賢司氏就任（7月1日）
昭和35年	3代校長青木寅蔵氏就任（7月1日） 校旗作成（10月13日）
昭和37年	県指定社会福祉研究会開催（2月21日） 第1号棟鉄筋3階建校舎竣工（4月14日）
昭和39年	理科特別研究校の委託を受ける（4月1日） 県実験指定校として保健体育科研究発表会を開催（11月1日）
昭和40年	第2号棟鉄筋3階建て校舎竣工（12月17日）
昭和41年	4代校長佐藤忠夫氏就任（9月1日）
昭和42年	座間町立西中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
昭和43年	5代校長小池知治氏就任（4月1日）
昭和44年	第3号棟鉄筋3階建校舎竣工 用務員室新築完成（4月2日） 6代校長中山茂氏就任（9月1日）

- 昭和45年 第3号棟鉄筋3階建増築落成
屋外便所新設（4月1日）
特殊学級開設（4月1日）
- 昭和46年 市制施行に伴い、座間市立座間中学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 7代校長和田泰比古氏就任（4月1日）
座間市立東中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
- 昭和50年 8代校長宮治裕氏就任（9月1日）
- 昭和52年 座間市立栗原中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
県指定技術科研究発表会開催（11月25日）
- 昭和54年 座間市立相模中学校創立に伴い、学区変更（4月1日）
- 昭和55年 9代校長増田寛氏就任（9月1日）
- 昭和59年 市教育課程研究推進校（数学科）の委託を受ける（4月1日）
- 昭和61年 10代校長菊田哲夫氏就任（4月1日）
- 昭和62年 技術科教室（木工、金工）1棟完成（12月9日）
- 昭和63年 パソコン教室設置（9月1日）
- 平成2年 11代校長中村政行氏就任（4月1日）
- 平成4年 市国際交流教育研究推進校の委託を受ける（4月1日より2年間）
ソフトボール用バックネット、防球用ネットの新設、北門の新設（7月21日）
- 平成5年 12代校長高橋衛氏就任（4月1日）
- 平成7年 県教育委員会進路指導研究校（進路指導地区推進会議）の委託を受ける（4月1日）
相談指導学級（みのり学級）開設（4月1日）
第2グラウンド整地（8月24日）
- 平成8年 13代校長尾山真幸氏就任（4月1日）
耐震性貯水槽（飲料水兼用）設置（8月15日）
創立50周年記念碑「座間中学校校歌碑」を建立、記念式典を挙（10月19日）
- 平成10年 屋外便所改修工事（2月25日）
文部省研究委託「豊かな心を育む教育推進事業」実践研究協力校及び市教育委員会教育課程等研究推進校の委託を受ける（4月1日）
座間中学校地域交流協議会設立（5月23日）
パソコン教室改修工事（8月31日）
3号棟1階内部改修工事（9月6日）
PTAが日本PTA全国協議会会長表彰される（11月16日）
- 平成11年 屋内運動場竣工（3月9日）
14代校長西野達雄氏就任（4月1日）
2号棟耐震工事完了（8月31日）
文部省及び市教育委員会委託研究発表会（11月2日）
- 平成12年 市道17号線歩道設置に伴い正門移設及び歩道のバリアフリー化（1月17日）
3号棟耐震工事完了（8月31日）
- 平成13年 15代校長金子楨之輔氏就任（4月1日）

平成14年	2号棟屋上防水改修工事
平成16年	市教育課程等研究推進委託を受ける(～17年度)
平成17年	16代校長高木孝氏就任(4月1日) 市教育課程等研究推進委託研究発表会(11月2日)
平成18年	創立60周年記念 航空写真撮影(10月16日)
平成19年	「座間中学校地域交流協議会」設立10周年記念式典(12月1日)
平成20年	1号棟解体工事開始(6～11月)
平成21年	相談指導学級「みのり級」閉級
平成21年	特別支援学級 情緒級「あおぼ」開設(4月1日)
平成21年	1号棟改築工事開始(7月17日)
平成22年	1号棟改築工事終了(3月29日)
平成22年	17代校長赤羽孝秀氏就任(4月1日)
平成22年	1号棟落成記念式典(4月23日)
平成23年	座間市教育課程等推進委託校(～24年度)
平成24年	南側フェンス整備工事
平成25年	18代校長吉川俊彦氏就任(4月1日)
平成26年	普通教室等空調整備工事(6月～8月)
平成27年	「座間中学校地域交流協議会」文部科学大臣表彰受章(12月3日)
平成28年	19代校長小西秀人氏就任(4月1日) 創立70周年記念 航空写真撮影(4月15日) 座間市教育課程等推進委託を受ける(4月1日)(～30年度) 特別支援学級、弱視級(みのり級)開設
平成29年	3号棟外壁塗装工事(7月～8月)
平成30年	20代校長田附裕治氏就任(4月1日) 「座間中学校地域交流協議会」設立20周年記念植樹(5月24日) 2号館外壁塗装工事(7月～8月)
平成31年	市教育課程等研究推進委託研究発表会(1月21日) 特別支援学級 病弱・身体虚弱級(いぶき級)開設(4月1日)

西中学校

昭和42年	座間町立西中学校校舎竣工(第一期工事)(3月8日) 座間中学校の学区の一部が独立し、座間町立西中学校として開校 初代校長石井三郎氏就任 生徒数168名、学級数4 校旗作成(10月8日)。
昭和43年	増築工事竣工(職員室、普通教室4、便所6) 第二期工事竣工(調理室、生物室、視聴覚教室)(3月26日) 学園緑化推進指定校(7月1日)
昭和44年	社会福祉研究指定校(4月1日)

- 昭和45年 体育館、技術科室竣工（7月12日）
 校歌制定（2月21日）。県Pより優良PTAとして表彰（9月6日）
 県より環境美化優良校として表彰（11月28日）
- 昭和46年 文部省道徳教育指定校（5月11日）
 2代校長曾我晃也氏就任（9月1日）
 市制施行に伴い、座間市立西中学校と改称（11月1日）
- 昭和47年 文部省指定道徳教育研究中間報告発表会（5月10日）
 文部省指定道徳教育研究発表会開催（11月22日）
- 昭和50年 県教育委員会の自然保護教育実験校として委託（9月）
- 昭和52年 図書室、技術（木工）室、昇降口竣工（2月28日）
 3代校長池田穰氏就任（9月1日）
 県Pより優良PTAとして表彰（9月21日）
- 昭和53年 全国中学生卓球大会に出場（8月17日）
- 昭和56年 増築工事竣工（普通教室7、音楽室、被服室、美術室、特別活動室）（3月16日）
- 昭和57年 市教育委員会より「学校教育目標の具現化」の研究推進校として委託される（4月）
 4代校長中山達雄氏就任（9月1日）
- 昭和58年 文部省指定研究校（心身障害児理解推進）（4月）
 市教育委員会委託研究校（学校教育目標の具現化）（4月）
- 昭和59年 文部省・市教育委員会指定研究校（心身障害児理解推進校）
- 昭和60年 文部省指定心身障害児理解の研究発表大会（2月6日）
 県中学校体育大会バレーボールの部優勝（7月30日）
 女子バレーボール部関東大会出場（8月7日）
- 昭和61年 5代校長澤田安夫氏就任（4月1日）
 県中学校体育大会女子バレーボールの部優勝（2年連続）（7月30日）
 女子バレーボール部関東大会出場（8月8日）
- 昭和62年 本館教室内・廊下改修工事、及び本館全館塗装工事（7月）
- 昭和63年 6代校長安藤芳夫氏就任（4月1日）
 新館全館内装工事（7月）
- 平成 元年 平成元・2年度文部省「中学校生徒指導総合推進校」指定、平成元・2年度市教育委員会「教育課程等研究推進校」指定（5月12日）
 豊川市小中公立学校校務担当者視察（12月1日）
- 平成 2年 平成元・2年度文部省「中学校生徒指導総合推進校」、平成元・2年度市教育委員会「教育課程等研究推進校」研究発表会開催（10月3日）
- 平成 3年 7代校長内藤正徳氏就任（4月1日）
 県社会福祉協議会のボランティア活動普及事業協力校となる（4月）
- 平成 5年 8代校長柴田豊氏就任（4月1日）
 本館給水管更生工事（7月）
- 平成 6年 市教育委員会委託研究「個を生かす学習指導」（～7年度）
- 平成 7年 市教委委託研究発表「個を生かす学習指導」（11月7日）

- 調理室改修（８月）
- 平成 ８年 9代校長青木雅博氏就任（４月１日）
市教委委託研究「国際交流教育実践研究校」（～9年度）
公共下水道工事（８月）
耐震性水槽埋設工事（１０月）
- 平成 9年 市教育委員会「環境浄化推進校」指定 新館屋上防水工事、P C教室改修工事、保健室・事務室移設改修工事、焼却炉新設工事（８月）
- 平成10年 10代校長中島七海雄氏就任（４月１日）
校庭南側歩道拡幅工事
女子バレー部関東大会出場（８月６日）
- 平成11年 市教育委員会委託研究「2002年に向けた教育課程の研究」（平成11・12年度）
本館耐震工事、保健室・心の教室相談室に空調設置（８月）
女子バレー部関東大会出場（８月７日）
陸上部女子駅伝関東大会出場（12月5日）
- 平成13年 新館耐震補強工事（7～8月）
- 平成15年 11代校長富田忠雄氏就任（４月１日）
座間市情報教育推進委託研究（～16年度）
関東少年軟式野球大会（第6回）関東大会出場（11月15日）
- 平成16年 スクールカウンセラー配置
- 平成17年 座間市教育課程等推進受託校（～18年度）
- 平成18年 体育館耐震補強工事（7月～8月）
市教育委員会委託研究発表「学ぶ意欲・学ぶ力を育む教科指導」（11月2日）
特別支援教育補助員設置
- 平成19年 問題を抱える子ども等の自立支援事業（国）受託（～20年度）
心のフレンド員設置
ひまわり環境ISO認定（5月16日）
- 平成20年 12代校長廣瀬豊氏就任（４月１日）
- 平成22年 女子バレーボール部関東大会出場（８月）
水泳個人（1名）・メドレーリレー（1チーム）全国大会出場（８月）
- 平成23年 正門改修工事完了（3月）
13代校長木島弘氏就任（４月１日）
女子バレーボール部全国大会出場（8月18日）
水泳個人（2名）・男子400mメドレーリレー（1チーム）全国大会出場（8月）
吹奏楽部東関東大会出場（9月17日）
金工室・木工室耐震補強工事
ひまわり実行委員会善行章授章
- 平成24年 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業受託（県）
学習指導実践研究協力事業協力校（国）（～25年度）
- 平成25年 14代校長川崎高一氏就任（４月１日）

	座間市教育課程等推進受託
	水泳個人（1名）関東大会出場（8月）
	水泳個人（1名）全国大会出場（8月）
	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成26年	PC教室パソコンリース替え（8月）
	体育館AED設置（8月）
	かながわ子どもスマイルウェブ地域フォーラム参加（11月）
平成27年	15代校長直井恵子氏就任（4月1日）
	スマーナ（テネシー州）からの交流事業（7月15日・16日）
	初任者研修 他校種訪問事業（2名受け入れ）（12月）
平成28年	創立50周年記念式典開催（ハーモニーホール）（10月）
	体育館改修工事（7月～1月）、体育館ステージ幕工事終了（2月）
平成29年	16代校長鈴木直人氏就任（4月1日）
	創立50周年記念「憩いの広場」完成（体育館北側）（4月）
平成30年	市教育委員会から教育課程等研究推進校の委託（防災教育）

東中学校

昭和47年	座間中学校の学区の一部が独立し、座間市立東中学校として開校 初代校長中山茂氏就任 校長以下職員24名着任（4月1日） 生徒数526名、学級数13 開校式、第1回入学式、始業式举行
昭和48年	校旗作成、校歌制定（2月1日） 体育館竣工（2月8日） 県教育委員会から社会福祉普及校に指定（4月1日）
昭和49年	校舎増築工事着工（8月1日）
昭和50年	校舎増築工事完成（3月10日）
昭和53年	2代校長佐野淳一氏就任（9月1日）
昭和55年	校舎増築工事着工（4月24日）
昭和56年	校舎増築工事完成（3月10日） 創立10周年記念式典举行、「校歌」の歌碑建立
昭和57年	3代校長和田重雄氏就任（9月1日）
昭和59年	4代校長田中恒行氏就任（4月1日）
昭和61年	座間市立南中学校創立に伴い、学区変更 特殊学級開設 5代校長草薙司郎氏就任（4月1日） 県教育委員会から学校保健領域の研究推進校に指定（2年間）
平成2年	市教育委員会から教育課程等研究推進校の委託（生徒指導） グラウンドに夜間照明設置（10月）

- 平成 3年 6代校長高橋衛氏就任
創立20周年記念式典挙行（11月16日）
- 平成 4年 校舎旧館外装塗装工事（8月）
県教育委員会から学校安全に関する研究校に指定（2年間）
県中学校体育大会総合開会式会場になる（7月27日）
- 平成 5年 7代校長中村政行氏就任（4月1日）
校舎新館外装塗装工事
ソフトボール部関東大会出場（8月）
学校安全発表大会（11月11日）
- 平成 6年 卒業記念植樹（桜20本、3月10日）
市教育課程等研究推進校の委託（～8年度）
- 平成 8年 8代校長西野達雄氏就任（2月1日）
県・市教育委員会教育課程等研究推進校の委託（道徳）
体育館外装改修工事
ソフトボール部関東大会出場（8月）
- 平成 9年 卓球部及び陸上競技部（個人）関東大会出場
- 平成10年 文部省「東中学校区道徳的実践活動推進事業」の指定を東中学校区として受ける
（～12年度）
- 平成11年 9代校長久保田武雄氏就任（4月1日）
道徳教育資料「きらめき」に関する研究の指定を受ける（平成11年度）
- 平成12年 卓球部関東大会出場
文部省委嘱「東中学校区道徳的実践活動推進事業」の研究発表会開催
- 平成13年 校舎西棟耐震工事
卓球部関東大会出場
- 平成14年 校舎東棟耐震工事
- 平成15年 10代校長永島悟氏就任（4月1日）
市教育委員会教育課程等研究推進校の委託（2年間）
- 平成17年 市教育委員会教育課程等推進校研究発表会開催（2月10日）
サッカー部県大会準優勝・関東大会出場（8月）
- 平成19年 11代校長島田壽美氏就任（4月1日）
平成19・20年度「かながわイキイキスクール実践研究」受託
女子バレーボール部「県中学校バレーボール選手権大会」準優勝（6月）
女子バレーボール部「県総合体育大会バレーボール選手権大会」3位（7月）
女子バレーボール部「関東中学校バレーボール大会」出場（8月）
吹奏楽部 神奈川県吹奏楽コンクール（県大会）金賞（8月）
吹奏楽部 東関東吹奏楽コンクール大会出場（9月）
【個人】関東中学校陸上競技大会男子砲丸投げ出場（8月）
関東中学校水泳競技大会女子50m出場（8月）
- 平成20年 平成19年・20年「かながわイキイキスクール実践研究」受託（2年目）

- 【個人】 関東中学校水泳競技大会女子50m自由形 優勝（8月）
 関東中学校水泳競技大会女子100m自由形 3位（8月）
- 平成21年 【個人】 関東中学校陸上競技大会男子800m出場 8位（8月）
 全日本中学校陸上競技選手権大会男子800m出場（8月）
 全日本中学校水泳競技選手権大会女子50m自由形 出場（8月）
- 平成22年 県最優秀健康推進校として表彰される。
 市教育課程等研究推進校の受託（2年間）
- 平成23年 12代校長曾根伸二氏就任（4月1日）
 【個人】 関東中学校水泳競技大会男子1500m自由形 2位（8月）
 関東中学校水泳競技大会男子400m自由形 3位（8月）
 関東中学校水泳競技大会男子100m背泳ぎ 2位（8月）
 【団体】 関東中学校水泳競技大会男子団体総合 3位（8月）
- 平成24年 市教育課程等研究推進校研究発表会開催（11月14日）
- 平成26年 国際級開設（5月）
 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成27年 13代校長日極忠氏就任
 屋内運動場改修工事（8月～28年1月）
- 平成28年 体育館改修工事完了
 市教育委員会教育課程等推進校の指定を受ける（～29年度）
- 平成29年 金工室・木工室外壁工事、防水工事实施（7月～9月）
 市教育委員会教育課程等研究推進校として研究発表会を実施（11月14日）
 「豊かな心を育む教育活動の展開～一人ひとりに確かな学力を育む
 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業と環境づくり～」
 「優良PTA神奈川県教育委員会表彰」受賞
- 平成30年 1号棟外壁及び屋上防水改修工事实施（7月～9月）

栗原中学校

- 昭和52年 座間中学校と東中学校の学区の一部が独立し、座間市立栗原中学校として開校
 生徒数490名、学級数13（4月1日）
 初代校長中山達雄氏就任（4月1日）
- 昭和53年 校旗作成 校歌制定（2月7日）
- 昭和54年 体育館竣工（2月7日）
 国際児童年記念カプセル埋設（10月31日）
- 昭和56年 女子バレー部関東大会出場（8月）
 卓球部全国大会ベスト8（8月）
- 昭和57年 開校5周年記念植樹“桜”（2月20日）
 2代校長佐野淳一氏就任（9月1日）
- 昭和58年 校舎増築（2月28日）
- 昭和61年 3代校長増田寛氏就任（4月1日）

- 県大会・関東大会で男子ソフト部優勝 全国大会へ出場（8月）
開校10周年記念式典（10月12日）
- 昭和62年 県大会・関東大会で男子ソフト部優勝 全国大会へ出場（8月）
女子ソフト部全国大会で準優勝（8月）
- 昭和63年 体育館内装工事、非常用給水槽設置（7月～8月）
PC設置（7月）。外国人英語講師の授業開始（10月）
- 平成 元年 校庭に夜間照明灯設置（8月～9月）11月使用開始
- 平成 2年 校庭開放利用に伴う防球ネット一部張替（5月）
4代校長諸節秀夫氏就任（4月1日）
- 平成 4年 市教育委員会教育課程等研究推進校（4年～5年）
変電器取替（4年・5年8月）
- 平成 5年 5代校長内藤正徳氏就任（4月1日）
B棟校舎一部防水工事（8月～9月）
関東大会1年男子1, 500m走新記録達成
- 平成 6年 県教育委員会教育課程研究推進校・市教育委員会教育課程等研究推進校指定
（～7年度）
アラーム機器取替工事 教室、廊下天井張替工事（7月）
全国中学校水泳競技大会出場（8月）
国民体育大会水泳競技出場（9月）
県・市教育委員会教育課程研究推進校の中間発表会（11月11日）
- 平成 7年 ふれあい教育事業「愛の豚汁」（第1回）実施（1月）
全国中学校水泳競技大会出場（8月）
県・市教育委員会教育課程推進校として研究発表会（11月15日）
屋上防水改修工事（11月～2月）
- 平成 8年 6代校長中島七海雄氏就任（4月1日）
県教育委員会いじめ問題研究推進校の指定（4月）
特殊学級（精神薄弱）新設（4月）
関東中学校水泳競技大会出場、全国中学校水泳競技大会出場、ジュニアオリンピック
大会出場（8月）
教室・廊下天井張替工事（8月）
テニスコート防球ネット支柱補強工事（9月～10月）
- 平成10年 7代校長川村忠氏就任
市教育委員会委託研究「国際交流実践研究推進校」指定
屋内運動場屋根改修（1月～3月）
- 平成11年 屋内運動場床改修（7月～8月）
- 平成12年 神奈川県教育委員会「進路指導地区研究推進校」指定
- 平成13年 関東中学校卓球大会出場
- 平成14年 8代校長尾山眞幸氏就任
関東中学校卓球大会出場

	市教育委員会教育課程研究推進校 渡り廊下耐震補強工事
平成15年	市教育委員会教育課程研究推進校として研究発表会（11月13日） 南棟耐震補強工事
平成16年	北棟耐震補強工事
平成17年	9代校長金子楨之輔氏就任（4月1日）
平成18年	吹奏楽部東関東大会出場（9月16日） 創立30周年記念式典祝賀会举行（10月21日） 10代校長木島弘氏就任（12月23日）
平成19年	A棟トイレ改修（8月～9月）
平成20年	平成20年問題行動等未然防止推進事業「絆（きずな）」づくり推進事業実践校 屋内運動場耐震補強工事 図書検索システム整備
平成21年	屋外トイレ改築及び公共下水道接続工事（7～12月） 野球部：関東近県中学校選抜野球大会 準優勝（8月22, 23日）
平成22年	神奈川県教育委員会委託事業「神奈川県公立学校人権教育研究」指定（～23年） B棟トイレ改修（7月～8月）
平成23年	11代校長廣瀬豊氏就任（4月）
平成25年	12代校長赤羽孝秀氏就任（4月） A・B棟外壁塗装工事（6月～9月）
平成26年	普通教室等空調整備工事（6月～8月）
平成27年	市教育委員会教育課程研究推進校（平成27・28年度） 給食配膳室設置工事（8月） 学校給食試行開始（デリバリー方式選択式）（9月1日）
平成28年	13代校長中木原利一氏就任（4月1日） A棟女子トイレ洋風便器設置工事（7月～8月） 金工・木工室外壁及び屋上改修工事（6月～8月）
平成29年	北棟・昇降口棟屋上防水改修工事（9月～12月）
平成30年	14代校長梶弘之氏就任（4月1日）

相模中学校

昭和54年	座間中学校から独立し、座間市立相模中学校として開校 初代校長菊田哲夫氏就任 生徒数821名、学級数20 PTA設立（4月2日）
昭和55年	国際児童年記念カプセル埋設（1月21日） 校旗作成・校歌制定（2月12日） 開校記念日を2月12日と制定（2月13日）
昭和56年	校歌碑建立（1月27日） 体育館竣工（2月2日）

昭和57年	国際児童年記念碑設置（3月13日）
昭和59年	相模学級開設（4月1日） プレハブ2教室設置（4月5日） 市教育委員会研究推進校受託「生徒指導研究」（～60年度）
昭和61年	2代校長安藤芳夫氏就任（4月1日）
昭和62年	市教育委員会研究推進校受託「生徒指導研究」（～63年度） プレハブ2教室撤去
昭和63年	防災備蓄倉庫設置（市）（1月21日） 3代校長田中恒行氏就任（4月1日） 創立10周年記念式典挙行（5月8日） 外国人英語講師による巡回指導開始
平成 元年	県教育委員会研究推進校受託「情報機器活用研究」（平成元年・元年度） PC教育機器の導入並びに研修開始
平成 3年	4代校長澤田安夫氏就任（4月1日） 県教育委員会研究推進校受託「学校運営のあり方研究」（～6年度）
平成 4年	校庭に夜間照明等設置（市）
平成 5年	下水道本管を公共下水道に接続、浄化槽撤去
平成 6年	5代校長青木雅博氏就任（4月1日） 県社会福祉協議会協力校受託「ボランティア活動」（～8年度）
平成 7年	市教育委員会研究推進校受託「国際交流教育実践研究」（～8年度）
平成 8年	6代校長久保田武雄氏就任（4月1日）
平成 9年	県教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」（1年間） 市教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」（～10年度）
平成10年	文部省調査研究委託校受託「スクールカウンセラー活用調査研究」（～11年度） 県教育委員会研究推進校受託「生徒指導の研究」（1年間）
平成11年	7代校長尾山真幸氏就任（4月1日）
平成12年	市教育委員会研究推進校「国際交流教育実践研究」（～13年度）
平成14年	8代校長栗城信雄氏就任（4月1日）
平成15年	県教育委員会研究推進校受託（2年間）「中学校区小中学校相互交流研究」（4月1日） 東側道路拡張に伴うテニスコート整備（8月）
平成16年	県教育委員会研究推進校「中学校区小中学校相互交流研究」（4月） スクールライフ・アドバイザー配置事業開始（4月） 外国人子女日本語指導等協力者派遣事業開始（5月）
平成17年	スクールカウンセラー事業開始（4月21日） 校舎耐震工事開始（7月21日）
平成18年	9代校長平本岳男氏就任（4月1日）
平成20年	市教育委員会研究推進校受託「教育課程の研究」（～21年度） 相模フェスティバル30「ファイナルステージ」開催（11月1日）
平成22年	市教育委員会研究推進校研究発表「教育課程の研究」（2月5日）

- 10代校長石原朗宏氏就任（4月1日）
- 体育館耐震工事開始（7月）
- 平成25年 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 11代校長小西秀人氏就任（4月1日）
- 市教育課程等研究推進委託校（26・27年度）
- 校舎外壁工事（7月～9月）
- 平成27年 トイレ改修工事（7月～9月）
- 平成28年 市教育課程等研究発表会（1月26日）
- 12代校長大沢奈緒美氏就任（4月1日）
- 平成29年 学校給食開始（9月3日）
- 平成30年 全日本少年軟式野球大会出場、開校40周年記念
- 平成31年 市教育課程等研究推進校受託（～2年度）

南中学校

- 昭和61年 初代校長田中恒行氏就任（4月1日）
- 栗原中学校・東中学校の学区の一部が独立し、1・2年学年で開校（1学年5学級、2学年5学級）
- 男子218名、女子203名、生徒数421名、教職員20名
- 校旗作成、開校記念日制定（10月1日）
- 校歌制定（12月15日）
- 南中学校教育目標の決定：心身共に健康で、実践力のある生徒の育成・他を尊重し、礼儀正しい明るい生徒・丈夫で、粘り強い生徒
- 昭和62年 男子卓球部団体の部で関東大会に出場（8月）
- 昭和63年 2代校長澤田安夫氏就任。市教育委員会教育課程等研究推進校「パソコン教育」受託（～平成元年度）
- PC導入（6月）
- 平成 元年 みなみ学級開設（4月）
- 県学校教育放送「教師の時間」番組「生徒の手による体育祭」制作（9月23日）
- 県視聴覚・放送教育研究会で公開授業（11月17日）
- 平成 2年 市教育委員会教育課程等推進校「教育機器活用」受託（～3年度）
- 学校教育番組モニター校受託（1年間）
- スマーナ市視察団来校（11月19日）
- 平成 3年 3代校長安藤芳夫氏就任（4月1日）
- 教育機器活用研究発表会（11月19日）
- 平成 4年 県教育放送研究推進校受託（2年間）
- 市教育委員会教育課程等研究推進校「教育機器活用」受託（～5年度）
- 平成 5年 4代校長久保田武雄氏就任（4月1日）
- ロシア教育研修生来校（5月13日）
- 県学校教育放送番組「中学生の生活」の「職業しらべ」番組制作（10月）

- 教育機器活用研究発表会（2月3日）
- 平成 6年 日本新聞協会N I Eパイロット計画推進校（社会科）受託（～7年度）
 県教育研究所連盟P C研究会の会場、公開授業（10月13日）
- 平成 7年 学校教育目標（夢目標）「夢と希望を持ち、生き方を考える生徒」を追加
 スクラップコンクール学校賞受賞。創立10周年記念祝賀会（10月21日）
 県学校教育放送番組「一人ひとり意見から」－私達の校則改正－制作
- 平成 8年 5代校長川村忠氏就任（4月1日）
- 平成 9年 市国際交流教育実践研究受託（～10年度）
- 平成10年 6代校長青木雅博氏就任（4月1日）
 スマーナ市長ほか中高校生教育視察訪問（7月15日）
 心の教育相談室開設（10月）
- 平成11年 教育課程研究（校内研究）「生きる力を育てる教育課程の編成に向けて」総合学習の実
 践をめざし研究開始
- 平成12年 市教育課程研究推進校「生きる力を育てる新教育課程」の受託（2年間）
 文部省「スクールカウンセラー活用調査研究」の受託（1年間）
- 平成13年 市教育課程研究推進校「生きる力を育てる新教育課程」の受託（2年目）
 県スクールカウンセラー活用事業開始
 市情報教育推進校受託（～14年度）
- 平成15年 7代校長河合寛行氏就任（4月1日）
- 平成16年 文科省道徳教育推進校「児童・生徒の心に響く道徳教育推進」の受託（～17年度）
- 平成17年 文科省道徳教育推進校「児童・生徒の心に響く道徳教育推進」の受託による道徳教育
 推進研究発表会（11月18日）
- 平成18年 市教育課程研究推進校「豊かな心を育てる道徳教育の推進」の受託（～19年度）
- 平成19年 8代校長進士隆行氏就任（4月1日）
 市教育課程研究推進校「豊かな心を育てる道徳教育の推進～道徳教育と総合的な学習
 の時間の連携～」の受託による研究発表会（11月6日）
- 平成20年 しらかし学級開設（4月）
- 平成21年 スクールニューディール構想（ICT化）により、50インチテレビ・電子黒板等導
 入
- 平成22年 9代校長川崎高一氏就任（4月1日）
 少人数学級研究の実施（第2学年）
- 平成23年 少人数学級研究の実施（第3学年）
- 平成24年 少人数学級研究の実施（第3学年）
 屋上防水改修工事
- 平成25年 10代校長廣瀬豊氏就任（4月1日）
 市教育課程等研究推進校受託（～26年度）
 少人数学級研究の実施（第1学年）
 普通教室等空調整備工事（6月～8月）
- 平成26年 少人数学級研究の実施（第2学年）

- 平成27年 座間市教育課程等研究推進校「学び・つながり・わくわく感のある分かる授業をめざして～校内研究の活性化により授業力の向上を図る～」の受託による研究発表会（1月21日）
11代校長赤井諭氏就任（4月1日）
少人数学級研究の実施（第3学年）
タイムカプセル掘り出し（8月29日）
開校30周年記念式典（10月24日）
- 平成28年 グラウンド土質改良工事完了（5月14日）
屋内運動場屋上防水改修工事完了（10月3日）
- 平成29年 12代校長押田典明氏就任（4月1日）
学校給食開始（9月3日）
校舎内トイレ改修工事完了（9月10日）
- 平成30年 市教育課程等研究推進校受託（～31年度）
屋内運動場等トイレ改修工事（7月～8月）

第10 中学校卒業者の進路状況

(1) 中学校別進学・就職の状況

平成28年度（平成29年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率（%）			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	79	75	154	79	74	153	100	98.7	99.4	0	1	1
西中学校	93	71	164	91	70	161	97.8	98.6	98.2	2	1	3
東中学校	121	107	228	120	105	225	99.2	98.1	98.7	1	2	3
栗原中学校	71	73	144	71	73	144	100	100	100	0	0	0
相模中学校	89	93	182	86	93	179	96.6	100	98.4	3	0	3
南中学校	66	68	134	64	68	132	97.0	100	98.5	2	0	2

平成29年度（平成30年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率（%）			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	81	69	150	81	68	149	100	98.6	99.3	0	1	1
西中学校	110	76	186	109	76	185	99.1	100	99.5	1	0	1
東中学校	99	107	206	99	106	205	100	99.1	99.5	0	1	1
栗原中学校	79	77	156	78	77	155	98.7	100	99.4	1	0	1
相模中学校	123	88	211	118	88	206	95.9	100	97.6	5	0	5
南中学校	59	63	122	57	63	120	96.6	100	98.4	2	0	2

平成30年度（平成31年3月卒業）

中学校名	卒業生数（人）			進学者数（人）			進学率（%）			就職・その他（人）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
座間中学校	82	75	157	82	75	157	100	100	100	0	0	0
西中学校	105	93	198	104	92	196	99.0	98.9	99.0	1	1	2
東中学校	120	102	222	119	102	221	99.2	100	99.5	1	0	1
栗原中学校	86	69	155	86	69	155	100	100	100	0	0	0
相模中学校	86	107	193	85	107	192	98.8	100	99.5	1	0	1
南中学校	56	54	110	56	54	110	100	100	100	0	0	0

(2) 進路状況内容

平成28年度（平成29年3月卒業）

卒業生総数 （人）	進学者 合計	進学者（人）						その他	就職者 （人）	その他 （人）
		全日制高等学校					その他			
		県内公立			県内 私立	県外 公私立				
男	519	511	265	86			351	104	26	30
女	487	483	321	56	377	84	14	8	0	4
計	1,006	994	586	142	728	188	40	38	3	9

平成29年度（平成30年3月卒業）

卒業生総数 （人）	進学者 合計	進学者（人）						その他	就職者 （人）	その他 （人）
		全日制高等学校					その他			
		県内公立			県内 私立	県外 公私立				
男	551	542	279	59			338	125	16	63
女	480	478	254	67	321	91	13	53	2	0
計	1,031	1,020	533	126	659	216	29	116	6	5

平成30年度（平成31年3月卒業）

卒業生総数 （人）	進学者 合計	進学者（人）						その他	就職者 （人）	その他 （人）
		全日制高等学校					その他			
		県内公立			県内 私立	県外 公私立				
男	535	532	281	67			348	99	13	72
女	500	499	246	81	327	86	18	68	0	1
計	1035	1031	527	148	675	185	31	140	0	4

第 1 1 特別支援教育

本市の特別支援学級は昭和 4 2 年 4 月に座間小学校に開設されて以来 5 2 年の歴史をもつに至った。

平成 8 年 4 月には市内全校への特別支援学級設置が実現し、現在小学校に 3 7 学級、中学校に 1 6 学級設置されている。学級種別は、知的障がい学級 2 2、自閉症・情緒障がい学級 1 8、肢体不自由級 7、病弱身体虚弱級 4、弱視級 1、難聴級 1 と児童生徒の障がいの多様化傾向を反映している。

言語教室は、相模野小学校に昭和 5 1 年度に特別支援学級として開設され、平成 5 年度より言語通級指導教室に制度化され現在に至っている。さらに、平成 1 6 年 4 月には入谷小学校にも開設されている。

また、平成 2 1 年 4 月から情緒通級指導教室も立野台小学校に開設され、LD・ADHD・高機能自閉症等の児童生徒の指導・支援の取組を行っている。さらに平成 2 3 年 4 月からは旭小学校に、平成 2 5 年 4 月からは座間小学校に、平成 3 1 年 4 月からは相模が丘小学校にも開設され、きめ細やかな支援を行っている。

特別支援教育がめざすものは、児童生徒一人ひとりのもつ可能性を最大限に伸ばし、積極的に社会に参加できるような人間を育てることにある。交流教育を重視し、市内特別支援学級移動教室や近隣校とのブロック交流などが行われている。平成 4 年 4 月からは、障がいのある児童生徒の教育の充実を図るために、小中学校に障がい児介助員が配置されている。

また、通常級において特別な配慮を要する児童・生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに合った、きめ細かな支援を行うために平成 1 7 年 4 月から特別支援教育補助員が配置されている。

1 特別支援学級在籍児童生徒数

(令和元年 5 月 1 日現在)

学 校 名	学 級 名	開 設 年 月	種 別	学 年 別 児 童 数						合 計
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
座 間 小 学 校	こぼと 1	昭和 4 2. 4	知的	0	0	0	2	3	2	7
	こぼと 2	平成 2 4. 4	知的	0	4	1	3	0	0	8
	たけのこ	平成 3. 4	自情	2	0	2	0	2	2	8
	つばめ	平成 2 5. 4	肢体	1	0	0	0	0	0	1
	ふたば	平成 2 7. 9	病弱	0	0	0	0	1	0	1
栗 原 小 学 校	さくら	昭和 4 8. 4	知的	2	1	1	1	1	2	8
	わかば	平成 1 9. 4	自情	1	0	1	1	1	0	4
	どんぐり	平成 3 0. 4	肢体	0	1	0	0	0	0	1
相 模 野 小 学 校	ひろの	平成 1 1. 4	知的	0	2	0	0	1	0	3
	さがみの	平成 6. 4	自情	0	0	2	0	1	0	3
	のぞみ	平成 2 9. 4.	肢体	0	0	1	0	0	0	1
相 武 台 東 小 学 校	たんぼぼ	昭和 4 8. 4	知的	0	0	1	0	1	2	4
	つくし	平成 2 0. 4	自情	1	2	0	0	3	0	6
ひばりが丘小学校	ひばり 1	昭和 5 3. 4	知的	0	0	1	0	0	0	1
	ひばり 2	平成 1 9. 4	自情	0	0	1	2	0	0	3
	ひばり 3	平成 3 1. 4	病弱	0	1	0	0	0	0	1
東 原 小 学 校	あさかぜ	昭和 6 3. 4	知的	1	1	0	0	1	0	3
	こだま	平成 9. 4	自情	0	0	1	1	0	0	2
相 模 が 丘 小 学 校	なかよし	昭和 5 1. 4	知的	2	0	0	2	0	2	6
	ともだち	平成 1 9. 4	自情	1	0	3	1	2	0	7
立 野 台 小 学 校	たつのこ 1	平成 2 4. 4	知的	2	2	1	0	0	0	5
	たつのこ 2	平成 3 0. 4	知的	0	0	0	1	1	4	6
	ひまわり 1	平成 5. 4	自情	2	0	3	0	0	0	5
	ひまわり 2	平成 3 1. 4	自情	0	0	0	1	2	1	4
	みどり	平成 2 5. 4	病弱	0	0	0	0	1	0	1

入谷小学校	あおぞら	昭和60.4	知的	1	3	0	0	1	2	7
	そよかぜ	平成21.4	自情	0	0	1	0	1	0	2
	たいよう	平成23.4	肢体	0	0	0	0	0	1	1
	ひまわり	平成31.4	難聴	1	0	0	0	0	0	1
旭小学校	あさひ1	平成11.4	知的	0	0	0	0	0	5	5
	あさひ3	平成26.4	知的	0	2	3	1	0	0	6
	あさひ2	昭和59.4	自情	2	0	0	0	1	1	4
	あさひ4	平成29.4	肢体	0	0	1	0	0	0	1
中原小学校	なかはら1	昭和59.4	知的	1	1	2	1	0	0	5
	なかはら2	平成29.4	知的	1	0	3	1	0	1	6
	おおぞら	平成9.4	自情	0	2	0	1	0	0	3
	すこやか	平成27.4	肢体	0	0	0	0	1	0	1
合計				21	22	29	19	25	25	141

学校名	学級名	開設年月	種別	学年別生徒数			合計
				1年	2年	3年	
座間中学校	いずみ	昭和45.4	知的	1	4	1	6
	あおば	平成7.4	自情	1	0	1	2
	みのり	平成29.4	弱視	0	0	1	1
	いぶき	平成31.4	病弱	1	0	0	1
西中学校	西1	昭和56.4	知的	0	3	4	7
	西2	平成9.4	自情	2	3	3	8
	西3	平成29.4	肢体	1	0	1	2
東中学校	東3	昭和62.4	自情	2	3	2	7
	東1	昭和61.4	知的	1	2	1	4
	東2	平成30.4	知的	2	3	0	5
栗原中学校	栗原	平成8.4	知的	1	2	3	6
	芹沢	平成24.4	自情	0	1	0	1
相模中学校	相模1	昭和59.4	知的	1	1	1	3
	相模2	平成11.4	自情	2	1	4	7
南中学校	みなみ	平成元.4	知的	0	1	0	1
	しらかし	平成20.4	自情	0	0	2	2
合計				15	24	24	63

2 通級指導教室（言語・情緒）児童生徒数

（令和元年5月1日現在）

学校名\学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計
相模野小学校	人数	0	3	4	3	4	0	0	0	0	14
入谷小学校	人数	0	6	6	2	1	0	0	0	0	15
立野台小学校	人数	0	3	4	7	7	3	0	0	0	24
旭小学校	人数	0	0	3	4	6	11	0	0	0	24
座間小学校	人数	0	3	4	7	6	11	0	0	0	31
相模が丘小学校	人数	0	1	5	3	1	2	0	0	0	12
	合計	0	16	26	26	25	27	0	0	0	120

3 特別支援諸学校在籍児童・生徒数

(令和元年5月1日現在)

学 校 名	小 学 部						中 学 部			合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
座間養護学校	2	0	0	0	0	1	1	0	3	7
相模原中央支援学校	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
えびな支援学校	3	0	0	6	2	4	1	3	8	27
平塚聾学校	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
秦野養護学校	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
伊勢原養護学校	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
横浜南養護学校	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
東京都立北特別支援学校	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
東京都立光明学園	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
埼玉県立けやき特別支援学校	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	6	2	1	8	4	6	2	5	11	45

4 特別支援学級在籍児童・生徒数の推移

年 度	小 学 校							中 学 校				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計	合計
12	4	4	6	9	12	8	43	4	4	7	15	58
13	11	7	5	7	10	12	52	8	5	4	17	69
14	12	12	13	7	5	10	59	9	8	9	26	85
15	12	13	12	13	7	5	62	6	8	9	23	85
16	8	9	13	12	11	8	61	6	9	9	24	85
17	13	9	9	13	12	11	67	8	8	10	26	93
18	10	14	12	12	13	14	75	14	10	8	32	107
19	8	12	14	14	15	15	78	9	14	10	33	111
20	9	12	16	14	13	17	81	13	10	14	37	118
21	14	14	9	19	14	13	83	16	16	11	43	126
22	5	14	17	10	19	15	80	16	16	15	47	127
23	18	5	15	18	11	19	86	16	18	17	51	137
24	23	18	9	17	18	10	95	17	17	18	52	147
25	11	26	22	13	20	18	110	10	17	17	44	154
26	13	12	26	21	17	21	110	18	11	19	48	158
27	16	18	13	29	23	17	116	20	16	12	48	164
28	13	24	21	13	29	25	125	17	25	18	60	185
29	21	17	26	22	13	29	128	19	18	25	62	190
30	18	26	18	25	26	14	127	24	21	19	64	191
31	21	22	29	19	25	25	141	15	24	24	63	204

5 小・中学校障がい児介助員数の推移

	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
小学校	9	9	10	12	13	14	13	13	13	13
中学校	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1
	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
小学校	12	13	13	15	16	16	18	21	20	22
中学校	2	3	4	3	3	6	6	6	7	7

6 小・中学校特別支援教育補助員数の推移

(H26 から表記変更)

19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
3	5	8	8	8	9	9	13	14	16	17	17	17

第12 国際教室

1 国際教室の役割

近年の中南米、東南アジア諸国からの移住者の増加に伴い外国籍の児童も増えてきたため、外国籍児童の新たな学習支援として平成19年度から栗原小学校、平成20年度から東原小学校、平成24年度からひばりが丘小学校、旭小学校、平成25年度から相模野小学校、相模が丘小学校、平成26年度から中原小学校、東中学校、平成28年度には座間小学校、相武台東小学校、平成30年度には立野台小学校、相模中学校に国際教室を開級し、外国籍児童にきめ細かな日本語指導を行うものである。

2 目標

- ・日本の言葉の理解を深め、学習の援助を図る。
- ・日本の文化、習慣についての理解を深め、学校生活や社会生活への適応を図る。
- ・母国と日本の互いの文化を理解し合い、豊かな国際感覚を養う。
- ・日本語がほとんど分からない児童に日常会話や学校生活の仕方などを教える。
- ・日常会話はできるが、日本語の「読み」「書き」が不十分な児童の指導や補習などを行う。
- ・通級にあたっては、各担任と相談して決め、児童の実態に応じて取り出し学習を行う。

3 国際教室

母語別児童数状況

計：96人

(平成31年4月5日現在)

座間小学校	ベトナム語	1年生(1人) 2年生(1人) 5年生(1人)
	カンボジア語	2年生(1人) 5年生(1人)
	英語	1年生(1人) 2年生(1人) 5年生(1人)
	タガログ語	2年生(1人) 4年生(1人)
	中国語	5年生(1人)
栗原小学校	英語	3年生(1人)
	タガログ語	3年生(1人)
	ウルドゥー語	1年生(1人) 4年生(1人) 5年生(1人)
相模野小学校	スペイン語	2年生(1人)
	中国語	1年生(1人) 2年生(1人) 4年生(1人) 6年生(1人)
	シンハラ語	3年生(2人)
	ベンガル語	2年生(1人)
相武台東小学校	ベトナム語	4年生(1人)
	英語	6年生(1人)
	タガログ語	3年生(2人) 4年生(1人) 6年生(1人)
	モンゴル語	4年生(1人)
ひばりが丘小学校	スペイン語	2年生(1人) 5年生(1人)
	カンボジア語	4年生(1人) 6年生(1人)
	タガログ語	5年生(1人)

東原小学校	スペイン語	4年生（1人）
	英語	2年生（1人）
	タガログ語	1年生（3人）
	中国語	1年生（3人）
	シンハラ語	2年生（1人）
相模が丘小学校	ベトナム語	2年生（1人）
	タガログ語	2年生（1人） 4年生（2人）
	中国語	2年生（1人） 4年生（3人） 6年生（1人）
立野台小学校	ベトナム語	1年生（1人）
	タガログ語	1年生（1人） 3年生（1人） 6年生（2人）
	中国語	4年生（1人）
	タイ語	4年生（1人）
旭小学校	スペイン語	6年生（1人）
	ベトナム語	5年生（1人）
	タガログ語	3年生（1人） 5年生（1人） 6年生（3人）
	タミル語	1年生（1人）
中原小学校	ポルトガル語	3年生（1人）
	スペイン語	3年生（1人） 6年生（1人）
	ベトナム語	3年生（1人） 6年生（2人）
	カンボジア語	2年生（1人） 3年生（1人）
	中国語	3年生（1人）
	タミル語	2年生（1人）
東中学校	ポルトガル語	1年生（2人） 2年生（2人）
	スペイン語	2年生（3人）
	タガログ語	2年生（1人）
	ウルドゥー語	2年生（1人） 3年生（1人）
	タミル語	2年生（1人）
相模中学校	韓国語	1年生（1人）
	中国語	2年生（1人） 3年生（3人）
	ベンガル語	1年生（1人）

第13 学校保健

座間市の児童生徒の発育状況

1 平成10年度以降平成28年度に至る3年ごとの体位計測結果平均値の推移

年 区 分		学年別	身長 (c m)	体重 (k g)	胸囲 (c m)	座高 (c m)
男	10	小 1	116.8	21.5	—	65.3
		小 6	145.0	38.5	—	77.6
		中 3	165.5	55.1	—	87.1
	13	小 1	116.3	21.4	—	64.8
		小 6	145.0	39.4	—	77.5
		中 3	165.7	54.6	—	87.0
	16	小 1	116.5	21.0	—	64.7
		小 6	145.1	38.2	—	77.5
		中 3	165.1	55.0	—	87.0
	19	小 1	116.9	21.3	—	65.0
		小 6	144.4	38.1	—	77.3
		中 3	165.3	53.7	—	87.3
	22	小 1	116.7	21.1	—	64.9
		小 6	144.2	36.7	—	77.4
		中 3	165.1	53.9	—	87.4
	25	小 1	116.0	20.6	—	64.6
		小 6	145.3	37.9	—	77.6
		中 3	163.0	52.1	—	86.6
28	小 1	116.2	21.0	—	—	
	小 6	144.8	38.0	—	—	
	中 3	165.7	54.2	—	—	
女	10	小 1	115.8	21.2	—	64.7
		小 6	146.5	39.6	—	79.4
		中 3	157.1	50.6	—	84.3
	13	小 1	115.7	21.0	—	64.3
		小 6	146.9	39.6	—	79.0
		中 3	156.5	50.3	—	83.7
	16	小 1	115.9	20.8	—	64.4
		小 6	147.3	39.5	—	79.3
		中 3	156.5	50.1	—	83.6
	19	小 1	115.9	20.6	—	64.3
		小 6	146.6	38.4	—	78.9
		中 3	157.1	50.5	—	84.7
	22	小 1	116.1	21.0	—	64.5
		小 6	146.7	38.8	—	79.0
		中 3	157.0	49.7	—	84.0
	25	小 1	115.7	20.5	—	64.2
		小 6	146.9	38.2	—	79.1
		中 3	156.7	50.2	—	84.6
28	小 1	115.8	20.9	—	—	
	小 6	146.0	38.2	—	—	
	中 3	156.7	50.0	—	—	

座高については、平成28年4月1日付けで学校保健安全法施行規則の一部改正が行われ、必須項目から除外とされたため実施していません。

2 平成30年度小・中学校身体計測平均一覽

※県及び全国平均は平成29年度

学 年	男 子		小 学 校	女 子		学 年
	身長(cm)	体重(kg)	区 分	身長(cm)	体重(kg)	
1 年	116.5	21.1	市平均	115.9	20.8	1 年
	116.4	21.1	県平均	116.1	21.1	
	116.5	21.4	全国平均	115.7	21.0	
2 年	122.5	23.8	市平均	121.7	23.5	2 年
	122.7	24.1	県平均	121.3	23.1	
	122.5	24.1	全国平均	121.5	23.5	
3 年	128.0	26.9	市平均	127.8	26.7	3 年
	128.3	26.9	県平均	127.5	26.3	
	128.2	27.2	全国平均	127.3	26.4	
4 年	133.9	30.8	市平均	133.6	29.9	4 年
	133.8	30.6	県平均	133.8	29.9	
	133.5	30.5	全国平均	133.4	29.9	
5 年	138.9	33.9	市平均	140.3	33.9	5 年
	139.0	33.7	県平均	140.0	33.7	
	139.0	34.2	全国平均	140.1	34.0	
6 年	144.0	37.0	市平均	146.8	38.5	6 年
	144.9	37.4	県平均	146.7	38.9	
	145.0	38.2	全国平均	146.7	39.0	

※県及び全国平均は平成29年度

学 年	男 子		中 学 校	女 子		学 年
	身長(cm)	体重(kg)	区 分	身長(cm)	体重(kg)	
1 年	152.3	43.4	市平均	151.7	43.7	1 年
	153.3	43.9	県平均	152.2	43.4	
	152.8	44.0	全国平均	151.8	43.6	
2 年	159.6	48.4	市平均	154.7	46.7	2 年
	159.9	48.3	県平均	155.2	46.6	
	160.0	49.0	全国平均	154.9	47.2	
3 年	165.3	53.3	市平均	156.6	50.4	3 年
	165.8	53.3	県平均	156.5	49.2	
	165.3	53.9	全国平均	156.5	50.0	

第14 学校給食

当市における学校給食は、学校給食法第一条に示すとおり児童の心身の健全な発達と食生活の改善を目標にして数年にわたる調査・研究の経過を経て開始されたものである。現在小学校においては単独調理方式による学校給食を、中学校においては中学校給食（選択式）を実施している。

1 沿革

- 昭和35年 2月 座間第一小学校給食A型開始、給食費1人当たり 1か月400円
- 35年 5月 給食研究会設立
- 38年 2月 座間第二小学校、座間第三小学校給食開始、給食費一人当たり 1か月550円
- 38年 9月 昭和38年度学校給食会全国大会において座間第一小学校文部大臣賞を受ける
- 38年10月 昭和38年度学校給食県大会において座間第一小学校県教育委員会の表彰を受ける
- 41年 1月 給食費増額 1か月650円
- 43年 4月 給食費増額 1か月800円
- 45年 4月 相武台東小学校開校により給食開始
- 45年 6月 給食費増額 1か月1,000円
- 46年 4月 ひばりが丘小学校開校により給食開始
- 47年 3月 給食費増額 1か月1,200円
- 47年 5月 座間市学校給食研究会設立総会開く
- 48年 1月 パン食の併用として、実験的に月1回程度自校炊飯による米飯給食を実施
- 48年 4月 東原小学校開校により給食開始
- 49年 1月 給食費増額 1か月1,500円
- 49年 6月 給食費増額 1か月2,000円
- 51年 4月 相模が丘小学校開校により給食開始
- 52年 4月 立野台小学校開校により給食開始
- 53年 4月 入谷小学校開校により給食開始
- 53年10月 委託炊飯給食開始（はし持参）月2回（自校炊飯と合せ4回）
- 54年 1月 県教育委員会より東原小学校昭和53年度県学校給食優良校として表彰を受ける
- 54年 4月 小学校牛乳がビン装から紙装になる
- 55年 1月 県教育委員会より相模が丘小学校県学校給食優良校として表彰を受ける
- 55年 4月 旭小学校開校により給食開始 給食費増額 1か月2,600円
- 55年10月 相模が丘小学校学校給食優良校として文部大臣賞表彰を受ける
- 59年 9月 中学校2学期より牛乳がビン装から紙装になる
- 57年 4月 給食費増額 1か月2,900円
- 58年 9月～昭和59年 1月
栗原小学校給食室改善により相模野小学校、旭小学校から給食運搬
- 昭和59年 2月 栗原小学校新給食室竣工により自校給食開始

59年	4月	中原小学校開校により給食開始
平成元年	10月	給食費増額 1か月 3,000円
	2年	5月 米飯週2回になる(自校炊飯月2回、委託炊飯月4回)
	2年	5月 ランチルームに強化磁器食器の導入
	3年	4月 給食費増額 1か月 3,500円
12年	4月	給食費増額 1か月 3,800円
15年	4月	スプーン導入開始
16月	4月	フォーク導入開始
16年	9月	スチームコンベクション導入開始
21年	4月	給食費増額 1か月 4,200円
21年	9月	給食用食器に樹脂製食器の導入(3年間で全校更新)
22年	4月	栄養教諭1名配置
23年	4月	米飯週3回になる(自校炊飯月2~3回、委託炊飯月3~9回)
23年	9月	樹脂製食器導入完了
24年	4月	栄養教諭2名配置
27年	9月	東中学校及び栗原中学校に中学校給食(選択式)の試行導入
29年	8月	市内中学校6校に中学校給食(選択式)を導入
30年	4月	給食費増額 1か月 4,500円

2 食に関する指導目標

生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童一人一人が望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにする。また、楽しい食事や給食活動を通じて、豊かな心を育成し社会性を養う。

- ・食事の重要性、食事の楽しさの理解を深める
- ・望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を育てる
- ・食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を育てる
- ・食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々に感謝する心を培う
- ・食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を育てる
- ・地域の産物、食文化を理解し尊重する心を培う

3 運 営

学校給食の運営は、教育委員会の指導助言により当該学校の校長が計画し、管理し、職員を指導監督して行っている。

○学校給食研究会

学校給食研究会は、会長に小学校長、副会長に教頭をあて、給食主任及び学校栄養職員をもって組織し、必要な研究会を開き学校給食の充実発展に努めている。

(ア)給食主任部会

小学校給食主任部会は、児童に対して食事についての正しい理解と望ましい習慣を身につけ

させるための研究と合わせて、食生活の合理化、栄養の改善、健康の増進を図っている。

(イ) 栄養士部会

小学校栄養士部会は、献立作成など栄養管理の研究に努めている。

栄養管理・・・学校給食の目標にてらし健康なからだ作りのため栄養価での十分な配慮。

献立作成・・・学校給食摂取基準の確保。

季節の食品と他の食品との組み合わせ。

食品衛生に留意。

4 給食費

小学校 月額 4,500円 年額 49,500円 (4,500円×11ヶ月)

年間 179食 一食平均 276円 (令和元年度予定)

中学校 学校行事により各校学年に多少の差があり、ミルク給食の年間総額は、6,000円程度である。

中学校給食(選択式)は一食あたり270円

5 食事内容

基準献立作成にあたり特に次の点に注意している。

- (1) 集団給食であるため限度はあるが、できるだけ手作りにする
- (2) 学校給食摂取基準、標準食品構成表を確保するよう努めている
- (3) できるだけ無添加の食品を使用する
- (4) 食品本来の味を引き出すため化学調味料は使用しない
- (5) できるだけ旬の食品を使用し季節感を出す

1 児童1人1回当たりの学校給食摂取基準

(8歳～9歳の場合)

(H30.8.1改正)

エネルギー (kcal)	650
たんぱく質 (%)	接種エネルギー全体の13%～20%
脂質 (%)	摂取エネルギー全体の20～30%
ナトリウム (食塩相当量g)	2未満
カルシウム (mg)	350
鉄 (mg)	3
ビタミンA (μ gRAE)	200
ビタミンB1 (mg)	0.4
ビタミンB2 (mg)	0.4
ビタミンC (mg)	20
食物繊維 (g)	5以上
マグネシウム (mg)	50
亜鉛 (mg)	2

6 食に関する指導

ア 学校での取り組み

- (ア) 各教科での指導
- (イ) 給食時の指導
- (ウ) 学校保健委員会での取り組み

イ 家庭・地域との連携

- (ア) 献立表、給食だよりの配布
- (イ) 給食試食会
- (ウ) 夏休み親子料理教室

ウ その他

- (ア) 地産地消事業の推進（地元野菜の導入）
- (イ) できるだけ国産の食品を使用する
- (ウ) 神奈川県学校給食を活用した地産地消推進事業への参加
平成17・18・19年（3年間）入谷小学校、旭小学校が協力校に。

V 教育研究所事業概要

1 教育研究所の設置目的

変転する時代の要請や教育の動向を踏まえ、座間市教育の改善と向上を図ることを目的として、教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究並びに教育関係職員の研修等の事業を行う。

2 運営方針

- (1) 本市の教育に関する調査研究を行い、本市の教育に役立てる資料を作成する。
- (2) 教職員の資質向上並びに市民の教育に対する理解を図るための専門的・技術的研修を行う。
- (3) 地域に根ざした教育活動を展開するための出版広報事業を推進する。
- (4) 教育研究に対応するための図書や資料を収集・整理する。
- (5) 教育の個性化・多様化に応ずる教材の開発・蓄積・提供を行い、交流を促進する。
- (6) 本市の教育の歴史を後世に伝えるため、教育史の編さんをすすめる。
- (7) 児童・生徒の教育相談及び学校の教育相談を援助する。
- (8) 心理的な要因による不登校児童・生徒が学校に復帰できるよう教育支援教室事業を推進する。

3 機 構

所長	{	(1) 研 修	教職員研修事業						
		(2) 研 究	<table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①</td><td>教育研究事業</td></tr> <tr><td>②</td><td>教育情報提供事業</td></tr> <tr><td>③</td><td>教育史編さん事業</td></tr> </table>	①	教育研究事業	②	教育情報提供事業	③	教育史編さん事業
		①	教育研究事業						
		②	教育情報提供事業						
		③	教育史編さん事業						
		(3) 教育相談	<table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①</td><td>教育相談事業</td></tr> <tr><td>②</td><td>教育支援教室事業</td></tr> </table>	①	教育相談事業	②	教育支援教室事業		
①	教育相談事業								
②	教育支援教室事業								
(4) 管 理	<table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①</td><td>人事・服務</td></tr> <tr><td>②</td><td>一般管理</td></tr> <tr><td>③</td><td>経理・財務</td></tr> </table>	①	人事・服務	②	一般管理	③	経理・財務		
①	人事・服務								
②	一般管理								
③	経理・財務								
(5) そ の 他	学校図書館司書配置事業								
(6) 渉 外	関係機関								

職員構成

所 長	総括、研修、渉外
指導主事(3名)	研究、研修、教育相談、教育情報提供、管理
専任教員	不登校児童生徒教育支援・教育相談
事務補佐員	財務庶務
情報教育アドバイザー(2名)	研究、教育情報提供
教育史編集員	教育史編さん
教育史調査員	教育史編さん
教育史調査補助員(2名)	教育史編さん
教育相談員	教育相談
教育心理相談員(2名)	教育相談
学校教育心理相談員(5名)	教育相談 (学校配置)
心理判定支援員	教育相談
S S W	教育相談 ※S S W : スクールソーシャルワーカーの略
家庭訪問相談員	不登校児童・生徒教育支援
教育支援員	不登校児童・生徒教育支援
専任支援員	不登校児童・生徒教育支援
専任助手(2名)	不登校児童・生徒教育支援

4 事業内容

(1) 研修

教職員研修事業

- ア 社会科教育研修講座(1回)
地域学習の充実を図るための講義及び野外研修〔初任者研修〕
- イ 理科教育研修講座(1回)
理科資料集を有効に活用するための研修
- ウ 環境教育研修講座(1回)
環境教育に関わる研修(磯の生き物)
- エ 情報教育研修講座(8回)
情報教育を効果的に推進するための講義及び実技研修
- オ 教育相談研修講座(2回)
学校における教育相談のあり方など講義や演習を通して学校教育相談の充実を図る研修
- カ 外国語教育研修講座(1回)
小学校外国語活動と中学校英語教育に関わる研修
- キ 授業づくり研修講座(1回)
教科教育の充実を図るための研修
- ク 豊かな心を育む研修講座(1回)
豊かな心を育むための研修
- ケ 教育教養研修講座(2回)
教育のあり方を広い視野で考え、教育実践の充実を図る研修

講座名等(回)	内 容	対 象	期 日	講 師
社会科教育 研修講座(1)	地域学習～市内めぐり～ * マイクロバス利用	初任者教職員	8/20(火) 13:00～16:50	教育研究所所員
理科教育 研修講座(1)	理科資料集「自然はおもしろい」の活用について	小3学年担任 ・小理科担当者等 1名以上	5/22(水) 15:00～16:50	座間の自然研究員
環境教育 研修講座(1)	磯の生き物	各校希望者	8/2(金) 8:30～16:50	横浜国立大学大学院教授 菊池 知彦 氏
情報教育 研修講座(8)	第1回「新学習指導要領と情報活用能力」	各校教員 2名以上	7/23(火) 14:00～16:30	元金沢星稜大学教授 佐藤 幸江 氏
	第2回-A「各教科でのタブレット活用 —学習支援ソフト スクールタクトの 活用—」	定員40名 (各校希望教員 2～3名)	8/5(月) 9:30～12:00	情報教育アドバイザー PC インストラクター
	第2回-B「新聞づくりをしよう—コラボノート・ジャ ストジャンプ・スマイルの活用」	定員40名 (各校希望教員 2～3名)	8/5(月) 13:30～16:00	情報教育アドバイザー PC インストラクター
	第2回-C「ジャストジャンプ・スマイルを使った画 像編集・動画編集」	定員40名 (各校希望教員 2～3名)	8/6(火) 9:30～12:00	情報教育アドバイザー PC インストラクター
	第2回-D「2020年プログラミング教育必修化に 向けて —実践事例と演習」	定員40名 (各校希望教員 2～3名)	8/6(火) 13:30～16:00	情報教育アドバイザー PC インストラクター
	ICT道場A(2回連続) 演習「ラインズ e ライブラリでシミュレーション教 材・動画教材を活用しよう」	定員5名 (各校希望者)	6/3(月) 6/10(月) 15:00～16:50	情報教育アドバイザー
	ICT道場B(2回連続) 演習「校務で使える Word&Excel」	定員5名 (各校希望者)	11/11(月) 11/25(月) 15:00～16:50	情報教育アドバイザー

	ICT道場C(2回連続) 演習「Excel VBA 入門」	定員5名 (各校希望者)	1/27(月) 2/3(月) 15:00～16:50	情報教育アドバイザー
教育相談 研修講座(3)	育てるカウンセリング演習(1)	各校1名以上	7/25(木) 9:30～12:00	明治大学教授 諸富 祥彦 氏
	育てるカウンセリング演習(2)	各校1名以上	7/25(木) 13:30～16:00	明治大学教授 諸富 祥彦 氏
	教育相談基礎研修	2年目の教員 (昨年度の初任者)	7/29(月) 9:30～12:00	教育支援教室専任教員・教育相談員等
外国語教育 研修講座(1)	「小中連携の推進」	各校教員2名以上	12/20(金) 15:00～16:50	東京学芸大学教授 粕谷 恭子 氏
豊かな心を育む 研修講座(1)	「明日の授業に役立つ発声・歌唱指導～ボディーパーカッションを交えながら」	各校教員1名以上	7/26(金) 13:30～16:00	リトビュアリトミック認定講師 佐野 享子 氏
授業づくり 研修講座(1)	「論理的な文章を書く力を高める指導」	各校教員2名以上	12/25(水) 9:30～12:00	東京学芸大学准教授 中村 和弘 氏
教育教養 研修講座(2)	第1回 教育相談 「いじめの背景にある『同調圧力』と『不安』 についてー『対応』する側にも問題はないか?」	各校教員2名以上、 市民	7/30(火) 9:30～12:00	福島学院大学教授 茨城大学名誉教授 岸 良範 氏
	第2回 座間の教育史	各校1名以上、市民	7/30(火) 14:00～16:10	教育研究所所員
学校図書館担当 教員研修	図書館担当教員と図書館司書の連携	各校 図書館担当教員	7/22(月) 13:30～16:00	工学院大学附属中学校・高等学校教諭 有山 裕美子 氏

(2) 研究

ア 教育研究事業

(ア) 社会科学習資料に関する調査研究

副読本の見直しに関する調査研究を行い、教育資料を作成する。

(イ) 座間の自然に関する調査研究

理科資料集「自然はおもしろい」に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。

(ウ) 教育課題に関する調査研究

教育の今日的課題に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。

(エ) 情報教育に関する調査研究

情報教育に関する調査研究を行い、情報教育推進への支援活動を行う。

(オ) 教育史に関する調査研究

本市の教育の歴史について調査研究を行う。

(カ) 外国語教育に関する調査研究

小学校外国語活動から中学校英語へのスムーズな連携に関する調査研究を行う。

(キ) 道徳教育に関する調査研究

特別な教科「道徳」の授業および評価等に関する調査研究を行い、教育資料を作成する。

(ク) 指導法等に関する個別課題の調査研究

教育課程の実施に伴う指導上の諸問題に関して、教育実践を踏まえた個別の課題研究を行う。

(ケ) 情報教育アドバイザーが、コンピュータ等を活用した教育活動に支援を行う。

イ 教育情報提供事業

(ア) 地域学習や郷土理解に関する副読本・学習資料の刊行を行う。

- ・ 小学校社会科副読本「わたしたちの座間」
- ・ 理科資料集「自然はおもしろい」
- ・ 環境学習ガイドブック「わたしたちと環境」

- ・ 中学校社会科資料集「座間」
 - ・ 学習資料「白地図」
 - ・ 「郷土の先人に学ぶ」
- (イ) 調査研究の成果をホームページに掲載する。
- ・ 研究紀要「第39集」(教育研究第37号)の掲載
- (ウ) 教育研究所の紹介等の広報活動を行う。
- ・ 研究所報(107号・108号・109号)の発行
 - ・ 教育研究所要覧の発行
 - ・ 教育相談の案内の発行
 - ・ 教育研究所ホームページにて沿革・研修講座・ビデオライブラリー等を紹介する。
- (エ) 研究文献や研究実践記録などの情報資料を蓄積・整理し、教育研究や指導への活用を図る。
- (オ) 視聴覚教材の開発研究と蓄積・提供・流通を図る。
- (カ) 教育活動に有効と思われるWebコンテンツの紹介及び配信を行う。

ウ 教育史編さん事業

- (ア) 座間市域における教育史資料を収集・整理する。
- (イ) 「座間市教育史 通史編」発刊に向けて、教育史編さんを行う。

(3) 教育相談

ア 教育相談事業

- (ア) 電話・来所による教育相談により、児童・生徒の教育相談及び学校の教育相談を援助する。
- (イ) 小・中学校を巡回し、教職員や保護者から、児童・生徒の問題や指導に関わる教育相談を受け、問題の解決や回復のための助言や援助を行う。
- (ウ) 教育相談のあり方について専門家(スーパーバイザー)の指導や助言を受ける。
- (エ) 教育相談コーディネーター会議を行い、情報交換や教育相談のあり方について各校との連携を深める。
- (オ) 教育心理相談員を配置し、教育相談員と連携を図りながら課題の解決を図る。
- (カ) 心理判定支援員を配置し、特別な配慮を要する児童・生徒の発達検査や行動観察を行い、教職員や保護者が児童・生徒に適切な支援ができるよう助言を行う。
- (キ) 市内全小学校に学校教育心理相談員を配置し、教育相談および支援の充実を図る。
- (ク) 市内全中学校にスクールカウンセラーを配置し、活用事業を行う。(県事業)
- (ケ) 市のスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、県のスクールソーシャルワーカーと連携を図りながら諸問題に対応する。
- (コ) 心のフレンド員を中学校6校に派遣し、不登校対策を図る。

イ 教育支援教室事業

- (ア) 主に心理的要因により学校生活に適応できない不登校児童・生徒を対象に、教育支援等を行う。
- (イ) 学校訪問要請相談等により相談ケースについての解決・回復のための助言や援助を行う。
- (ウ) 教育支援教室のあり方について、専門家(スーパーバイザー)の指導や助言を受ける。
- (エ) 教育支援教室に「教育支援員」「専任支援員」「専任助手」を配置し、きめ細かな支援および指導の充実に努める。
- (オ) 家庭訪問相談員を配置し、家に引きこもり、家族との関わりしかもてない児童・生徒に対して定期的・継続的な支援を行う。

(4) その他

- ア 学校図書館司書配置事業
- イ 神奈川県教育研究所連盟および関係機関の大会、研究会、研修会等への参加